

高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査 要介護高齢者・家族等介護者実態調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画策定に係る調査)

報告書

平成29年3月
武蔵野市

■ □ 目 次 □ ■

はじめに	1
1. 調査の実施概要	2
2. 報告書の記載に関する注意点	2
第1章 高齢者の介護予防・日常生活アンケート	3
第1節 調査結果（概要版）	4
第2節 調査結果（本編）	12
1. 回答者（1,095人）の属性	12
2. 家族や生活状況	14
3. からだを動かすことについて	19
4. 食べることについて	23
5. 毎日の生活について	25
6. 地域での活動やたすけあいについて	26
7. 健康について	32
8. 今後の暮らしについて	38
第2章 要介護高齢者・家族等介護者実態調査（在宅介護実態調査）	47
第1節 調査結果（概要版）	48
第2節 調査・分析手法の概要	56
第3節 調査結果（本編）	58
1. 本人の属性	58
2. 支援・サービスの利用状況・利用意向	61
3. 在宅生活の状況	76
4. 傷病・訪問診療の利用状況など	81
5. 施設等への入所・入居の検討状況	85
6. 主な介護者の状況	93
7. 在宅生活の継続に向けて介護者が不安に感じる介護	112
8. サービス水準と保険料の関係に係る希望	115
資料：使用した調査票	117
高齢者の介護予防・日常生活アンケート 調査票	118
要介護高齢者・家族等介護者実態調査（在宅介護実態調査） 調査票	130

はじめに

1. 調査の実施概要

武蔵野市では、「武蔵野市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定（平成29年度）するにあたりその基礎資料を得るため、高齢者の介護予防・日常生活アンケート、要介護高齢者・家族等介護者実態調査を実施した。

調査の実施概要は以下のとおりである。

(1) 高齢者の介護予防・日常生活アンケート

市内在住の要介護1から5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。平成28年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出。）を対象に、高齢者の生活実態、地域活動への参加意向、介護保険事業の利用意向、その他高齢者施策全般に係る意見・要望等を把握するための調査を実施した。（厚生労働省の指針に基づく実態調査）

調査期間は平成28年12月1日～12月16日、有効回答数は1,095件（有効回収率73.0%）であった。

(2) 要介護高齢者・家族等介護者実態調査

要介護1から要介護5の在宅の方で「要介護認定の更新申請・変更申請」をし、本調査の調査期間内に要介護認定調査を受けた方を対象に、「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方等を検討するための調査を実施した。（厚生労働省の指針に基づく実態調査）

調査期間は平成28年6月1日～平成28年6月30日、及び平成28年11月1日～平成29年1月31日、有効回答数は488件であった。（ただし、認定調査の結果、「非該当」、「要支援1」および「要支援2」の認定結果であった調査対象者については、集計から除外している。）

2. 報告書の記載に関する注意点

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示している。そのため、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- (4) 図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていないものである。

第1章 高齢者の介護予防・日常生活アンケート

第1節 調査結果（概要版）

1 調査の実施概要

- ◇ 調査目的： 「武蔵野市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定（平成29年度）するにあたりその基礎資料を得るため、高齢者の生活実態、地域活動への参加意向、介護保険事業の利用意向、その他高齢者施策全般に係る意見・要望等を把握する。
- ◇ 調査対象者： 市内在住の要介護1～要介護5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。厚生労働省の指針に基づく実態調査。）
 ※平成28年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- ◇ 調査期間： 平成28年12月1日～12月16日
- ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収（督促を兼ねたお礼状を1回発送）
- ◇ 回収状況： 配布数：1,500件 回収数：1,095件（回収率73.0%）

<参考：平成25年度「武蔵野市高齢者実態調査」の実施概要>

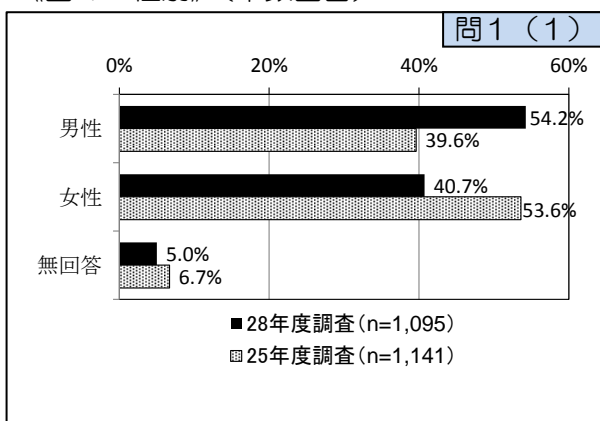
ここでは、本調査（以下「28年度調査」という。）の結果と比較するため、平成25年12月に実施された「武蔵野市高齢者実態調査」（以下「25年度調査」という。）の結果も表示している。25年度調査の調査対象者には、要支援高齢者、総合事業対象者は含まれておらず、平成28年度調査とは異なっていることに注意が必要である。

- ◇ 調査対象者： 市内在住の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名
 ※平成25年11月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- ◇ 調査期間： 平成25年12月4日～12月18日
- ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収（督促を兼ねたお礼状を1回発送）
- ◇ 回収状況： 配布数：1,500件 回収数：1,141件（回収率76.1%）

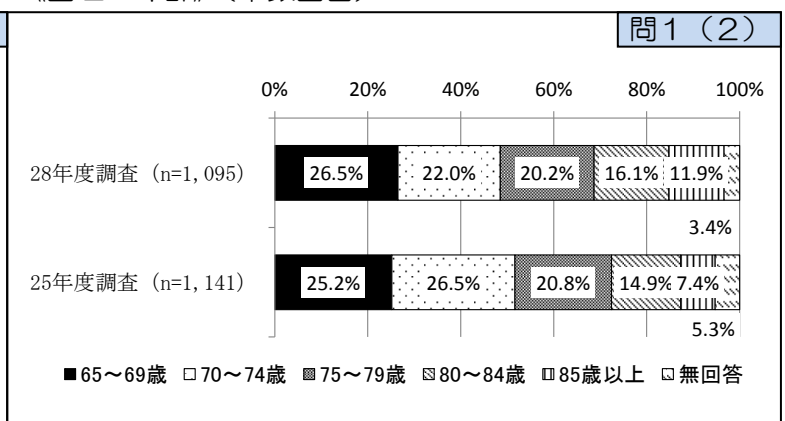
2 調査結果の概要

(1) 回答者の属性や生活状況について

《図1 性別》（単数回答）

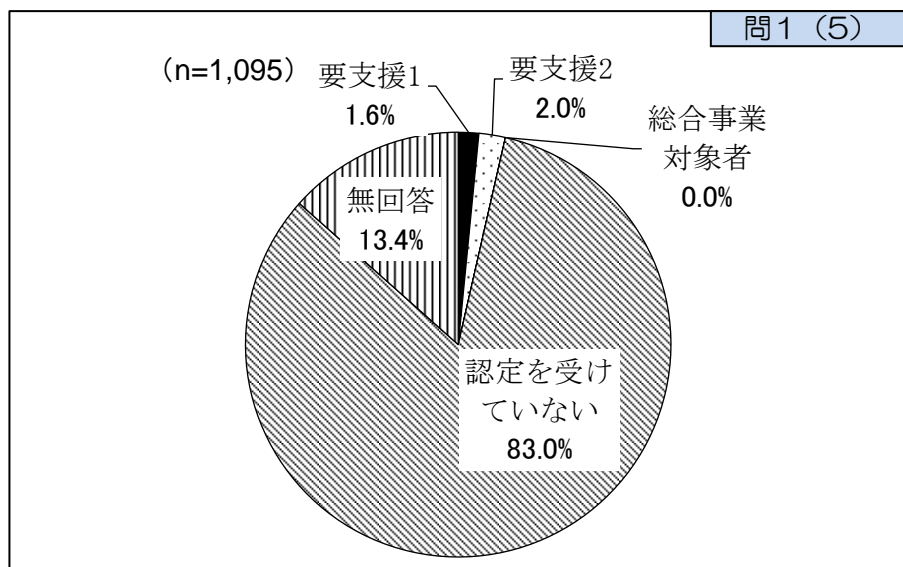


《図2 年齢》（単数回答）



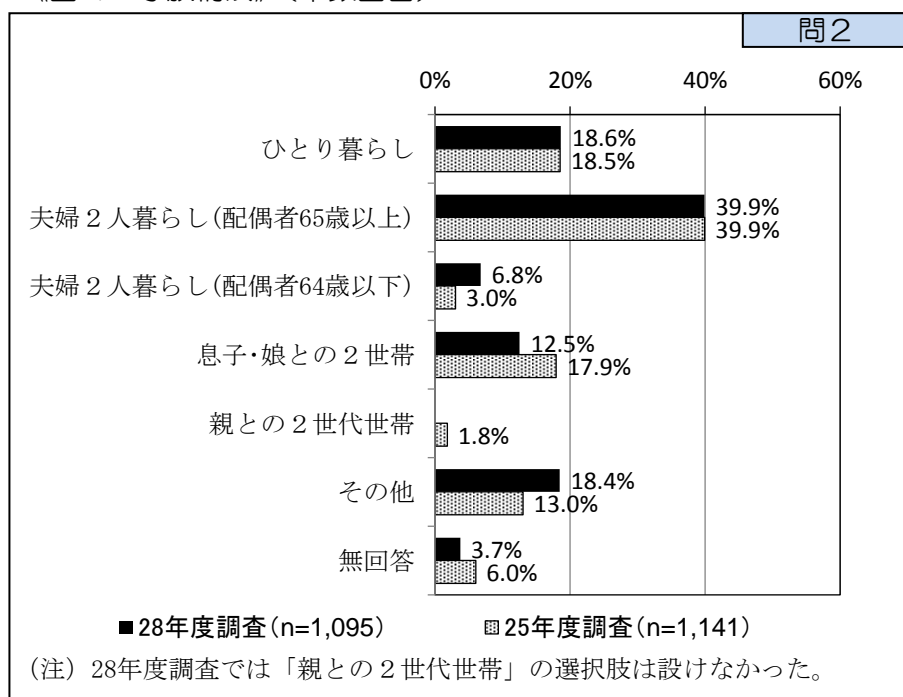
- ・性別は「男性」が54.2%、「女性」が40.7%だった。25年度調査より男性の割合が高い。
- ・年齢は「65～69歳」が26.5%、「70～74歳」が22.0%だった。25年度調査より「70～74歳」の割合がやや低く、「85歳以上」の割合がやや高い。

《図3 要支援（介護）認定》（単数回答）



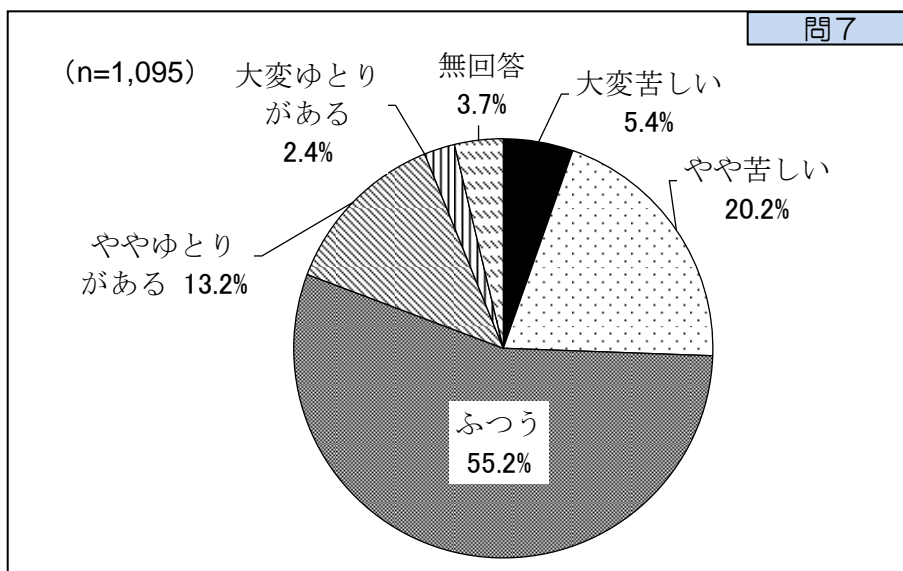
・要支援（介護）認定の状況は、「要支援1」が1.6%、「要支援2」が2.0%と要支援認定を受けている人は少なく、「認定を受けていない」人が83.0%だった。

《図4 家族構成》（単数回答）



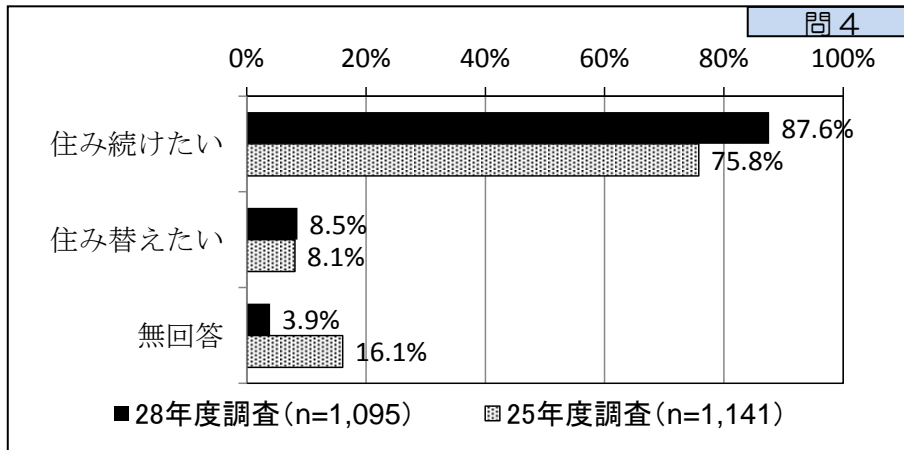
・家族構成は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が39.9%、「ひとり暮らし」が18.6%となっている。

《図5 現在の経済状況》（単数回答）



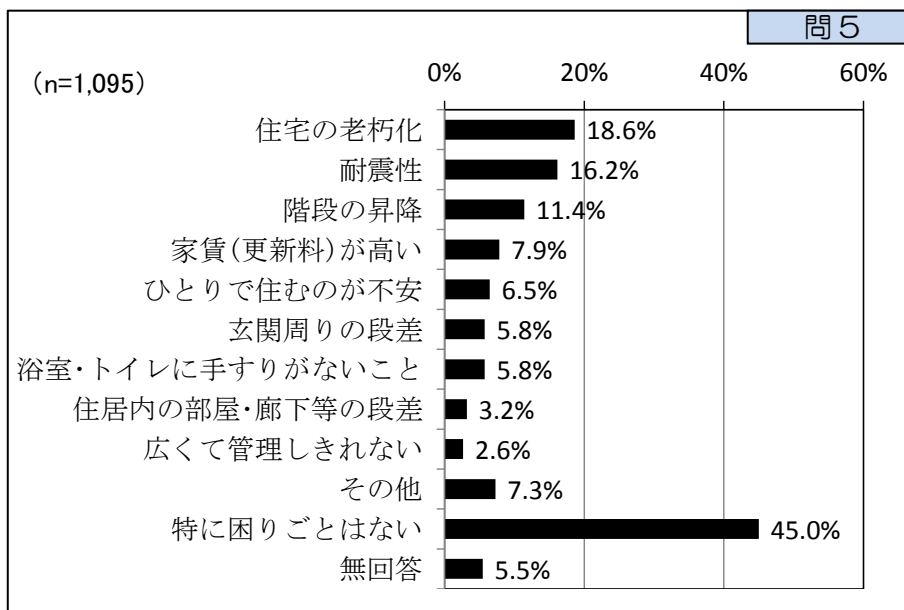
・現在の暮らしの経済状況は、「ふつう」の割合が高く、55.2%となっている。
 ・「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計は25.6%となっている。

《図6 現在の住まいの居住意向》(単数回答)



・現在の住まいの居住意向は高く、「住み続けたい」が87.6%にのぼる。

《図7 現在の住まいに住み続ける上での困りごと》(複数回答)



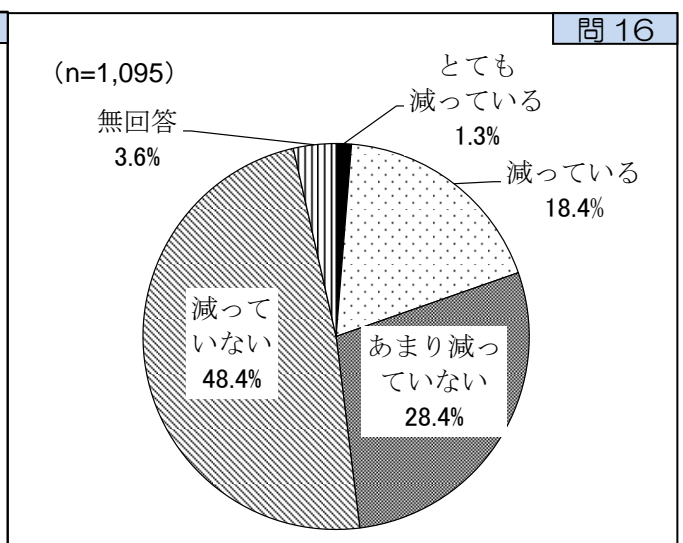
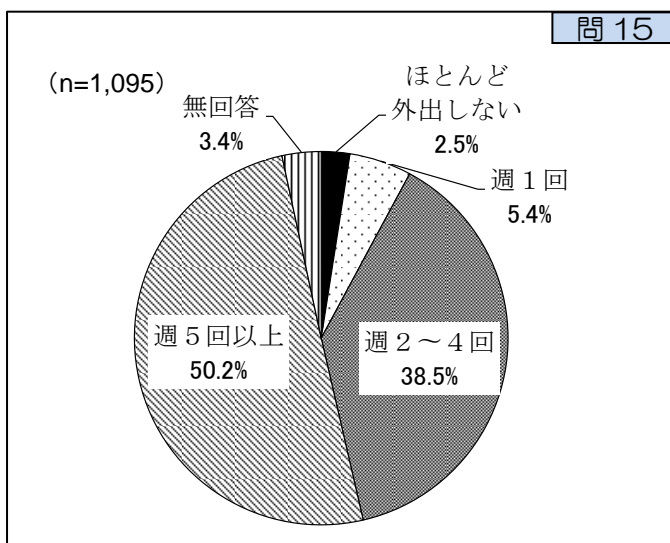
・現在の住まいに住み続ける上での困りごとは、「住宅の老朽化」が18.6%、「耐震性」が16.2%、「階段の昇降」が11.4%となっている。

《図8 週1回以上外出しているか》

(単数回答)

《図9 昨年と比べて外出回数は減っているか》

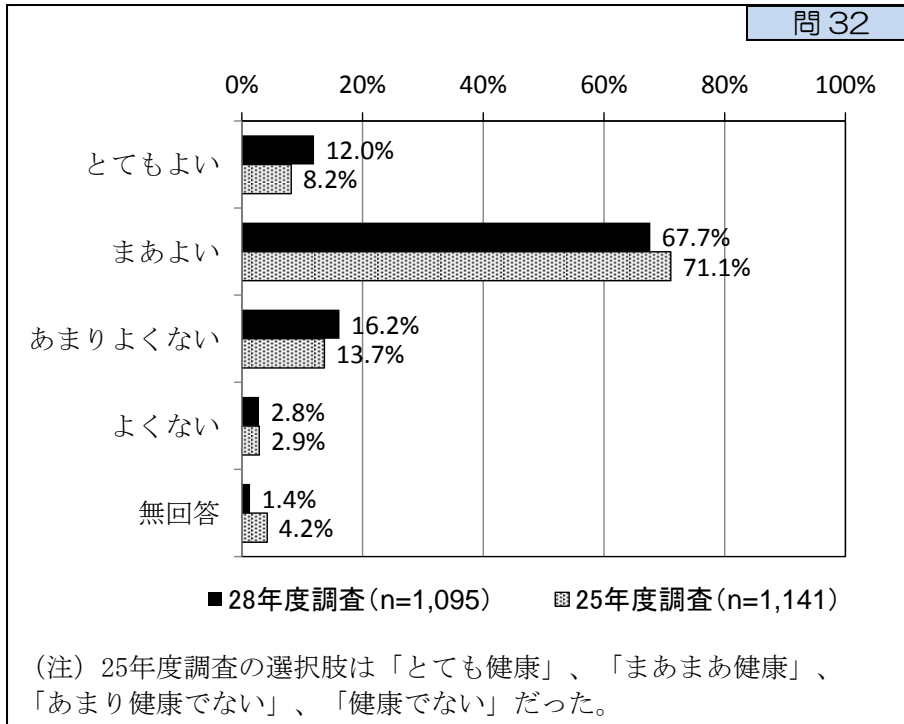
(単数回答)



- ・外出の状況については、「週5回以上」が50.2%と半数を超え、次いで「週2~4回」が38.5%だった。「ほとんど外出しない」は2.5%にとどまっている。
- ・外出回数を昨年と比べると、「減っていない」が48.4%、「あまり減っていない」が28.4%であった。他方、「とても減っている」(1.3%)、「減っている」(18.4%)の回答もみられた。

(2) 健康づくりと介護予防について

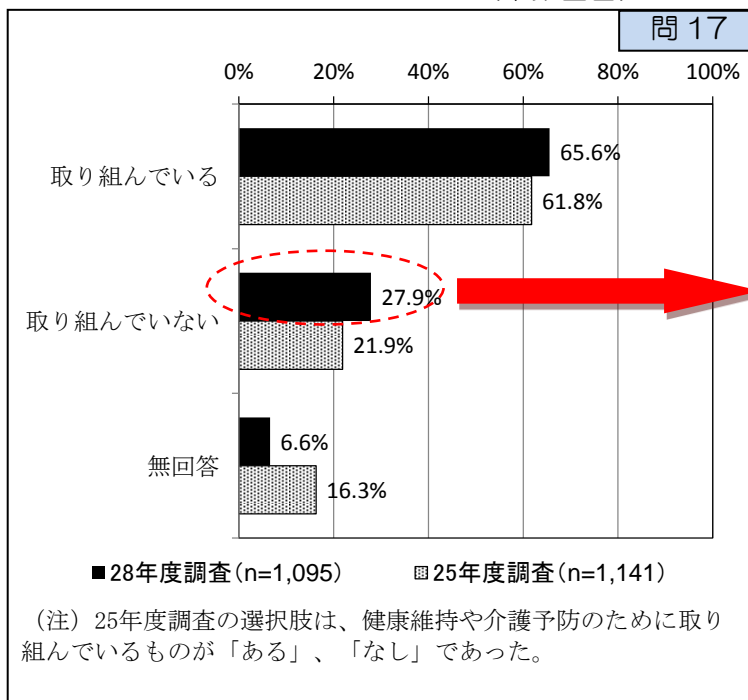
《図 10 健康状態》(単数回答)



- ・健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」の合計が79.7%を占めている。
- ・他方、「あまりよくない」と「よくない」の合計は、19.0%であった。

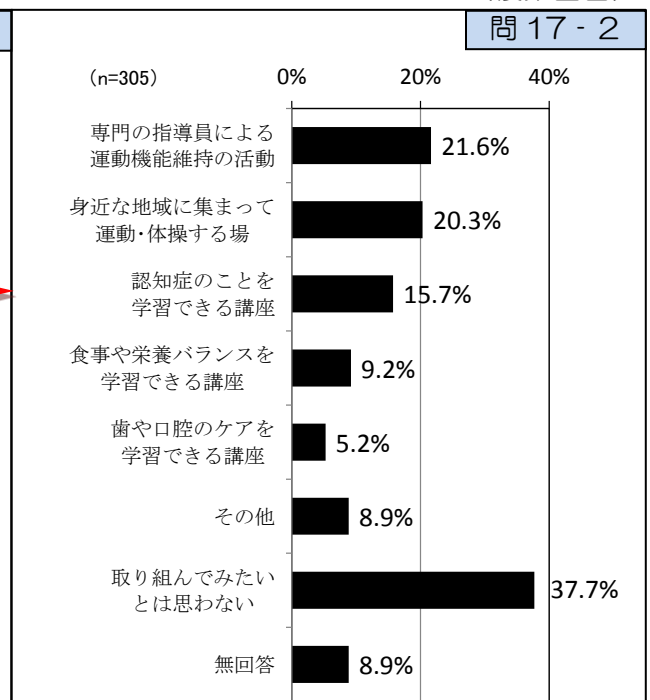
《図 11 健康維持や介護予防の取組み》

(単数回答)



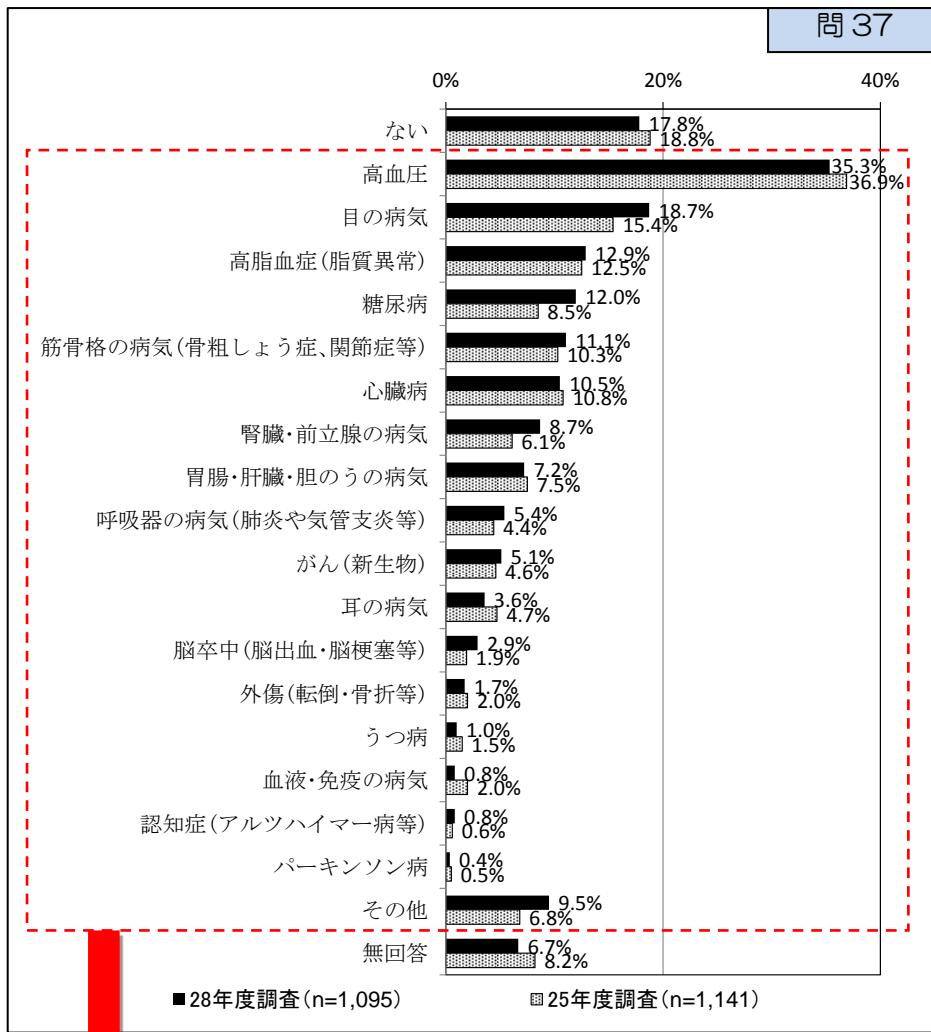
《図 12 どんな内容であれば参加したいか》

(複数回答)



- ・健康維持や介護予防に「取り組んでいる」のは65.6%であった。
- ・取り組んでいないと回答した人(27.9%、305人)に、どのような内容のものがあれば参加したいか尋ねたところ、「専門の指導員による運動機能維持の活動」が21.6%だった。

《図 13 治療中・後遺症のある病気の有無》（複数回答）



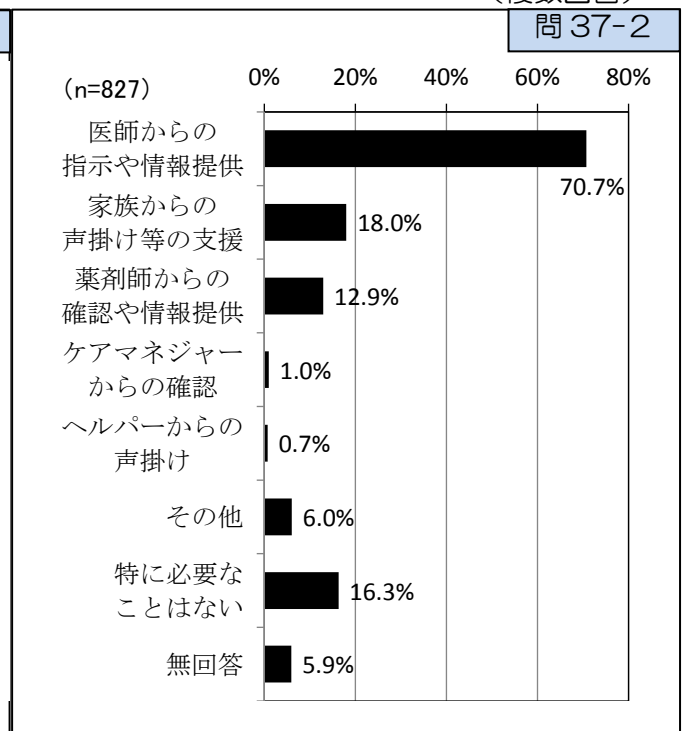
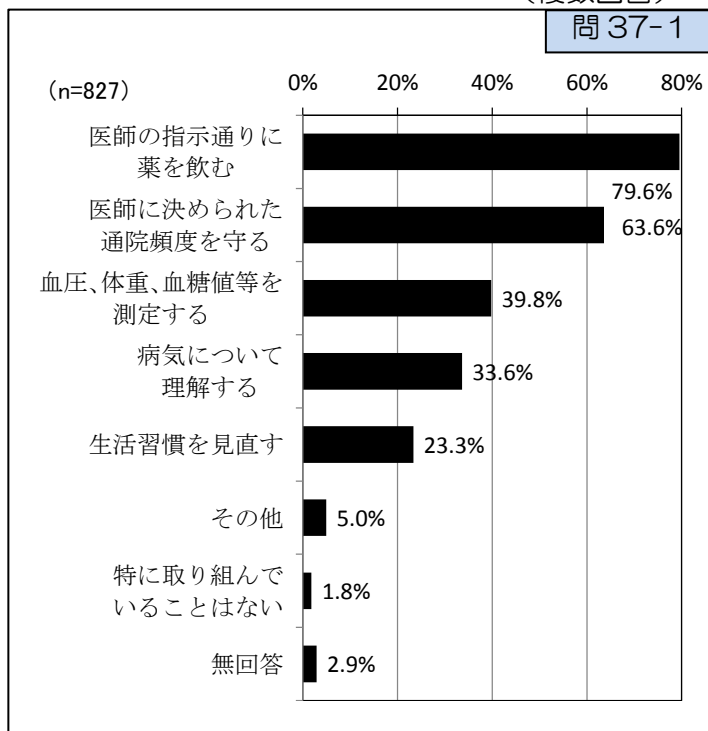
- ・治療中・後遺症のある病気については「高血圧」が35.3%、次いで「目の病気」が18.7%、「高脂血症（脂質異常）」が12.9%だった。
- ・現在治療中、または後遺症のある病気が1つ以上あると回答した人（827人）に、悪化・再発予防のための取組みについて尋ねたところ、「医師の指示通りに薬を飲む」が79.6%、取組みを継続するために必要なことは「医師からの指示や情報提供」が70.7%と、医師の指示によるものの割合が高かった。

《図 14 病気の悪化・再発予防のための取組み》

《図 15 その取組みを継続するために必要なこと》

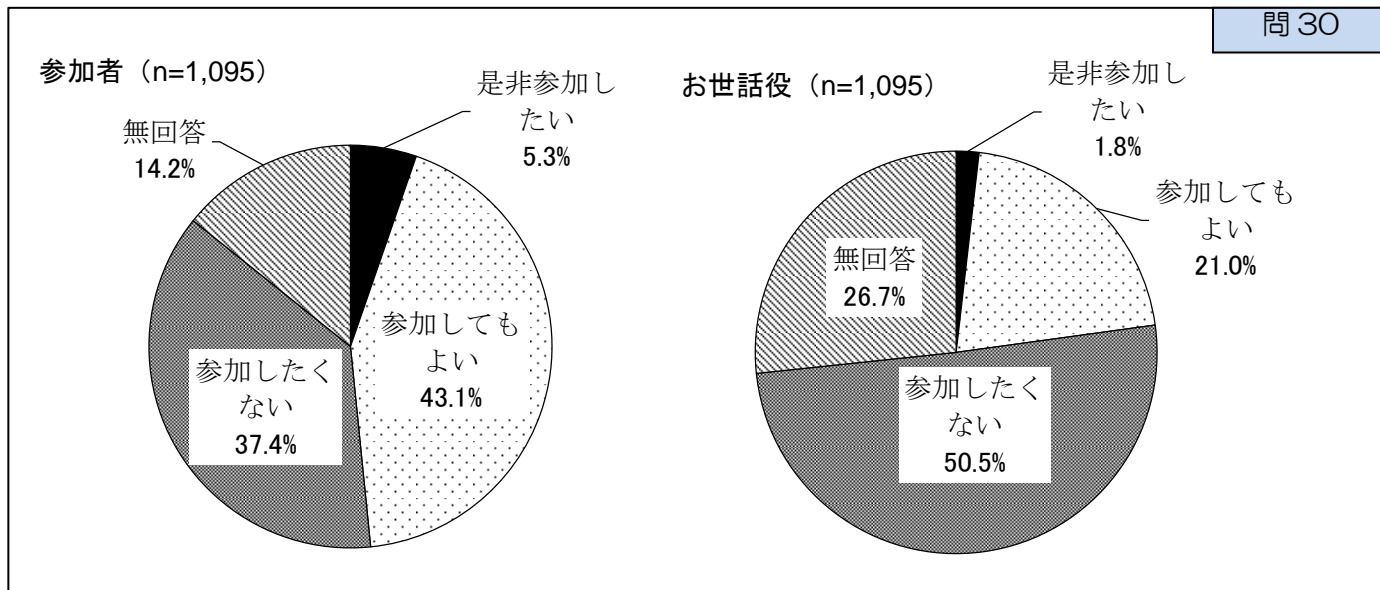
（複数回答）

（複数回答）



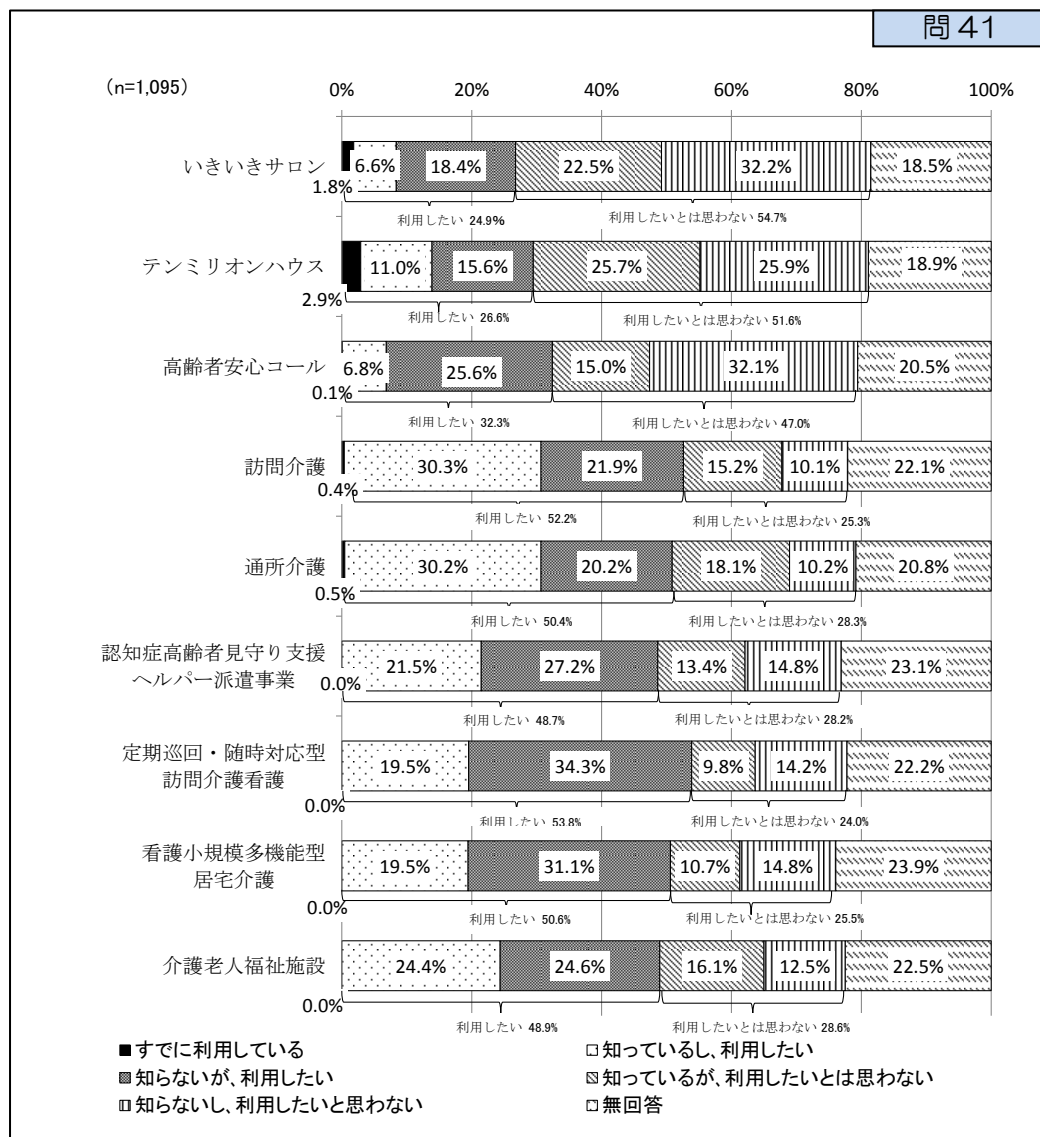
(3) 地域での活動やたすけあいについて

《図 16 地域住民の有志による地域づくりへの参加意向》(単数回答)



(4) サービスの認知・利用意向について

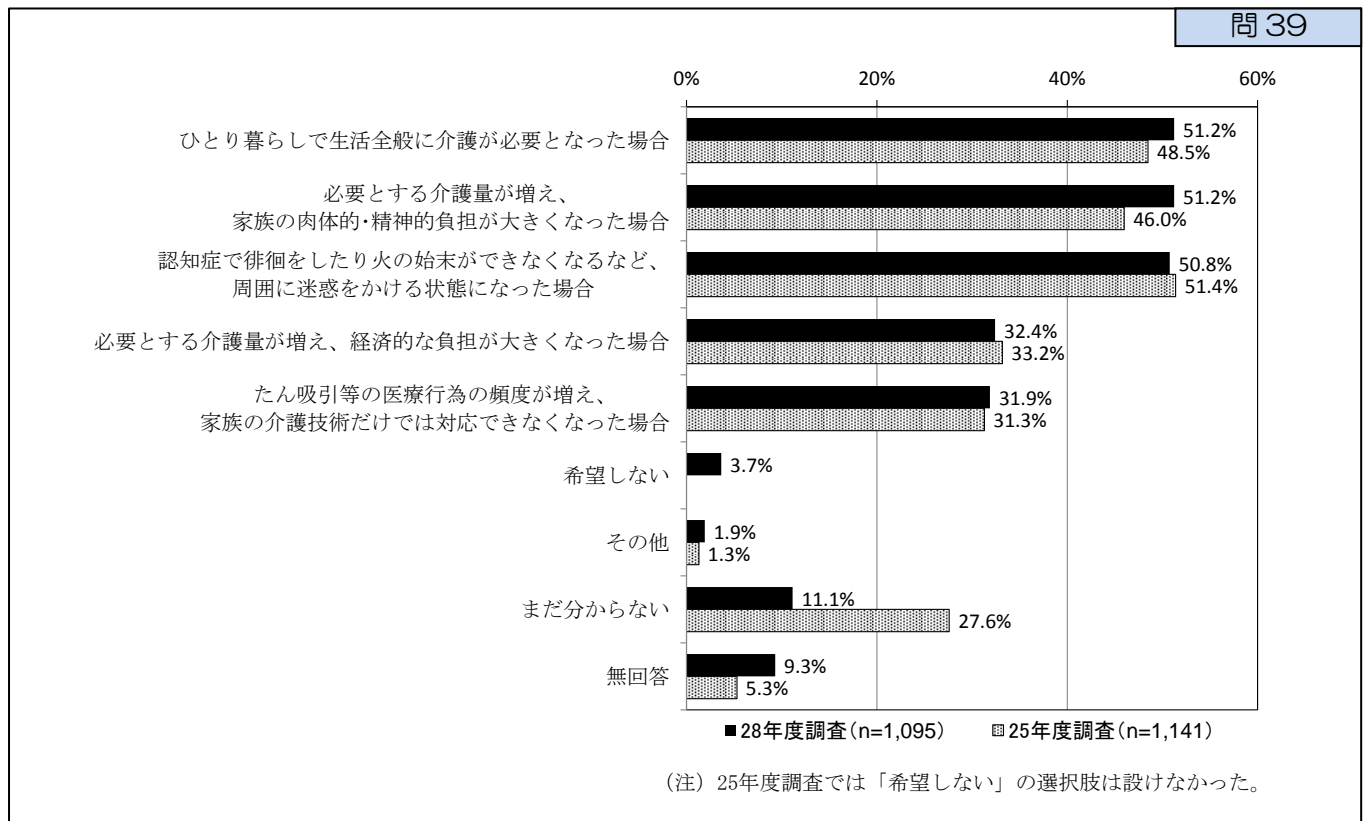
《図 17 サービスの認知・利用意向》(単数回答)



・「知っているし、利用したい」と「知らないが、利用したい」の合計をみると、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が 53.8%、訪問介護が 52.2%、看護小規模多機能型居宅介護が 50.6%となっている。

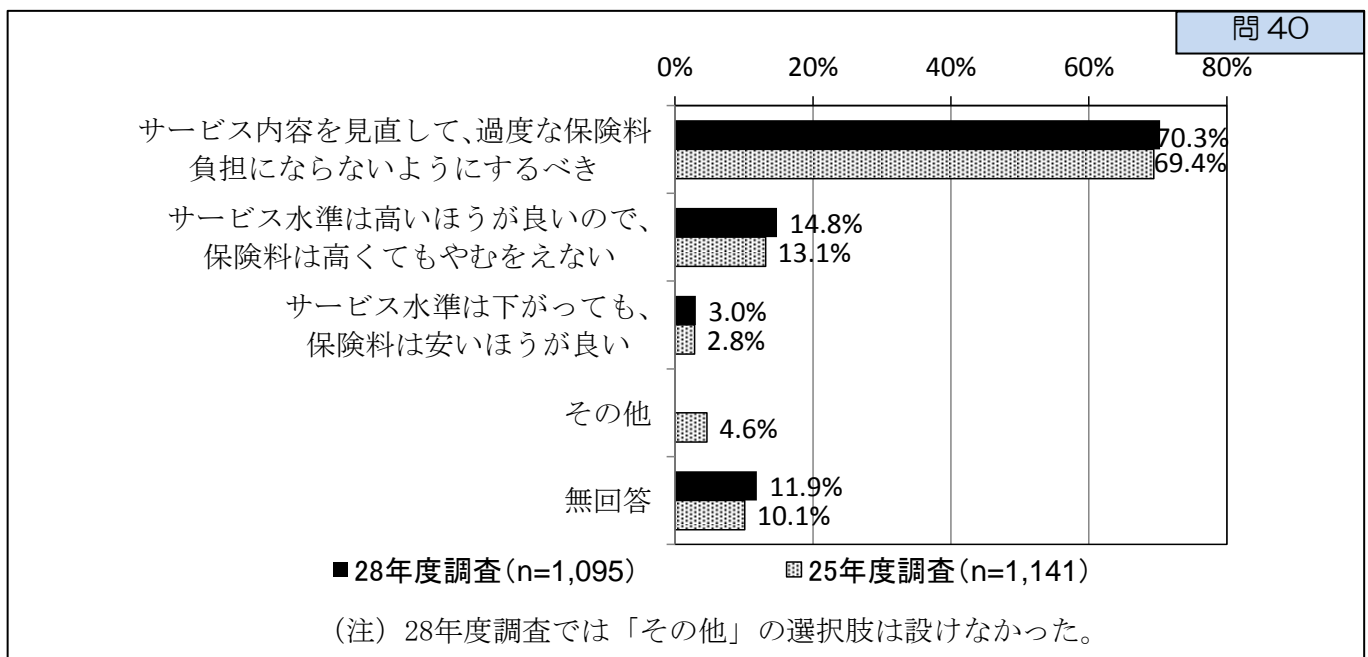
(5) 今後の暮らしについて

《図 18 自分がどのような状態になったら施設入所を希望するか》(複数回答)



・「ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合」(51.2%)、「必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合」(51.2%)、「認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合」(50.8%)に施設入所を希望するという回答がいずれも5割を超えている。また、25年度調査に比べて、「まだ分からない」という回答の割合が低い。

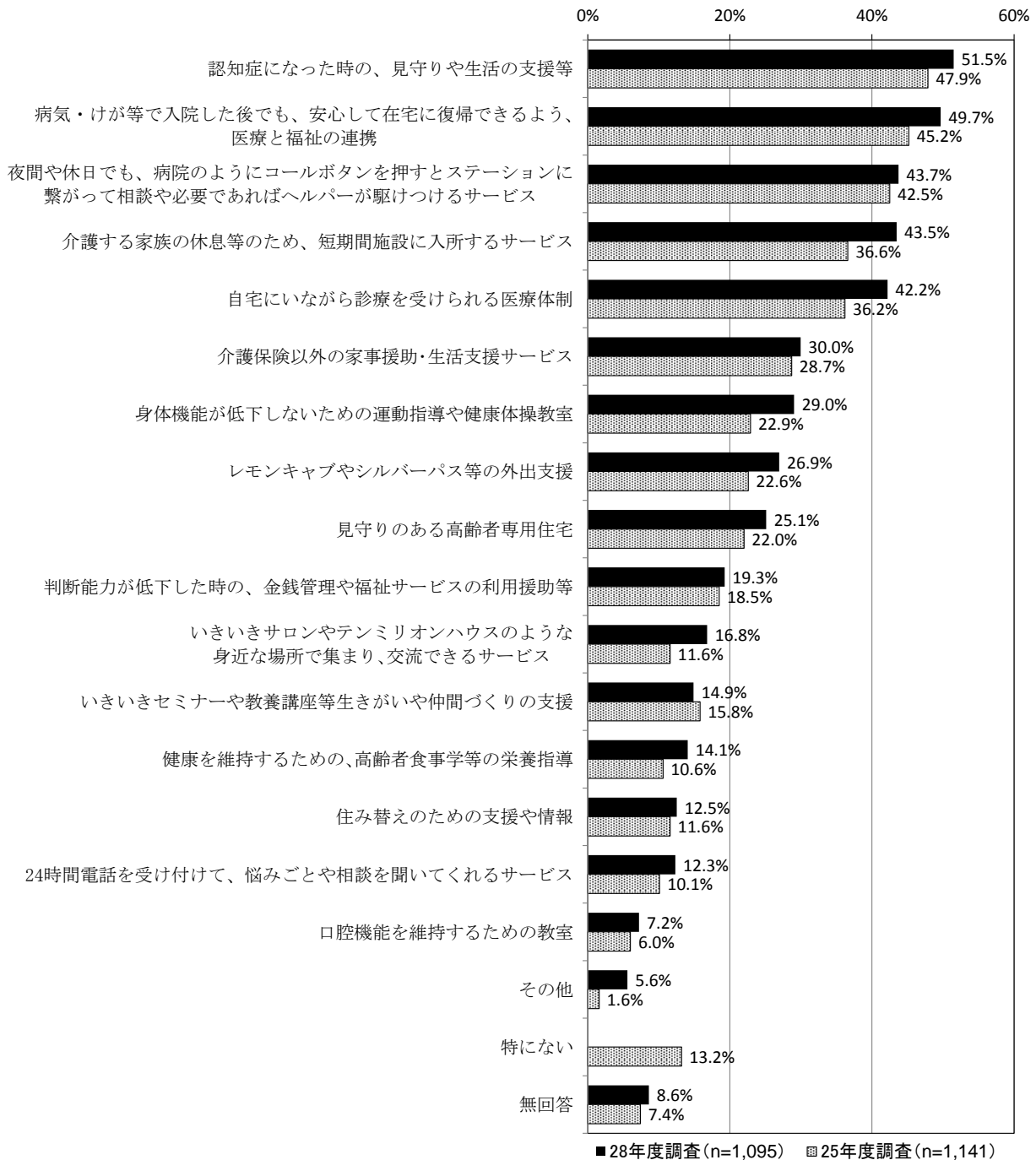
《図 19 サービス水準と保険料の関係について》(単数回答)



・介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が最も高く、70.3%となっている。「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」は14.8%である。

《図 20 今後住み慣れた地域で暮らし続けるために充実してほしい施策や支援》(複数回答)

問 38



(注) 28年度調査では「特になし」の選択肢は設けなかった。

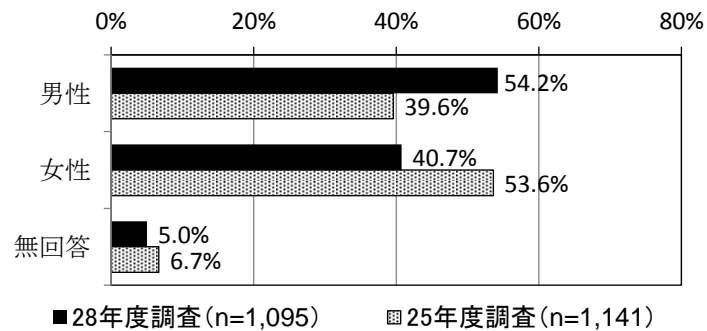
- ・「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」の割合が最も高い (51.5%)。次いで、「病気・けが等で入院した後も、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携」(49.7%)、「夜間や休日でも、病院のようにコールボタンを押すとステーションに繋がって相談や必要であればヘルパーが駆けつけるサービス」(43.7%)が続く。これらは25年度調査でも上位3項目を占めているが、いずれも28年度調査のほうが割合が高い(それぞれ3.6ポイント、4.5ポイント、1.2ポイントの差)。
- ・また、「介護する家族の休息等のため、短期間施設に入所するサービス」(28年度調査43.5%、25年度調査36.6%)、「自宅にしながら診療を受けられる医療体制」(28年度調査42.2%、25年度調査36.2%)は、25年度調査より28年度調査のほうがそれぞれ6.9ポイント、6.0ポイント割合が高い。

第2節 調査結果（本編）

1. 回答者（1,095人）の属性

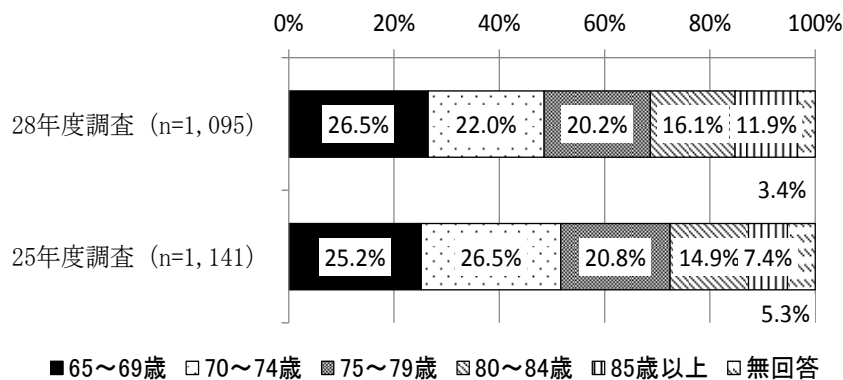
問1 あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。（平成28年12月1日時点。それぞれ○は1つ）。

<性別>



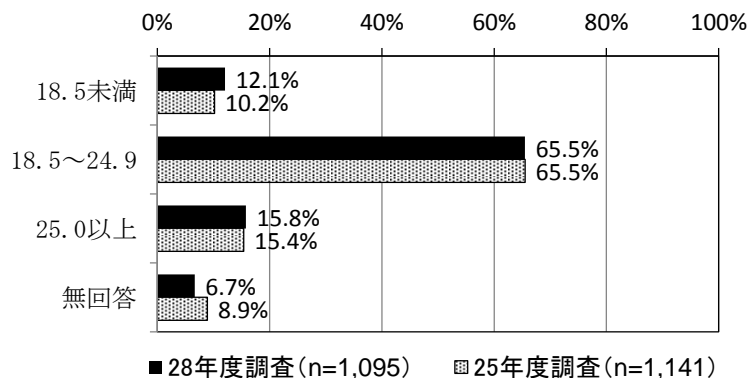
性別は「男性」が54.2%、「女性」が40.7%だった。25年度調査より男性の割合が高い。

<年齢>



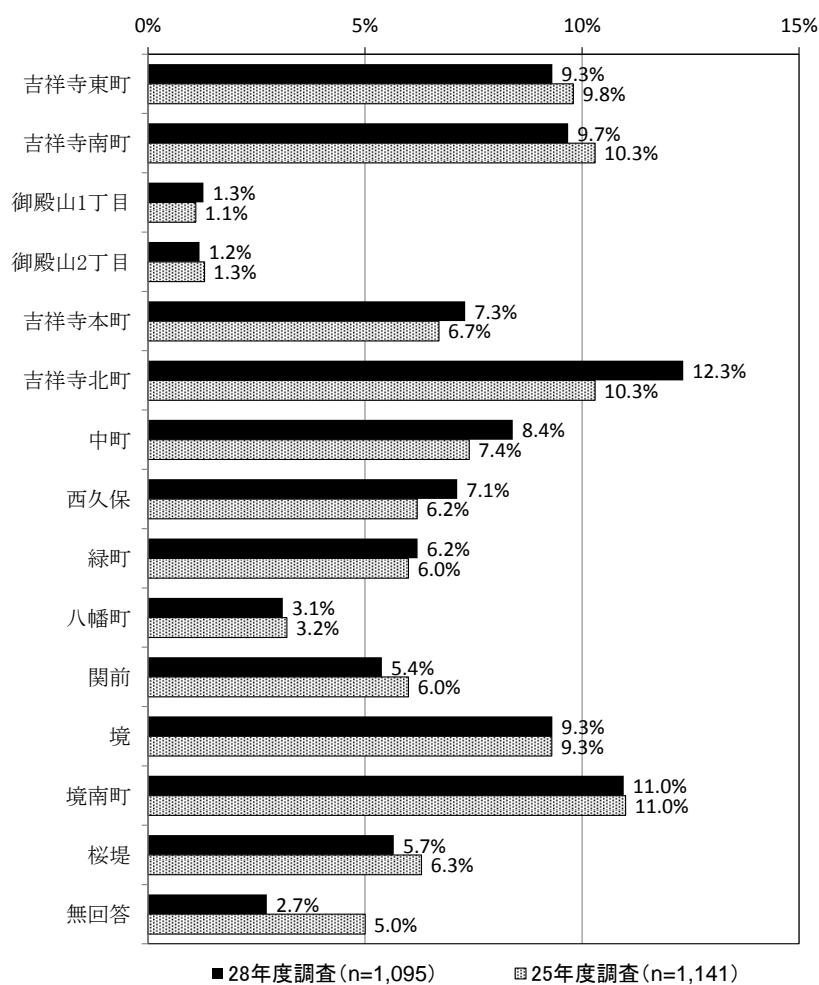
年齢は「65~69歳」が26.5%、「70~74歳」が22.0%だった。25年度調査より「70~74歳」の割合がやや低く、「85歳以上」の割合がやや高い。

<BMI（身長・体重から算出）>



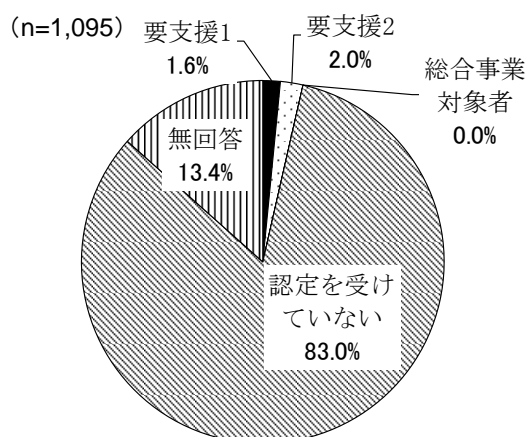
身長・体重からBMIを算出したところ、「18.5未満（やせ）」が12.1%、「25.0以上（肥満）」が15.8%となっている。（ $BMI = \text{体重(kg)} \div \{\text{身長(m)} \times \text{身長(m)}\}$ ）

< 居住地域 >



居住地域は「吉祥寺北町」が12.3%、「境南町」が11.0%となっている。

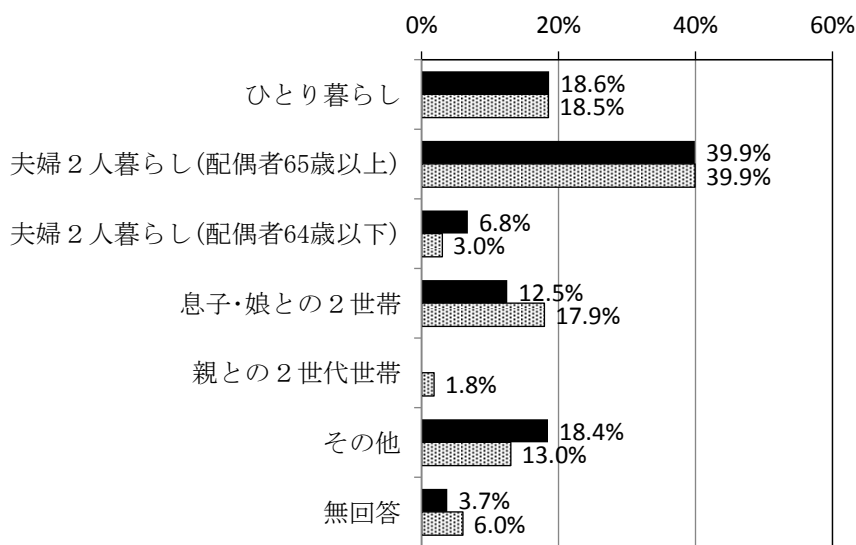
< 要支援（介護）認定の状況 >



要支援（介護）認定の状況は、「要支援1」が1.6%、「要支援2」が2.0%と要支援認定を受けている人は少なく、「認定を受けていない」人が83.0%となっている。

2. 家族や生活状況

問2 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

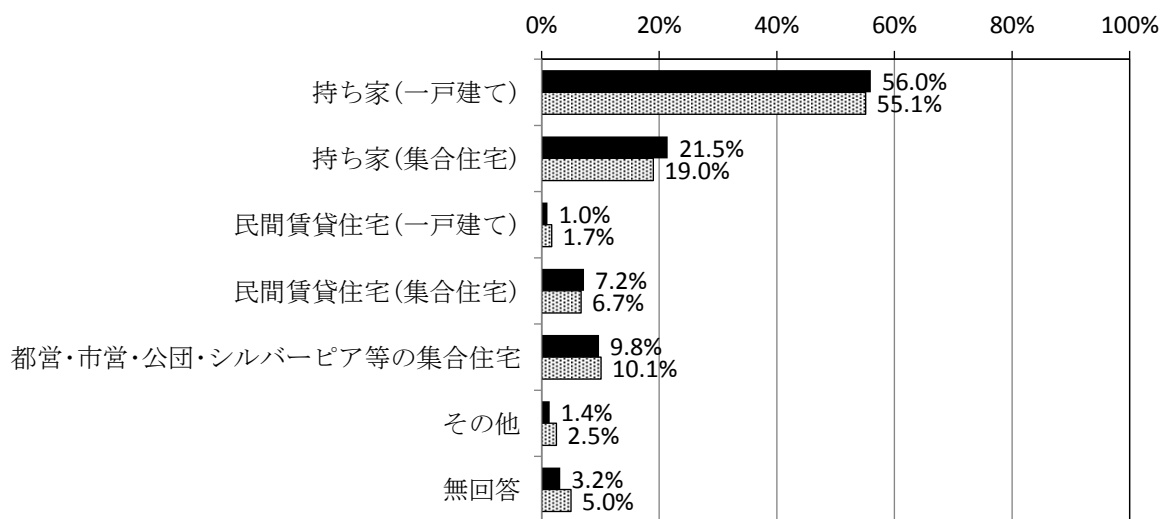


■ 28年度調査 (n=1,095) ▨ 25年度調査 (n=1,141)

(注) 28年度調査では「親との2世代世帯」の選択肢は設けなかった。

家族構成は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.9%、「ひとり暮らし」が18.6%となっている。

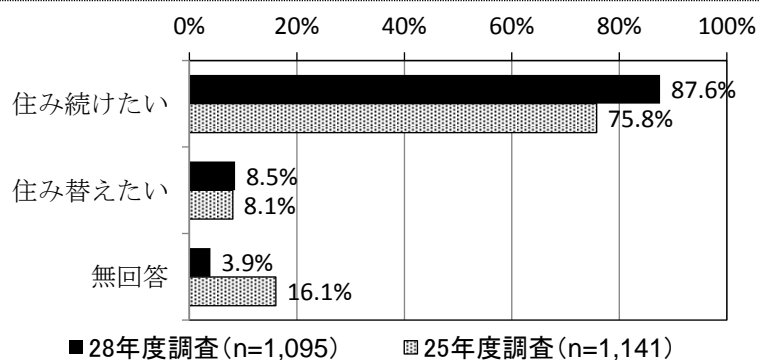
問3 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)



■ 28年度調査 (n=1,095) ▨ 25年度調査 (n=1,141)

現在の住まいは「持ち家(一戸建て)」の割合が高く、56.0%である。

問4 現在のお住まいに住み続けたいですか。(○は1つ)

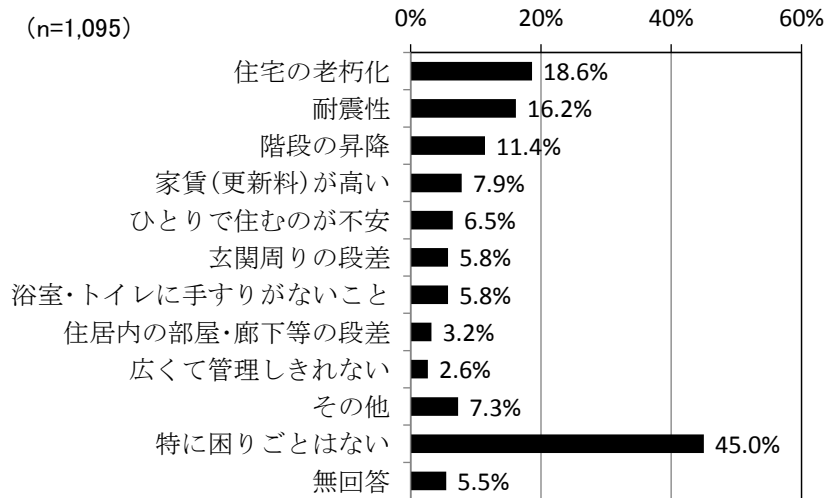


		合計	Q4 現在の住まいでの居住継続意向		
			住み続けたい	住み替えたい	無回答
全体		1,095 100.0%	959 87.6%	93 8.5%	43 3.9%
Q3 現在の住まい	持ち家(一戸建て)	613 100.0%	583 95.1%	26 4.2%	4 0.7%
	持ち家(集合住宅)	235 100.0%	217 92.3%	14 6.0%	4 1.7%
	民間賃貸住宅(一戸建て)	11 100.0%	8 72.7%	2 18.2%	1 9.1%
	民間賃貸住宅(集合住宅)	79 100.0%	41 51.9%	37 46.8%	1 1.3%
	都営・市営・公団・シルバーピア等の集合住宅	107 100.0%	94 87.9%	10 9.3%	3 2.8%
	その他	15 100.0%	12 80.0%	3 20.0%	0 0.0%

現在の住まいの居留意向は高く、「住み続けたい」が87.6%にのぼる。

現在の住まいの形態別にみると、持ち家（一戸建て）では「住み続けたい」が95.1%となっている。民間賃貸住宅（集合住宅）では、「住み続けたい」が51.9%、「住み替えたい」が46.8%となっている。

問5 現在のお住まいに住み続けるうえでの困りごとはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

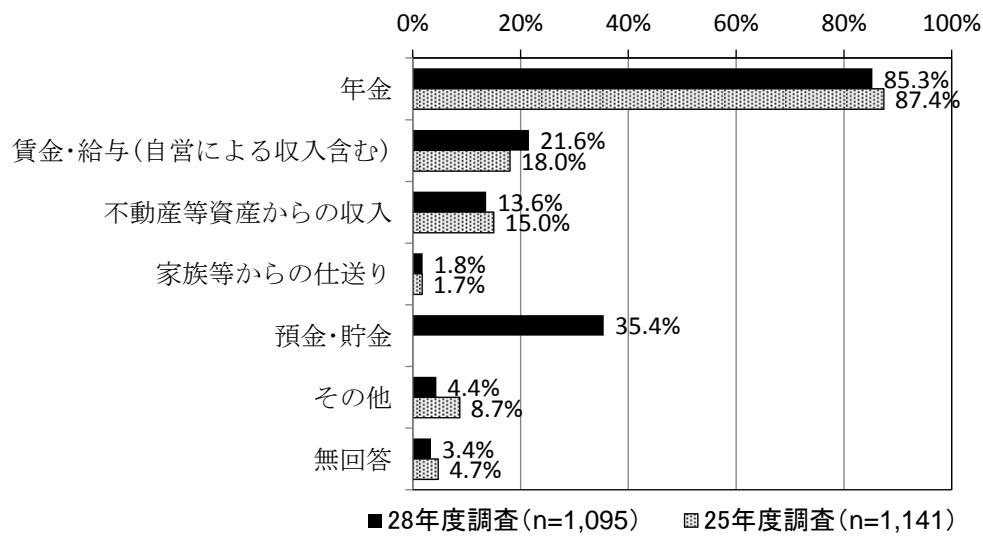


		合計	Q5 現在の住まいに住み続けるうえでの困りごと							
			ひとりで住むのが不安	玄関周りの段差	住居内の部屋・廊下等の段差	階段の昇降	浴室・トイレに手すりがないこと	耐震性	住宅の老朽化	広くて管理しきれない
全体		1,095 100.0%	71 6.5%	63 5.8%	35 3.2%	125 11.4%	63 5.8%	177 16.2%	204 18.6%	29 2.6%
Q2 家族構成	ひとり暮らし	204 100.0%	46 22.5%	7 3.4%	2 1.0%	22 10.8%	9 4.4%	34 16.7%	41 20.1%	8 3.9%
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	437 100.0%	17 3.9%	29 6.6%	18 4.1%	58 13.3%	32 7.3%	69 15.8%	73 16.7%	17 3.9%
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	74 100.0%	0 0.0%	4 5.4%	1 1.4%	8 10.8%	4 5.4%	12 16.2%	12 16.2%	0 0.0%
	息子・娘との2世帯	137 100.0%	3 2.2%	11 8.0%	3 2.2%	13 9.5%	7 5.1%	25 18.2%	29 21.2%	1 0.7%
	その他	202 100.0%	5 2.5%	12 5.9%	11 5.4%	24 11.9%	11 5.4%	37 18.3%	48 23.8%	2 1.0%
	全体		1,095 100.0%	86 7.9%	80 7.3%	493 45.0%	60 5.5%			
Q2 家族構成	ひとり暮らし	204 100.0%	35 17.2%	23 11.3%	69 33.8%	3 1.5%				
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	437 100.0%	21 4.8%	33 7.6%	212 48.5%	13 3.0%				
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	74 100.0%	5 6.8%	4 5.4%	42 56.8%	2 2.7%				
	息子・娘との2世帯	137 100.0%	6 4.4%	8 5.8%	74 54.0%	3 2.2%				
	その他	202 100.0%	19 9.4%	12 5.9%	89 44.1%	7 3.5%				

現在の住まいに住み続けるうえでの困りごとは、「住宅の老朽化」が18.6%、「耐震性」が16.2%、「階段の昇降」が11.4%となっている。

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「ひとりで住むのが不安」が22.5%、「住宅の老朽化」が20.1%、「家賃(更新料)が高い」が17.2%となっている。

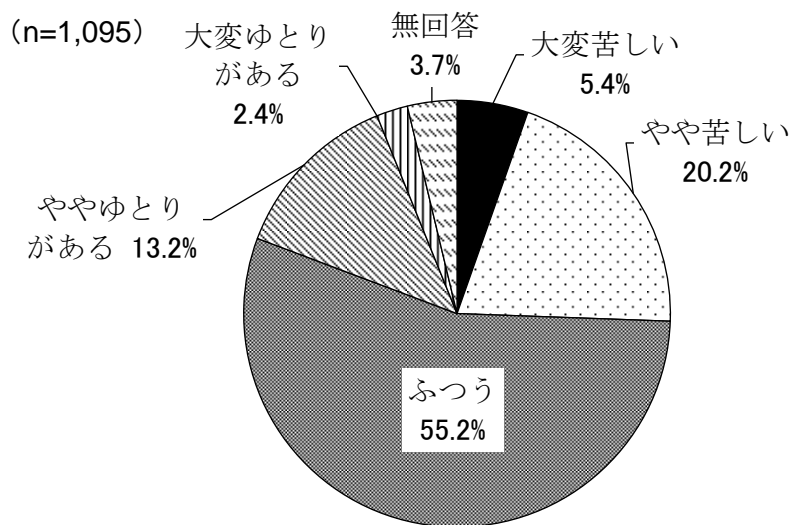
問6 生活費等を何から支出していますか。(あてはまるものすべてに○)



(注) 25年度調査では「預金・貯金」の選択肢は設けなかった。

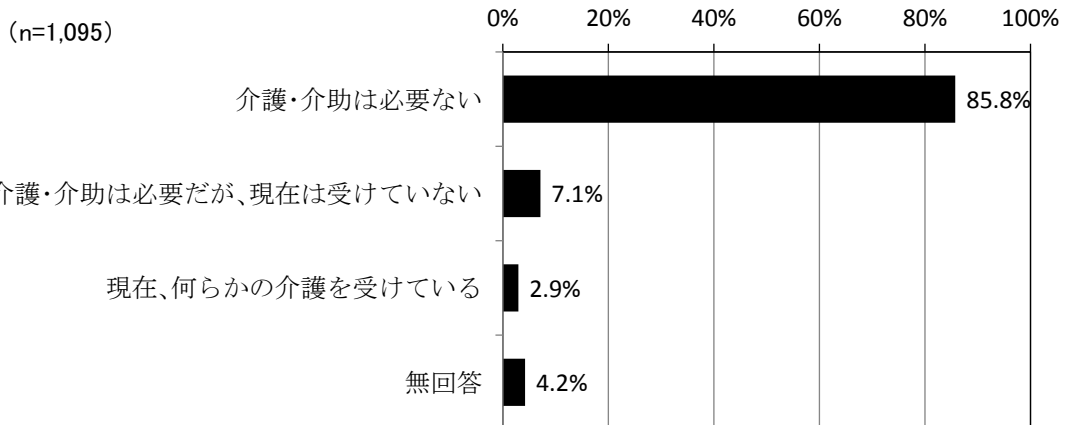
生活費等は「年金」から支出している人の割合が最も高く 85.3%、次いで、「預金・貯金」が 35.4%となっている。

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)



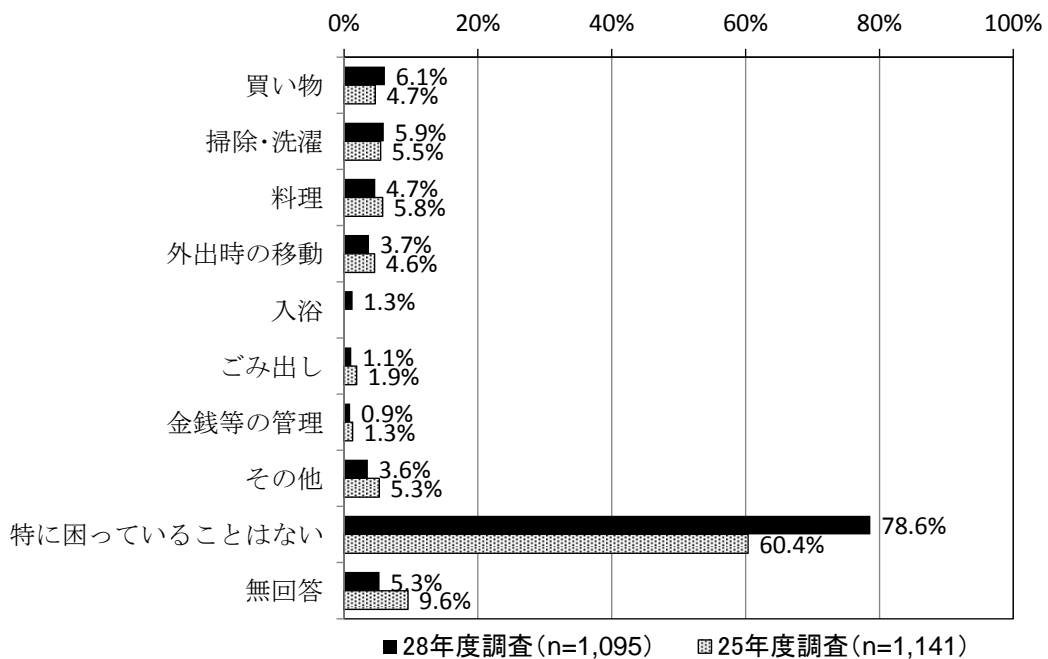
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」の割合が高く、55.2%となっている。「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計は25.6%となっている。

問8 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)



普段の生活においては「介護・介助は必要ない」が85.8%となっている。

問9 日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）はありますか。
(あてはまるものすべてに○)



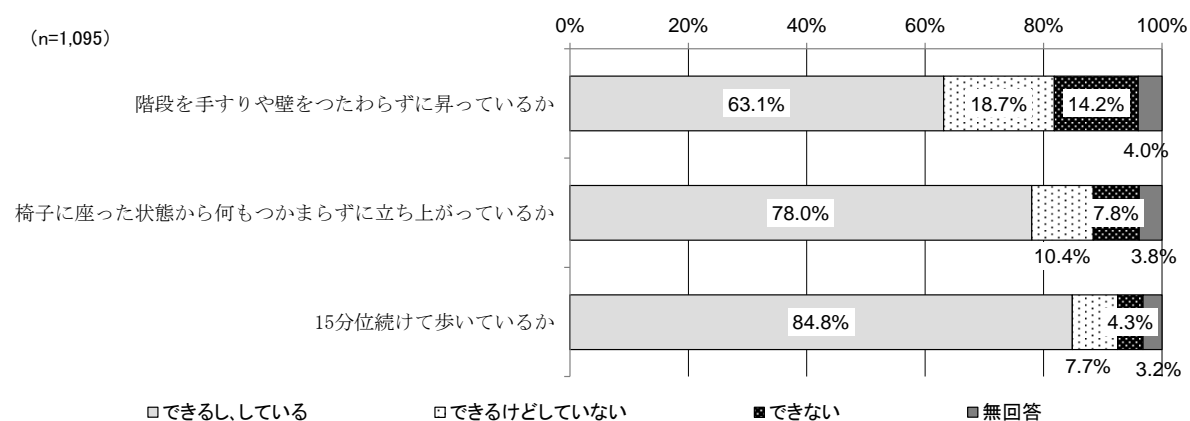
(注) 25年度調査では「入浴」の選択肢は設けなかった。

日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）については、「特に困っていることはない」の割合が78.6%となっている。

3. からだを動かすことについて

(1) 階段の昇降や立ち上がり、歩行について

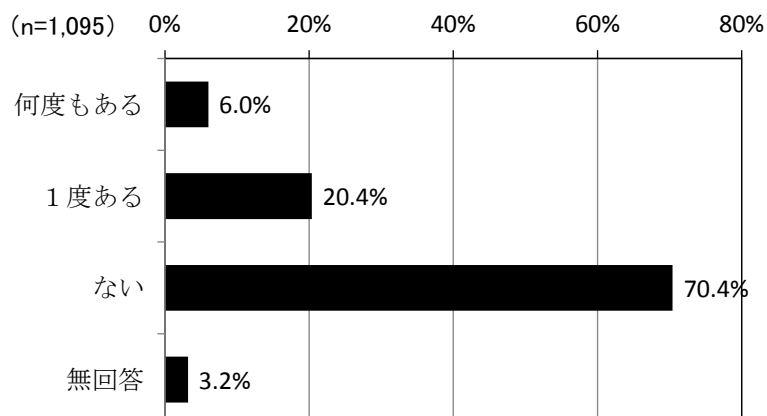
- 問 10 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)
問 11 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)
問 12 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)



階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか、15分位続けて歩いているかのいずれの設問においても、「できるし、している」の割合が高く、それぞれ63.1%、78.0%、84.8%となっている。

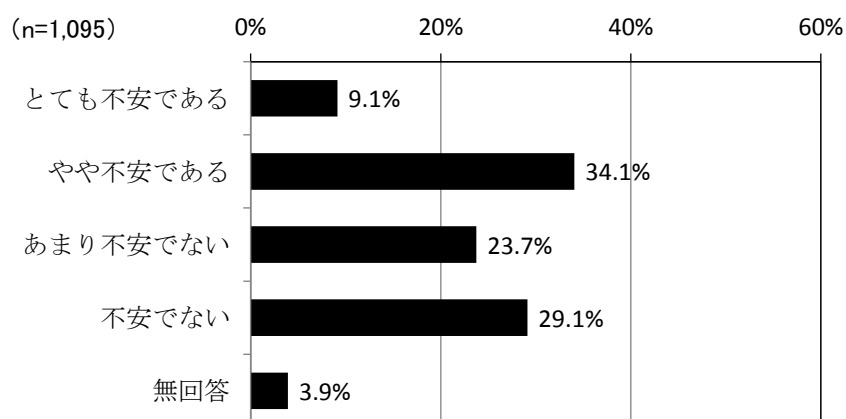
(2) 転倒について

問 13 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



過去1年間に転んだ経験は「ない」が70.4%となっている。

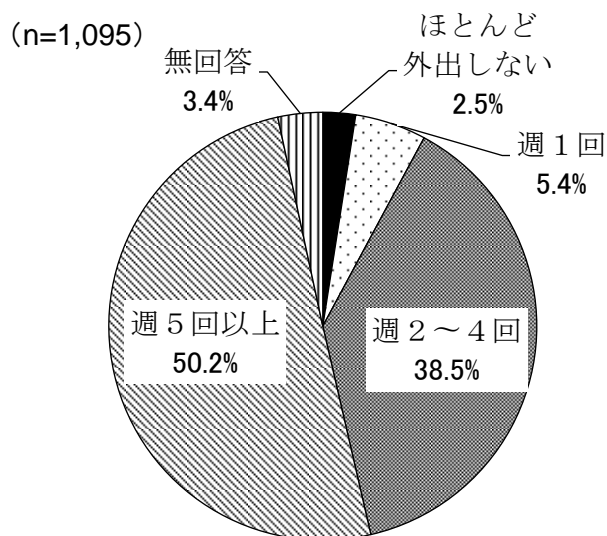
問 14 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)



転倒に対する不安については、「とても不安である」(9.1%)と「やや不安である」(34.1%)の合計が43.2%となっている。他方、「あまり不安でない」(23.7%)と「不安でない」(29.1%)の合計は52.8%である。

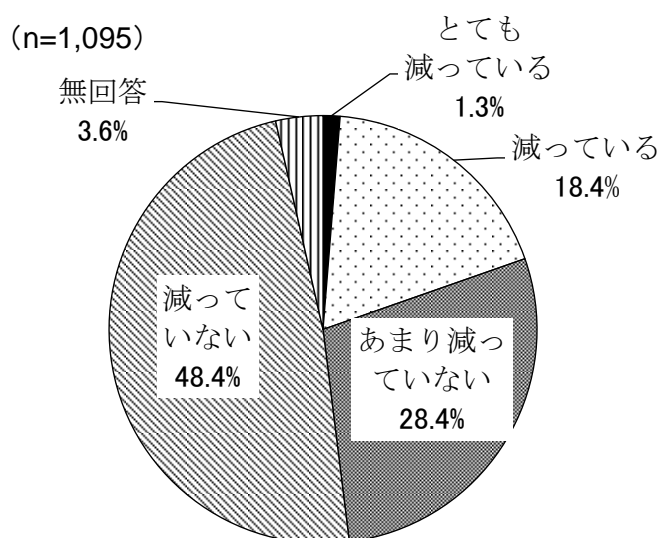
(3) 外出の状況

問 15 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)



外出の状況については、「週5回以上」が50.2%と半数を超え、次いで「週2~4回」が38.5%となっている。「ほとんど外出しない」は2.5%にとどまっている。

問 16 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)



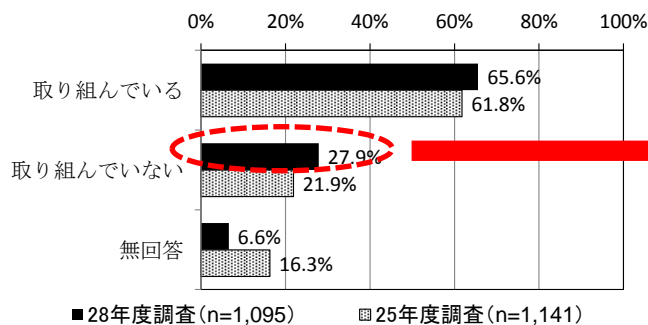
外出回数を昨年と比べると、「減っていない」が48.4%、「あまり減っていない」が28.4%である。他方、「とても減っている」(1.3%)、「減っている」(18.4%)の回答もみられる。

(4) 健康維持や介護予防の取組み

問 17 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

問 17-1 問 17 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

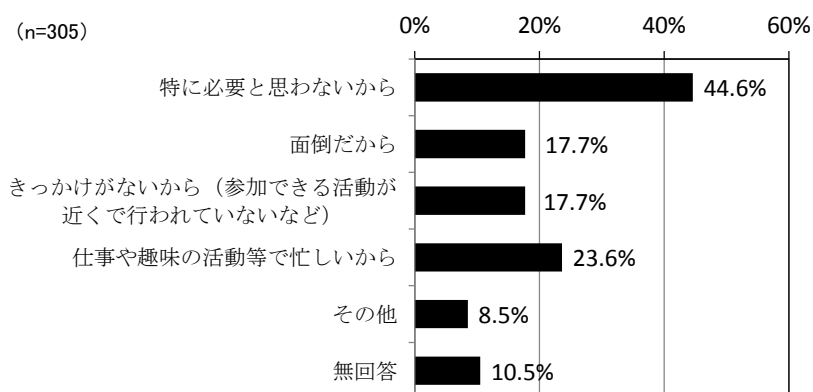
問 17-2 問 17 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。どのような内容のものがあれば取り組んでみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



(注) 25年度調査の選択肢は、健康維持や介護予防のために取り組んでいるものが「ある」、「なし」であった。

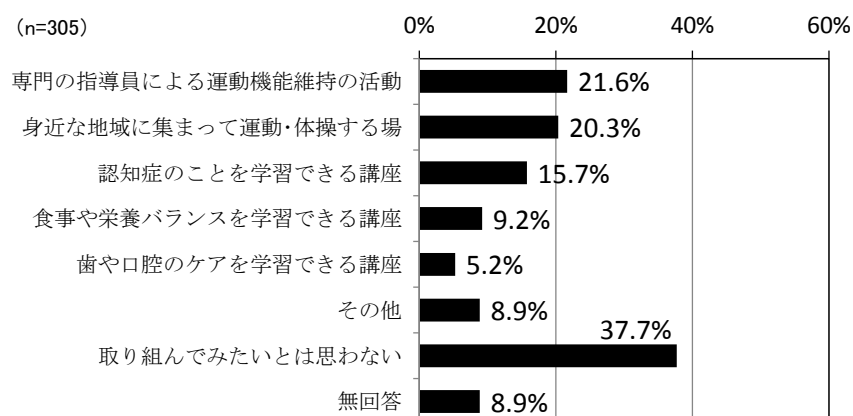
<取り組んでいない理由>

(n=305)



<どのようなものであれば取り組んでみたいか>

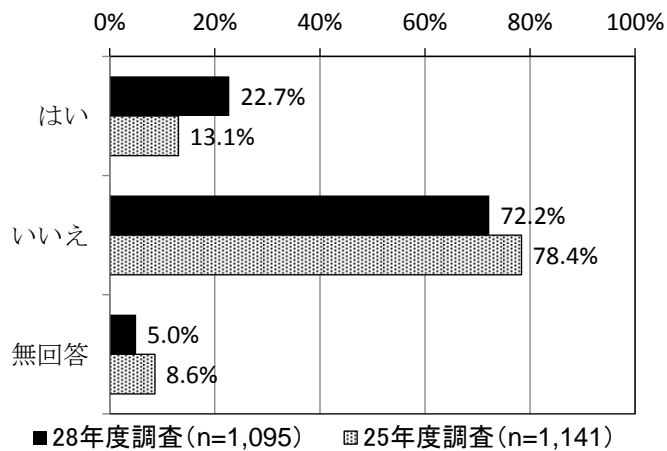
(n=305)



健康維持や介護予防に「取り組んでいる」割合は65.6%である。取り組んでいないと回答した人(27.9%、305人)に、その理由を尋ねたところ、「特に必要と思わないから」が44.6%となっている。また、どのような内容のものがあれば取り組んでみたいか尋ねたところ、「専門の指導員による運動機能維持の活動」が21.6%だった。

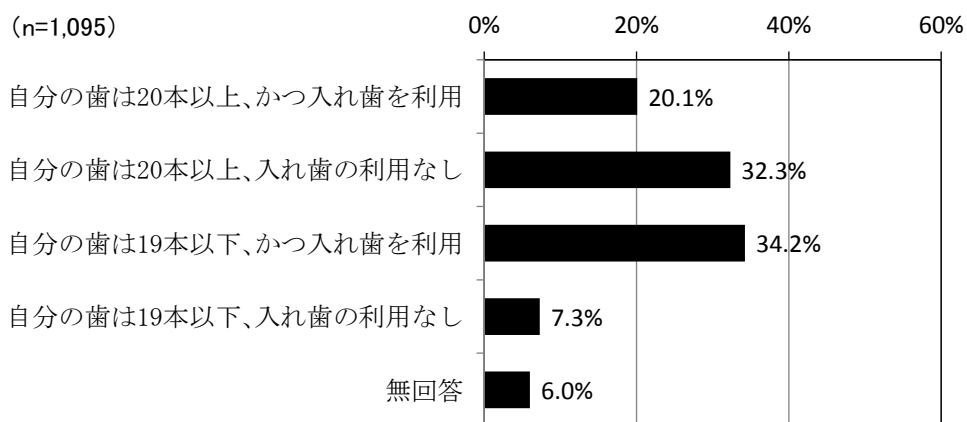
4. 食べることについて

問 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)



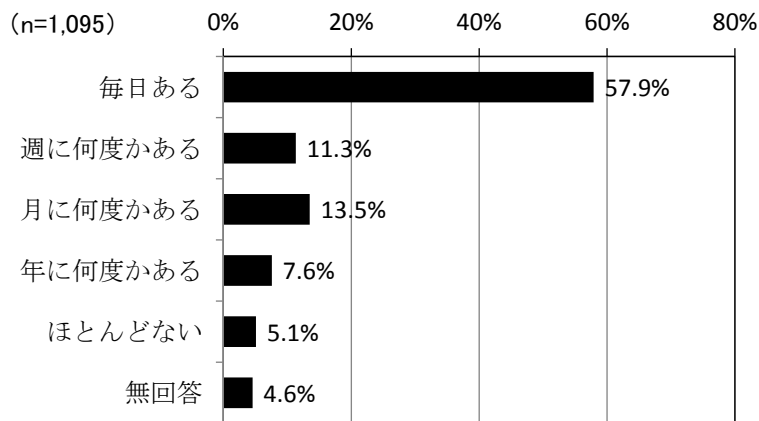
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかを尋ねたところ、「はい」が 22.7%、「いいえ」が 72.2%となっている。

問 19 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は1つ)

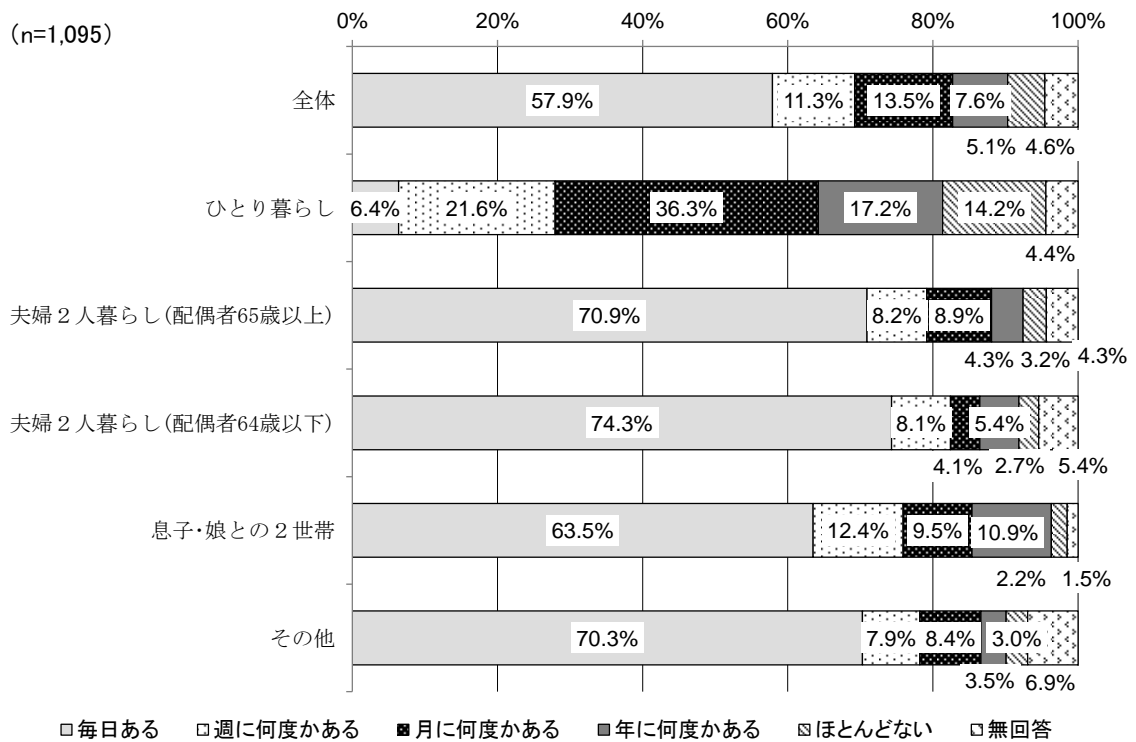


歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 32.3%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.2%だった。「自分の歯は 20 本以上」(「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の合計)が 52.4%と半数を超えている。

問 20 どなたかと食事をもとにする機会がありますか。(○は1つ)



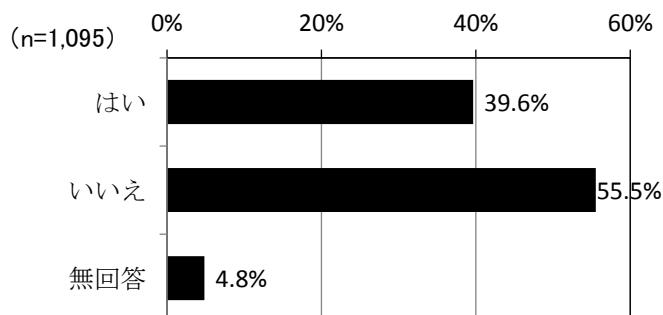
< 家族構成別 >



誰かと食事をもとにする機会については、「毎日ある」の割合が高く、57.9%となっている。
 家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「毎日ある」の割合が6.4%と低く、「ほとんどない」が14.2%となっている。

5. 毎日の生活について

問 21 もの忘れが多いと感じますか。



もの忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が 55.5%となっている。

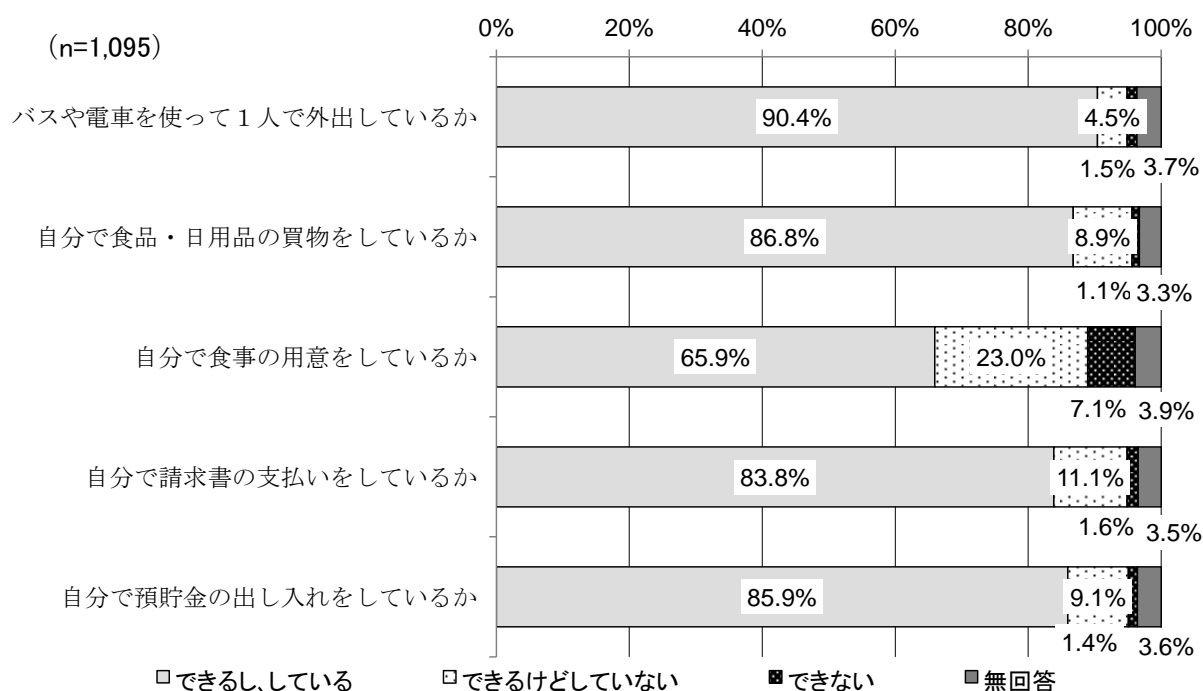
問 22 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

問 23 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

問 24 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

問 25 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

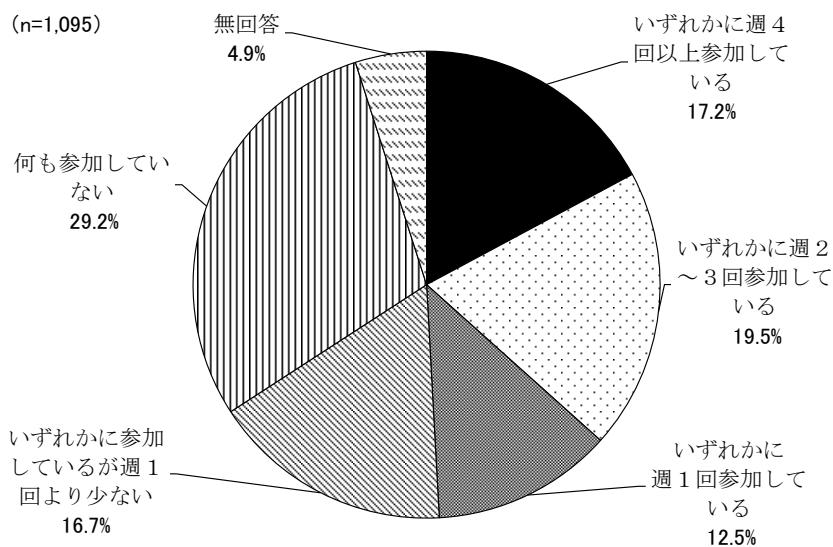
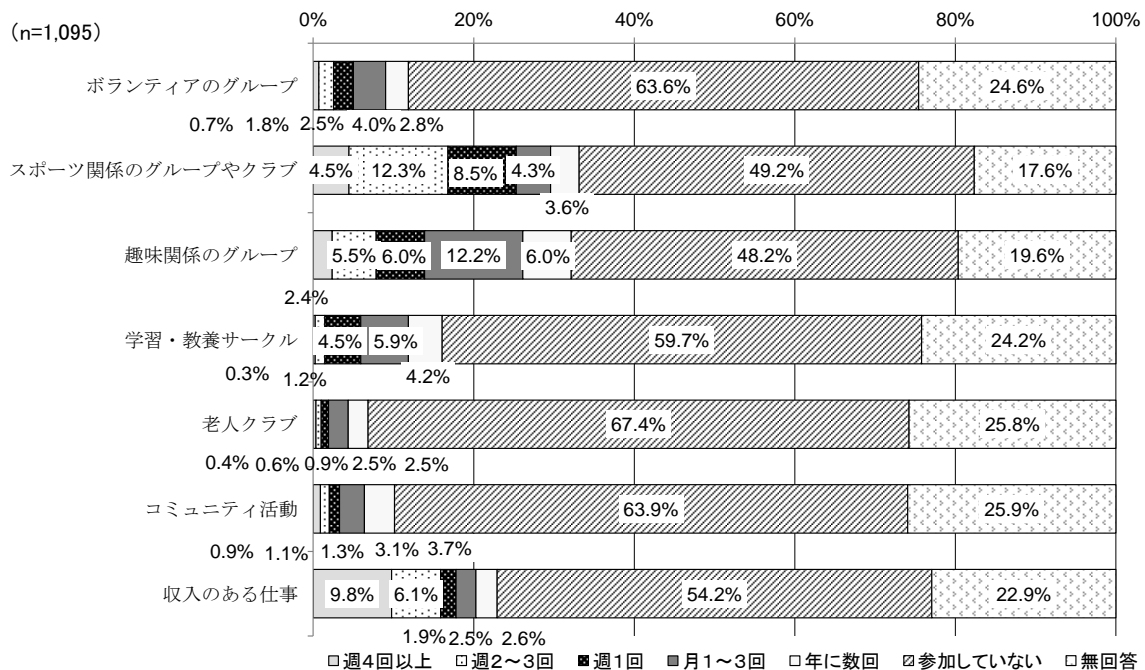
問 26 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



バスや電車を使っての1人での外出、食品・日用品の買物、請求書の支払い、預貯金の出し入れについてはいずれも、自分で「できるし、している」の割合が高く、それぞれ 90.4%、86.8%、83.8%、85.9%である。食事の用意については、「できるし、している」が 65.9%、「できるけどしていない」が 23.0%となっている。

6. 地域での活動やたすけあいについて

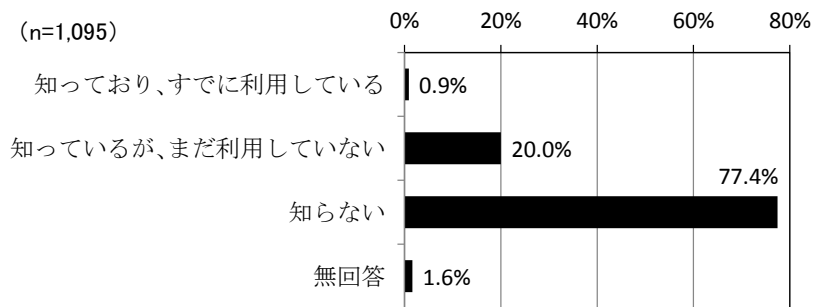
問 27 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)



設問となった全ての会・グループにおいて「参加していない」の割合が高い。(ボランティアのグループ 63.6%、スポーツ関係のグループやクラブ 49.2%、趣味関係のグループ 48.2%、学習・教養サークル 59.7%、老人クラブ 67.4%、コミュニティ活動 63.9%、収入のある仕事 54.2%)

また、いずれかの会・グループ等に週4回以上参加している人が 17.2%、週2~3回参加している人が 19.5%、週1回参加している人が 12.5%、いずれかに参加しているが週1回より少ない人が 16.7%、何も参加していない人が 29.2%だった。

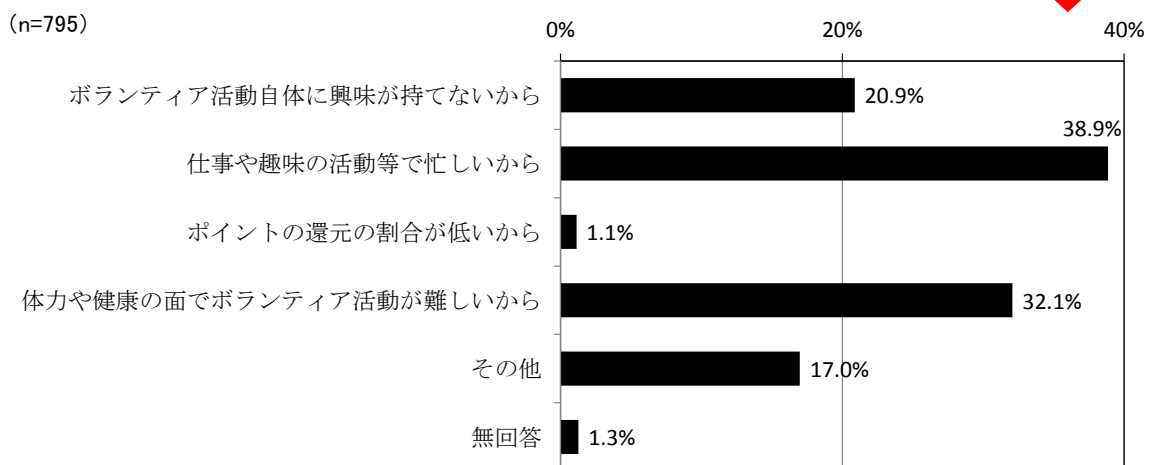
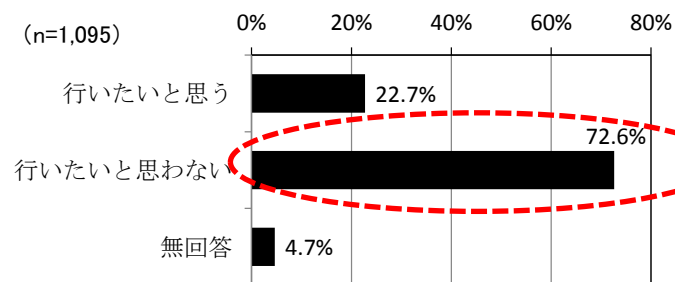
問 28 市では平成 28 年から「シニア支え合いポイント制度」の試行を始めましたが、この制度について知っていますか。(〇は1つ)



「シニア支え合いポイント制度」については、「知らない」の割合が高く、77.4%となっている。

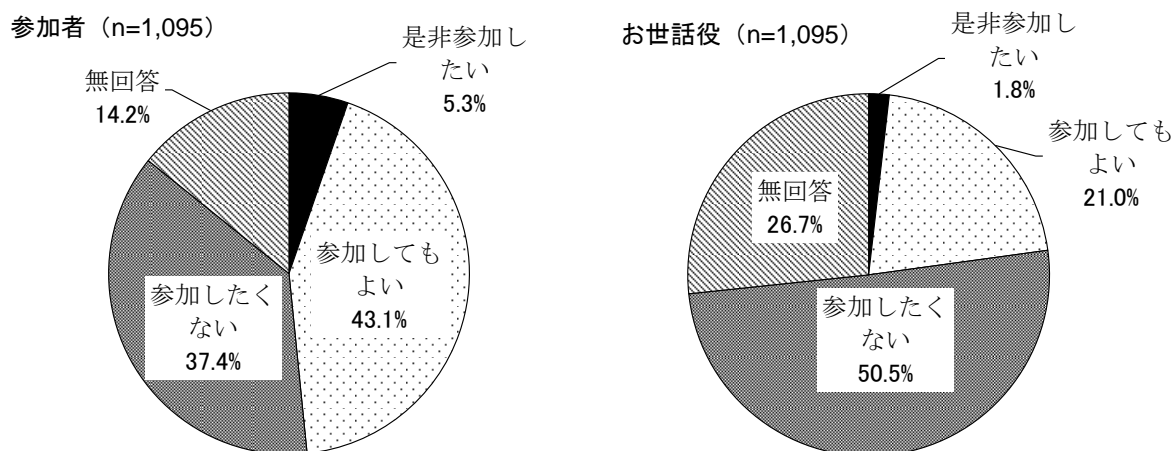
問 29 今後、「シニア支え合いポイント制度」を利用してボランティア活動を行いたいと思いませんか。(〇は1つ)

問 29-1 問 29 で「2. 行いたいと思わない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)



「シニア支え合いポイント制度」を利用したボランティア活動については、「行いたいと思わない」が72.6%となっている。「行いたいと思わない」と回答した人(72.6%、795人)にその理由を尋ねたところ、「仕事や趣味の活動等で忙しいから」が38.9%だった。

問 30 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）



	合計	Q30① 地域づくり推進への参加意向：参加者として			
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体	1,095 100.0%	58 5.3%	472 43.1%	409 37.4%	156 14.2%
Q17 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいるか	取り組んでいる	43 6.0%	333 46.4%	242 33.7%	100 13.9%
	取り組んでいない	11 3.6%	115 37.7%	138 45.2%	41 13.4%

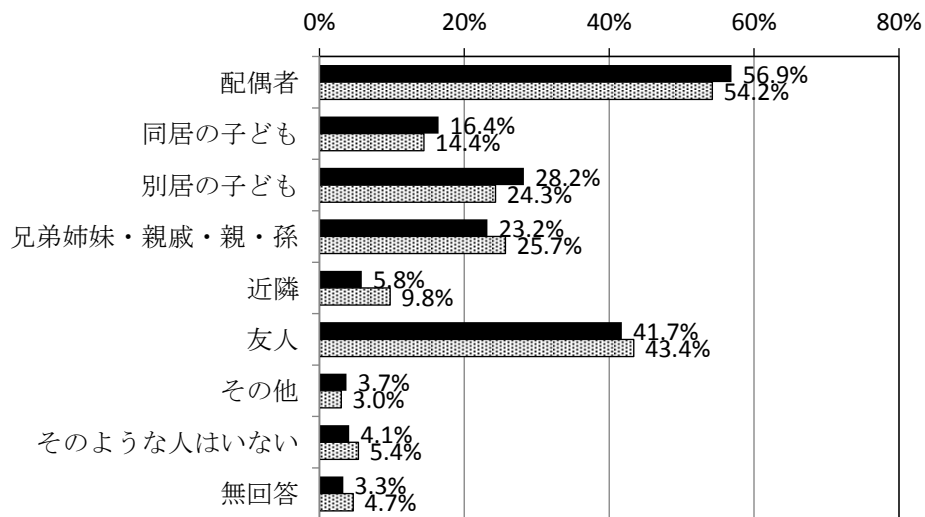
	合計	Q30② 地域づくり推進への参加意向：企画・運営として			
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体	1,095 100.0%	20 1.8%	230 21.0%	553 50.5%	292 26.7%
Q17 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいるか	取り組んでいる	16 2.2%	169 23.5%	341 47.5%	192 26.7%
	取り組んでいない	3 1.0%	53 17.4%	181 59.3%	68 22.3%

地域住民の有志による、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じた、いきいきとした地域づくりについて、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計をみると、参加者としては48.4%、企画・運営（お世話役）としては22.8%となっている。

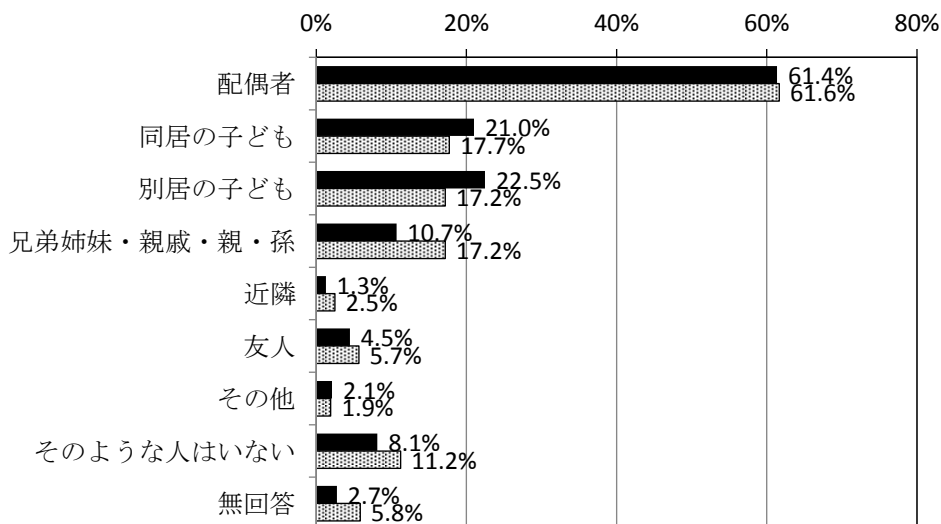
健康維持や介護予防の取組みの有無別にみると、参加者として、企画・運営（お世話役）としてのいずれにおいても、普段から健康維持や介護予防に取り組んでいるほうが、地域づくりへの参加意向も高い。

問 31 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。(①から④のそれぞれについてあてはまるものすべてに○)

- ①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人
- ②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人
- ③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
- ④反対に、看病や世話をしてあげる人



■ 心配事や愚痴を聞いてくれる人 (n=1,095)
 □ 心配事や愚痴を聞いてあげる人 (n=1,095)



■ 看病や世話をしてくれる人 (n=1,095)
 □ 看病や世話をしてあげる人 (n=1,095)

心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人のいずれも「配偶者」の割合が高く、それぞれ56.9%、54.2%だった。病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人、してあげる人も同様に「配偶者」の割合が高く、それぞれ61.4%、61.6%だった。

(心配ごとや愚痴を聞いてくれる人)

		合計	Q31① あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人									
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		1095	623	180	309	254	64	457	41	45	36	
		100	56.9%	16.4%	28.2%	23.2%	5.8%	41.7%	3.7%	4.1%	3.3%	
Q2 家族構成	ひとり暮らし	204	0	0	72	68	18	107	12	24	11	
			100.0%	0.0%	0.0%	35.3%	33.3%	8.8%	52.5%	5.9%	11.8%	5.4%
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	437	361	14	150	79	29	180	10	7	13	
			100.0%	82.6%	3.2%	34.3%	18.1%	6.6%	41.2%	2.3%	1.6%	3.0%
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	74	65	1	11	13	3	20	4	2	1	
			100.0%	87.8%	1.4%	14.9%	17.6%	4.1%	27.0%	5.4%	2.7%	1.4%
息子・娘との2世帯	137	74	80	32	23	3	52	1	3	3		
		100.0%	54.0%	58.4%	23.4%	16.8%	2.2%	38.0%	0.7%	2.2%	2.2%	
その他	202	99	78	32	63	8	79	12	8	4		
		100.0%	49.0%	38.6%	15.8%	31.2%	4.0%	39.1%	5.9%	4.0%	2.0%	

(心配事や愚痴を聞いてあげる人)

		合計	Q31② 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人									
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体		1095	594	158	266	281	107	475	33	59	51	
		100.0	54.2	14.4	24.3	25.7	9.8	43.4	3.0	5.4	4.7	
Q2 家族構成	ひとり暮らし	204	1	0	50	68	24	113	5	28	13	
			100.0%	0.5%	0.0%	24.5%	33.3%	11.8%	55.4%	2.5%	13.7%	6.4%
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	437	339	14	129	97	45	183	8	14	19	
			100.0%	77.6%	3.2%	29.5%	22.2%	10.3%	41.9%	1.8%	3.2%	4.3%
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	74	64	1	15	11	6	21	5	1	2	
			100.0%	86.5%	1.4%	20.3%	14.9%	8.1%	28.4%	6.8%	1.4%	2.7%
息子・娘との2世帯	137	75	70	28	31	8	52	2	9	3		
		100.0%	54.7%	51.1%	20.4%	22.6%	5.8%	38.0%	1.5%	6.6%	2.2%	
その他	202	93	69	37	66	17	90	11	6	8		
		100.0%	46.0%	34.2%	18.3%	32.7%	8.4%	44.6%	5.4%	3.0%	4.0%	

(看病や世話をしてくれる人)

		合計	Q31③ あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1095 100.0	672 61.4	230 21.0	246 22.5	117 10.7	14 1.3	49 4.5	23 2.1	89 8.1	30 2.7
Q2 家族構成	ひとり暮らし	204 100.0%	1 0.5%	2 1.0%	72 35.3%	41 20.1%	3 1.5%	26 12.7%	6 2.9%	67 32.8%	10 4.9%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	437 100.0%	391 89.5%	20 4.6%	121 27.7%	26 5.9%	8 1.8%	13 3.0%	4 0.9%	5 1.1%	9 2.1%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	74 100.0%	71 95.9%	2 2.7%	7 9.5%	2 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.7%	1 1.4%
	息子・娘との2世帯	137 100.0%	78 56.9%	96 70.1%	15 10.9%	7 5.1%	2 1.5%	4 2.9%	1 0.7%	2 1.5%	4 2.9%
	その他	202 100.0%	106 52.5%	100 49.5%	23 11.4%	36 17.8%	1 0.5%	5 2.5%	7 3.5%	11 5.4%	5 2.5%

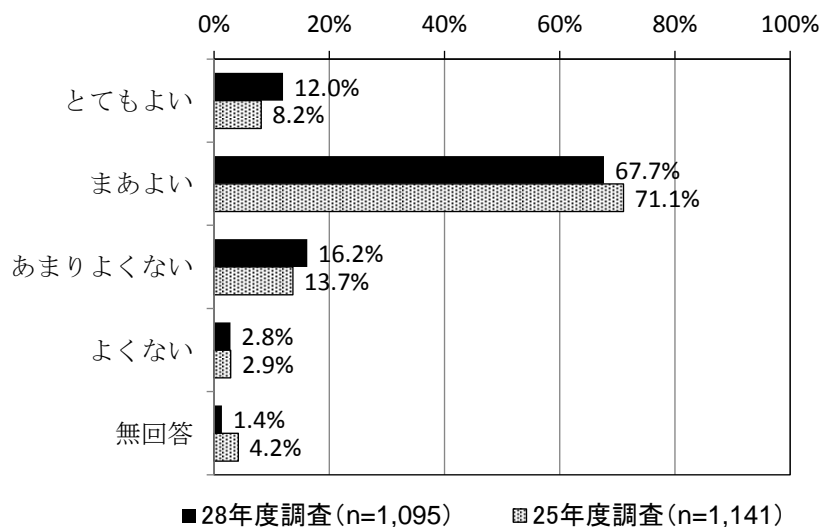
(看病や世話をしてあげる人)

		合計	Q31④ 反対に、看病や世話をしてあげる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1095 100.0	675 61.6	194 17.7	188 17.2	188 17.2	27 2.5	62 5.7	21 1.9	123 11.2	64 5.8
Q2 家族構成	ひとり暮らし	204 100.0%	3 1.5%	0 0.0%	40 19.6%	47 23.0%	5 2.5%	28 13.7%	2 1.0%	84 41.2%	20 9.8%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	437 100.0%	387 88.6%	13 3.0%	92 21.1%	61 14.0%	13 3.0%	20 4.6%	4 0.9%	17 3.9%	20 4.6%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	74 100.0%	67 90.5%	3 4.1%	10 13.5%	9 12.2%	2 2.7%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.1%	2 2.7%
	息子・娘との2世帯	137 100.0%	85 62.0%	79 57.7%	18 13.1%	14 10.2%	2 1.5%	5 3.6%	2 1.5%	6 4.4%	7 5.1%
	その他	202 100.0%	109 54.0%	93 46.0%	22 10.9%	50 24.8%	5 2.5%	7 3.5%	9 4.5%	11 5.4%	10 5.0%

家族構成別にみると、ひとり暮らしにおいて「そのような人はいない」の割合が高く、心配ごとや愚痴を聞いてくれる人は11.8%、逆に心配事や愚痴を聞いてあげる人は13.7%、看病や世話をしてくれる人は32.8%、看病や世話をしてあげる人は41.2%となっている。

7. 健康について

問 32 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)



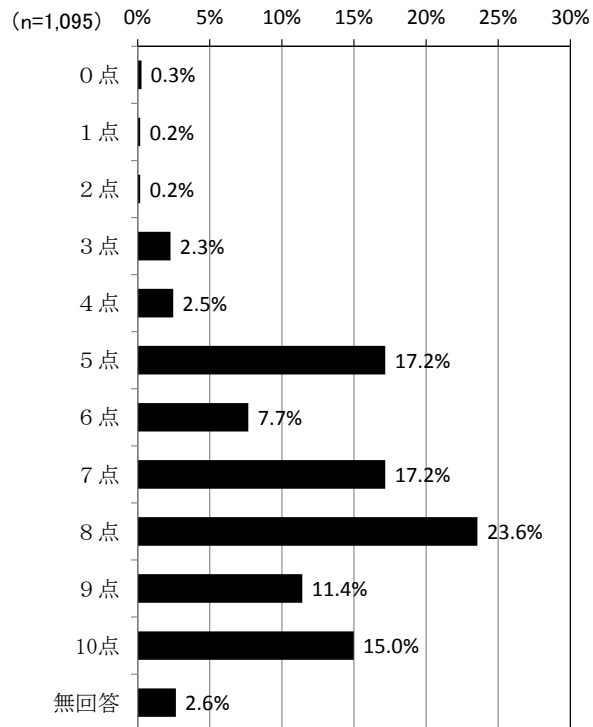
(注) 25年度調査の選択肢は「とても健康」、「まあまあ健康」、「あまり健康でない」、「健康でない」だった。

	合計	Q32 現在の健康状態					
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
全体	1,095 100.0%	131 12.0%	741 67.7%	177 16.2%	31 2.8%	15 1.4%	
Q7 現在の暮らしの状況	大変苦しい	59 100.0%	7 11.9%	28 47.5%	20 33.9%	4 6.8%	0 0.0%
	やや苦しい	221 100.0%	23 10.4%	142 64.3%	45 20.4%	7 3.2%	4 1.8%
	ふつう	604 100.0%	60 9.9%	431 71.4%	89 14.7%	17 2.8%	7 1.2%
	ややゆとりがある	144 100.0%	28 19.4%	100 69.4%	14 9.7%	1 0.7%	1 0.7%
	大変ゆとりがある	26 100.0%	6 23.1%	20 76.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」の合計が79.7%を占めている。他方、「あまりよくない」と「よくない」の合計は、19.0%であった。

また、現在の暮らしの状況別にみると、暮らしが苦しいほど「あまりよくない」と回答する人の割合が高い傾向がみられる。

問 33 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）（○は1つ）



		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体		1,066	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0
Q7 現在の暮らし の状況	大変苦しい	58	5.7	2.3	5.0	10.0	0.0
	やや苦しい	215	6.7	2.0	7.0	10.0	0.0
	ふつう	587	7.4	1.8	8.0	10.0	1.0
	ややゆとりがある	143	8.3	1.3	8.0	10.0	5.0
	大変ゆとりがある	26	8.8	1.5	9.0	10.0	5.0
Q15 週に1回以上 は外出しているか	ほとんど外出しない	27	6.3	2.1	6.0	10.0	2.0
	週1回	54	6.3	2.1	6.0	10.0	0.0
	週2～4回	410	7.1	2.0	7.0	10.0	0.0
	週5回以上	543	7.6	1.8	8.0	10.0	1.0
Q17 普段から健康 維持や介護予防に 取り組んでいるか	取り組んでいる	707	7.5	1.8	8.0	10.0	0.0
	取り組んでいない	294	6.7	2.0	7.0	10.0	0.0

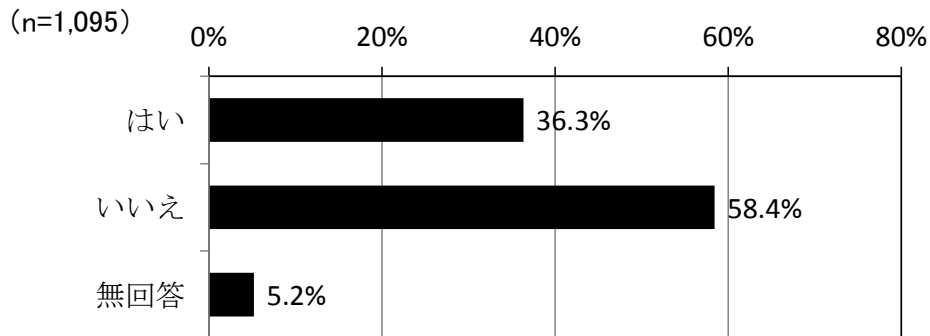
「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せかを尋ねたところ、「8点」の割合が最も高く、23.6%となっている。平均は7.3点である。

暮らしにゆとりがあるほど、外出の頻度が高いほど、幸福度が高い傾向がみられる。また、普段から健康維持や介護予防に取り組んでいる人のほうが幸福度が高い傾向がみられる。

問 34 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
 (○は1つ)

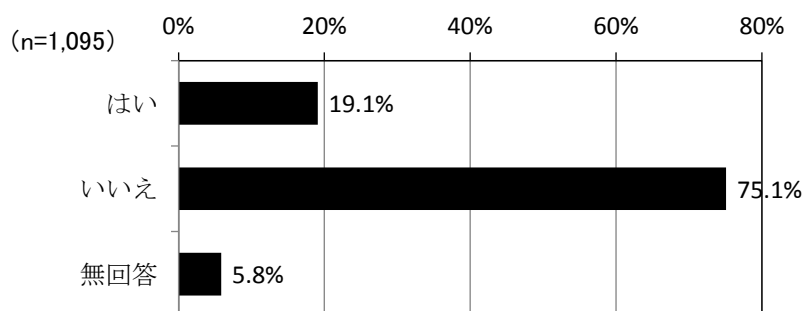
問 35 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

<気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること>



		合計	Q34 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることの有無		
			はい	いいえ	無回答
全体		1,095 100.0%	398 36.3%	640 58.4%	57 5.2%
Q7 現在の暮らしの状況	大変苦しい	59 100.0%	29 49.2%	29 49.2%	1 1.7%
	やや苦しい	221 100.0%	96 43.4%	114 51.6%	11 5.0%
	ふつう	604 100.0%	208 34.4%	368 60.9%	28 4.6%
	ややゆとりがある	144 100.0%	48 33.3%	88 61.1%	8 5.6%
	大変ゆとりがある	26 100.0%	5 19.2%	20 76.9%	1 3.8%

<どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じ>

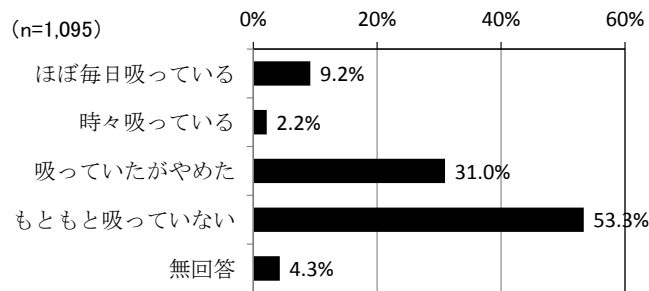


		合計	Q35 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じの有無		
			はい	いいえ	無回答
全体		1,095 100.0%	209 19.1%	822 75.1%	64 5.8%
Q7 現在の暮らしの状況	大変苦しい	59 100.0%	22 37.3%	36 61.0%	1 1.7%
	やや苦しい	221 100.0%	54 24.4%	157 71.0%	10 4.5%
	ふつう	604 100.0%	106 17.5%	464 76.8%	34 5.6%
	ややゆとりがある	144 100.0%	16 11.1%	120 83.3%	8 5.6%
	大変ゆとりがある	26 100.0%	2 7.7%	22 84.6%	2 7.7%

この1か月間で、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては「いいえ」が58.4%、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては「いいえ」が75.1%と、いずれも全体では「いいえ」の割合が高い。

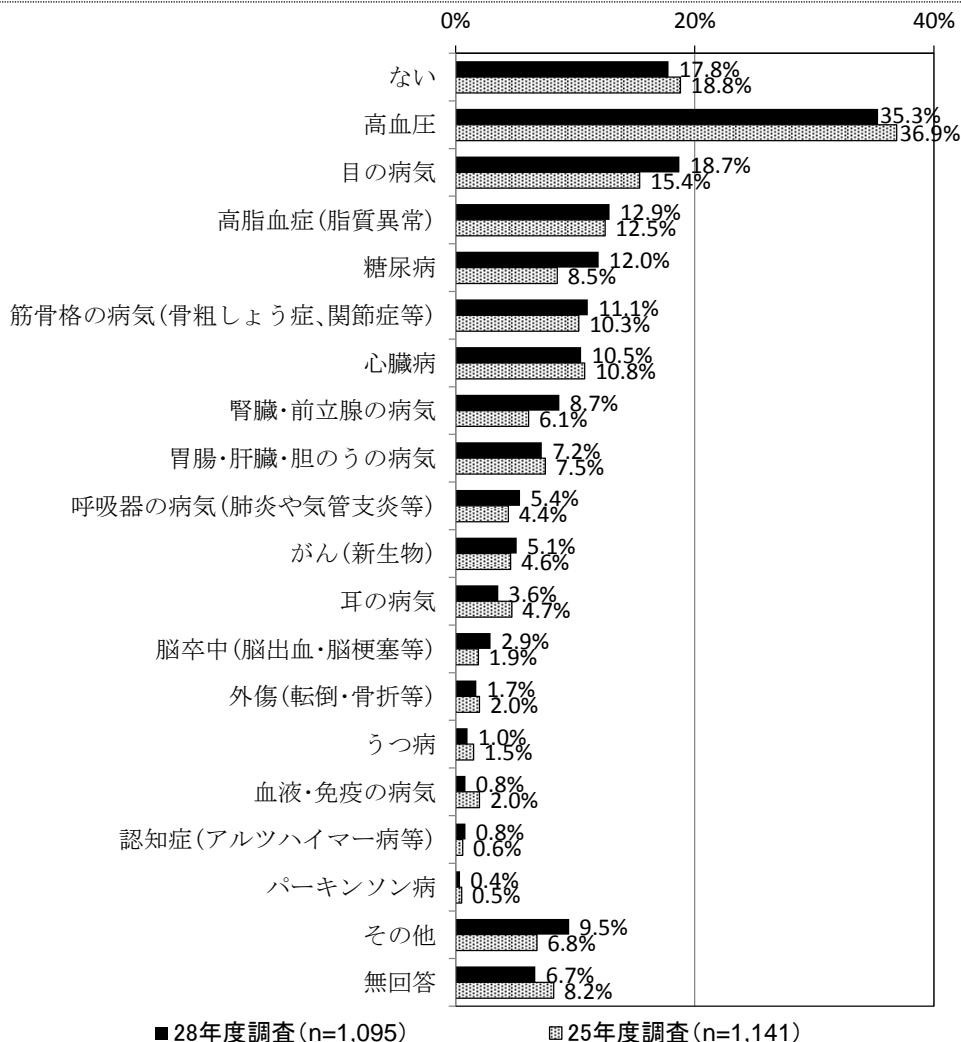
現在の暮らしの状況別にみると、暮らしが苦しいほど、気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりする、物事に対して興味がわからない、心から楽しめないと感じる傾向がみられる。

問 36 タバコは吸っていますか。(○は1つ)



喫煙の状況については、「もともと吸っていない」が53.3%、「吸っていたがやめた」が31.0%となっている。

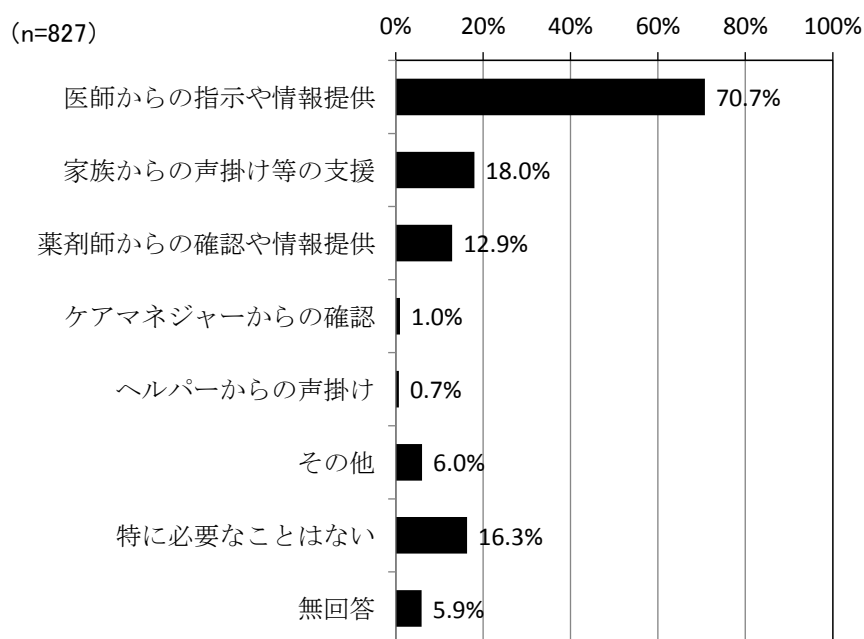
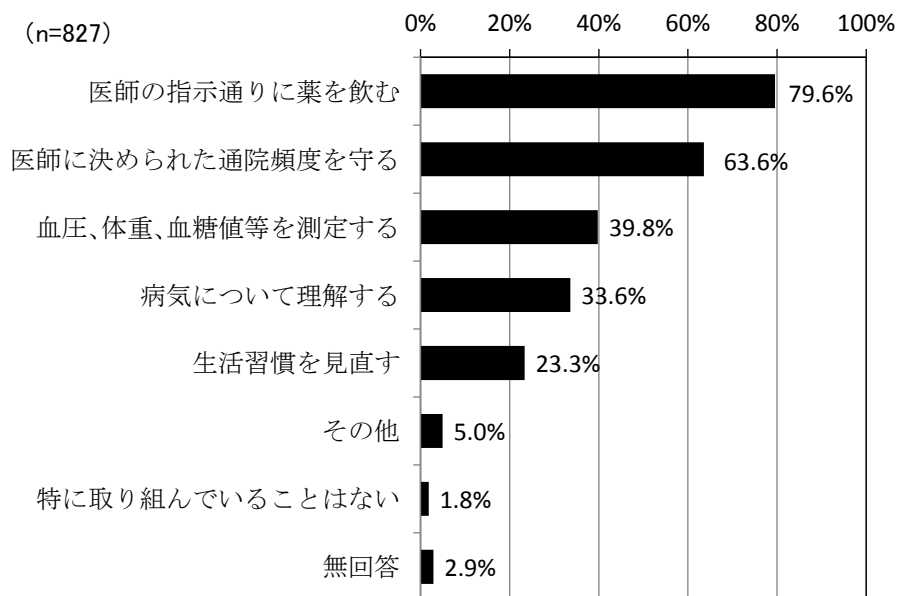
問 37 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)



現在治療中、または後遺症のある病気については「高血圧」が35.3%、次いで「目の病気」が18.7%、「高脂血症 (脂質異常)」が12.9%となっている。

問 37-1 問 37 で1つ以上に該当した方にお伺いします。その病気の悪化、再発を予防するために取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

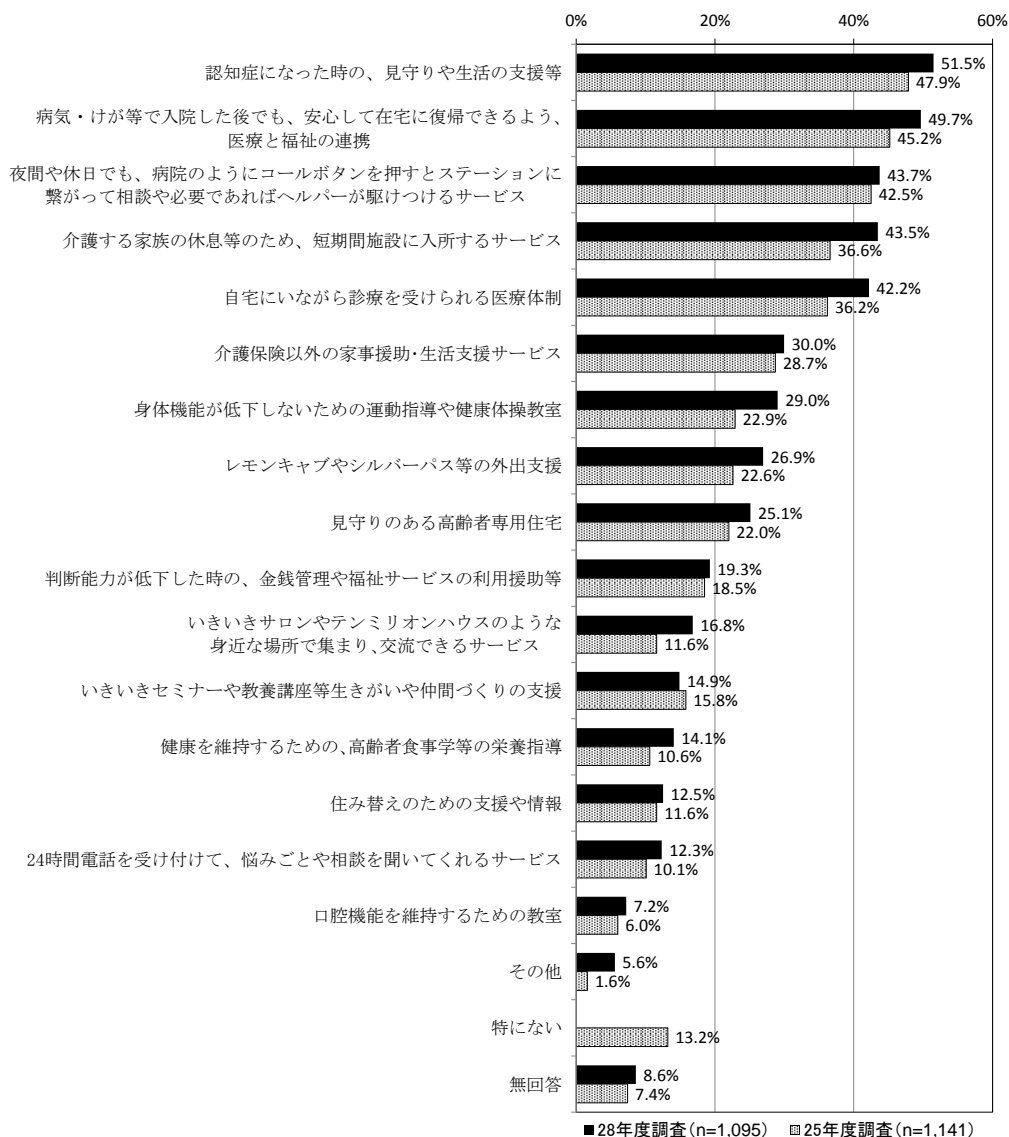
問 37-2 問 37 で1つ以上に該当した方にお伺いします。(その病気の悪化、再発を予防するために) 取り組んでいることを継続するには、どのようなことが必要だと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)



現在治療中、または後遺症のある病気が1つ以上あると回答した人(827人)に、悪化・再発予防のための取り組みについて尋ねたところ、「医師の指示通りに薬を飲む」が79.6%、取り組みを継続するために必要なことは「医師からの指示や情報提供」が70.7%と、医師の指示によるものの割合が高い。

8. 今後の暮らしについて

問 38 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

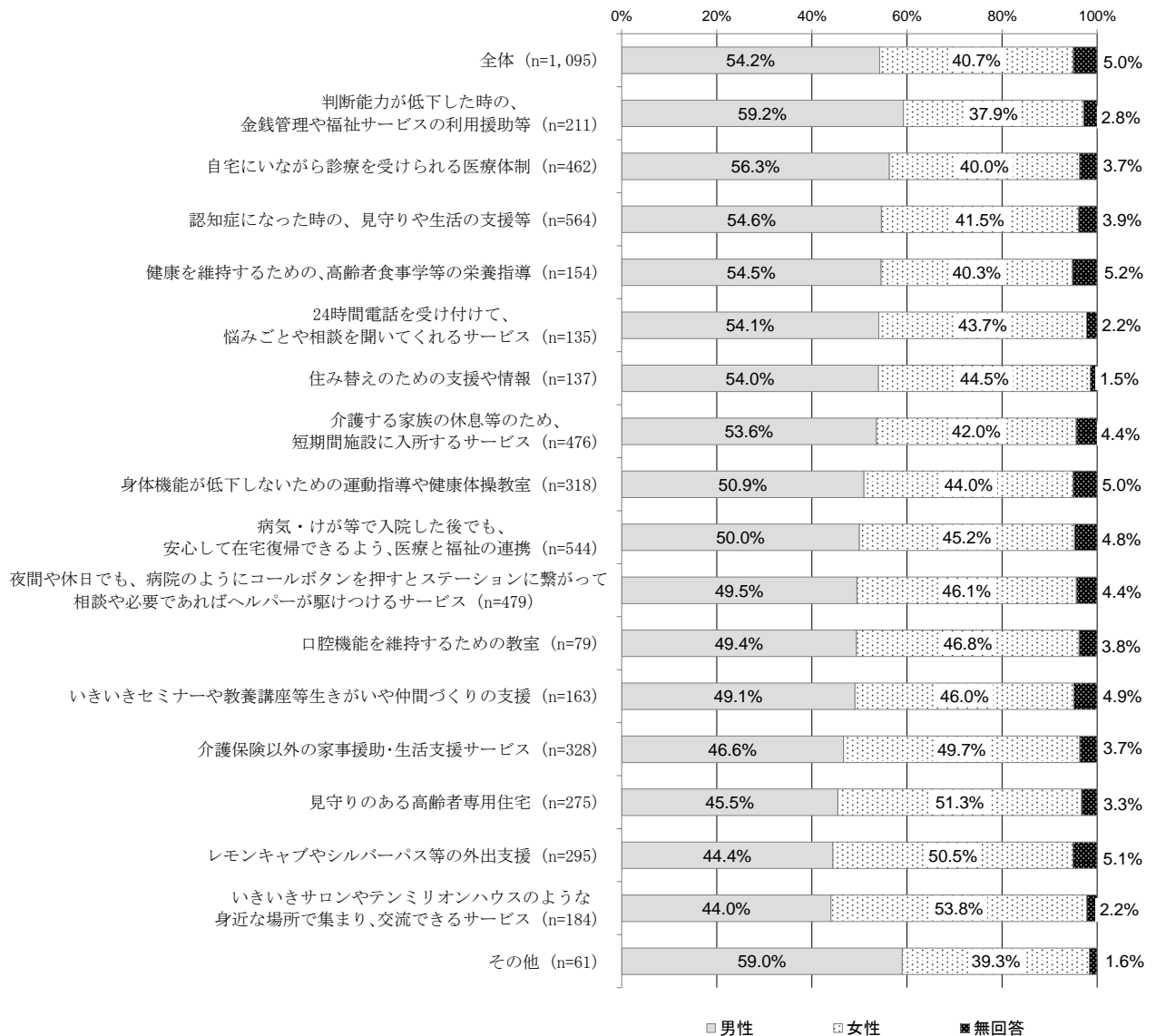


(注) 28年度調査では「特にない」の選択肢は設けなかった。

「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」の割合が最も高い (51.5%)。次いで、「病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携」(49.7%)、「夜間や休日でも、病院のようにコールボタンを押すとステーションに繋がって相談や必要であればヘルパーが駆けつけるサービス」(43.7%)が続く。これらは25年度調査でも上位3項目を占めているが、いずれも28年度調査のほうが割合が高い (それぞれ3.6ポイント、4.5ポイント、1.2ポイントの差)。

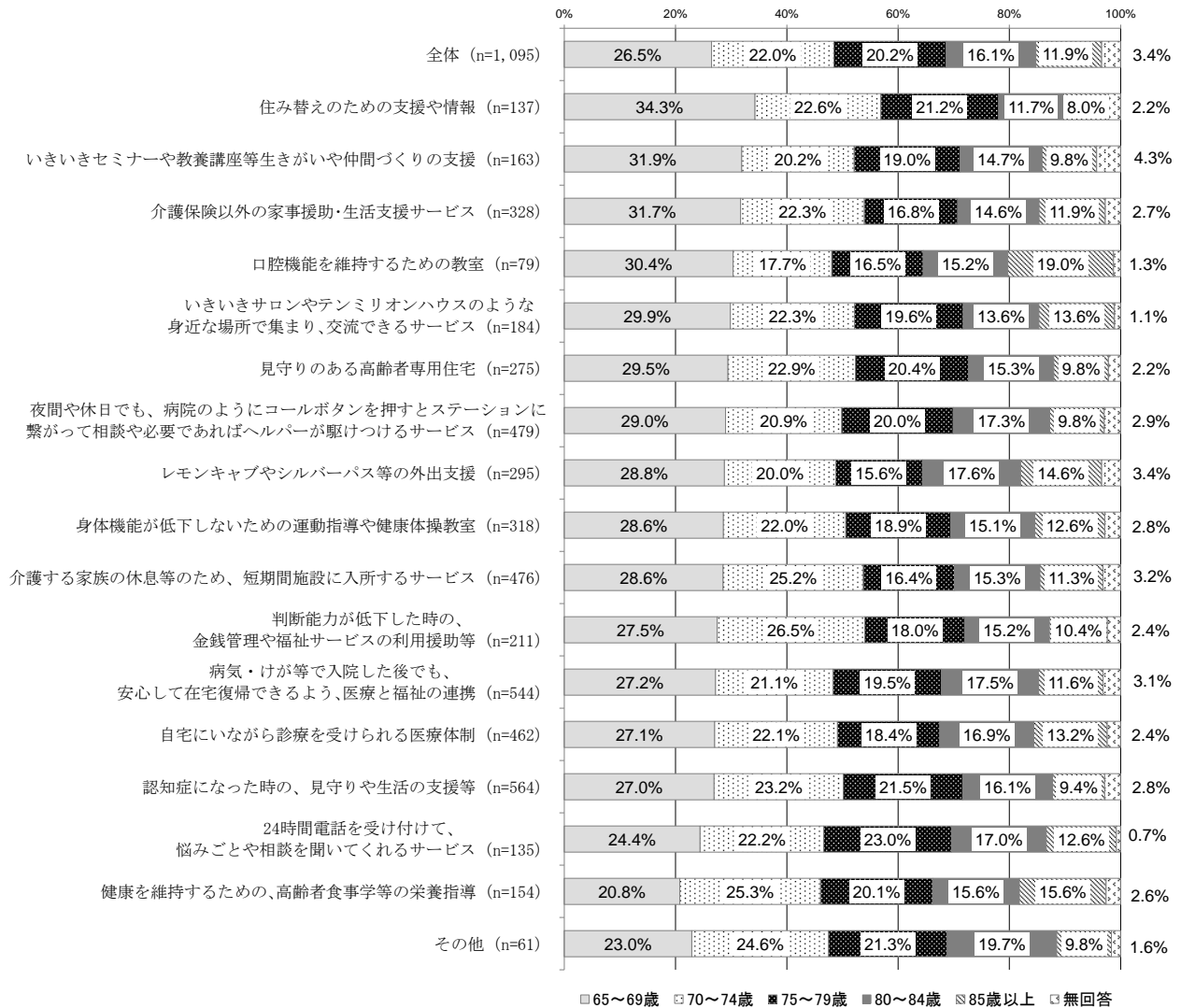
また、「介護する家族の休息等のため、短期間施設に入所するサービス」(28年度調査43.5%、25年度調査36.6%)、「自宅にしながら診療を受けられる医療体制」(28年度調査42.2%、25年度調査36.2%)は、25年度調査より28年度調査のほうがそれぞれ6.9ポイント、6.0ポイント割合が高い。

<各施策や支援を求める回答の男女別内訳>



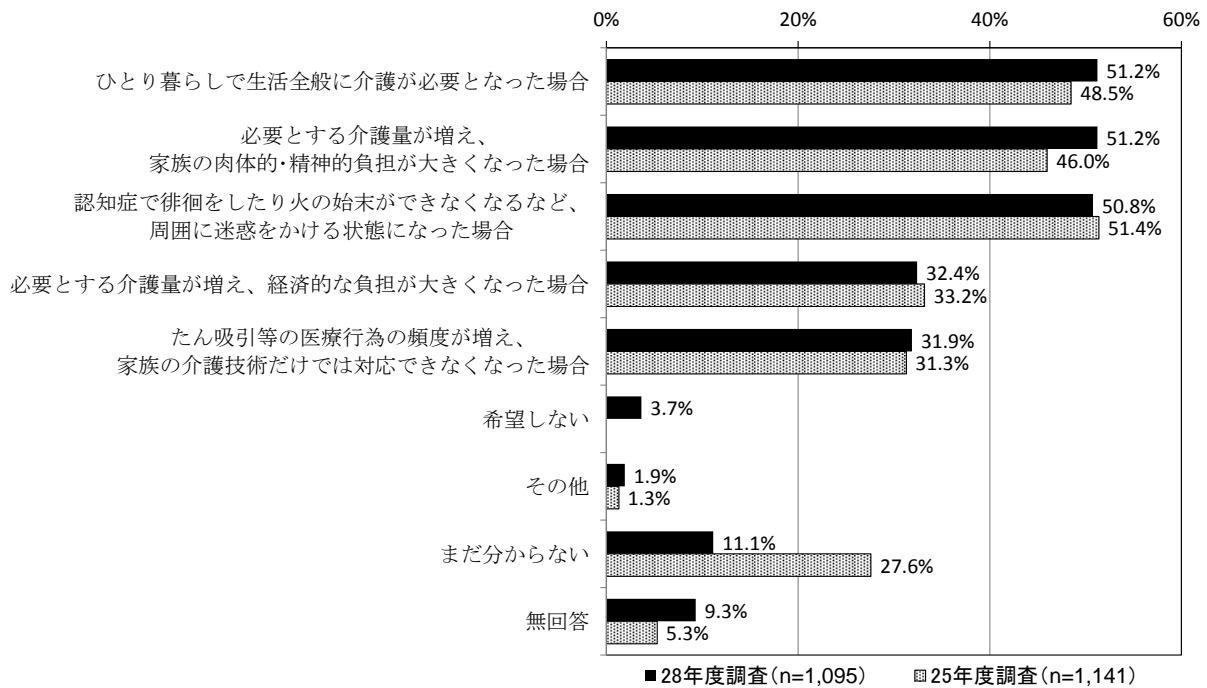
各施策や支援を求める回答について、男女別の内訳をみると、「判断力が低下した時の、金銭管理や福祉サービスの利用援助等」や「自宅にしながら診療を受けられる医療体制」は男性の割合が高く、それぞれ 59.2%、56.3%となっている。他方、「いきいきサロンやテンミリオンハウスのような身近な場所で集まり、交流できるサービス」は女性の割合が高く 53.8%となっている。

<各施策や支援を求める回答の年齢別内訳>



各施策や支援を求める回答について、年齢別の内訳をみると、「住み替えのための支援や情報」や「生きがいや仲間づくりの支援」は「65～69歳」の割合が高く、それぞれ34.3%、31.9%となっている。

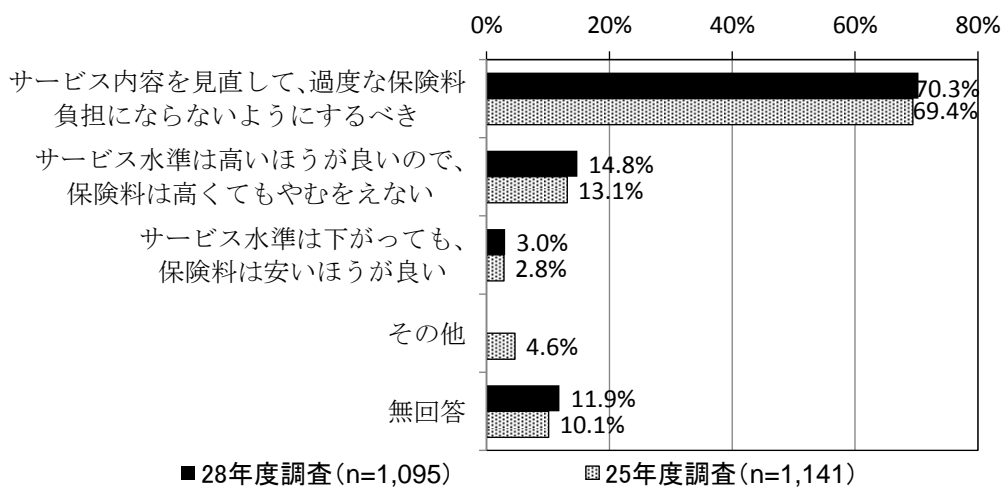
問 39 あなたに介護が必要となった場合、どのような状態になったら施設入所を希望すると思いますか。(複数回答)



(注) 25年度調査では「希望しない」の選択肢は設けなかった。

「ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合」(51.2%)、「必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合」(51.2%)、「認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合」(50.8%)に施設入所を希望するという回答がいずれも5割を超えている。また、25年度調査に比べて、「まだ分からない」という回答の割合が低い。

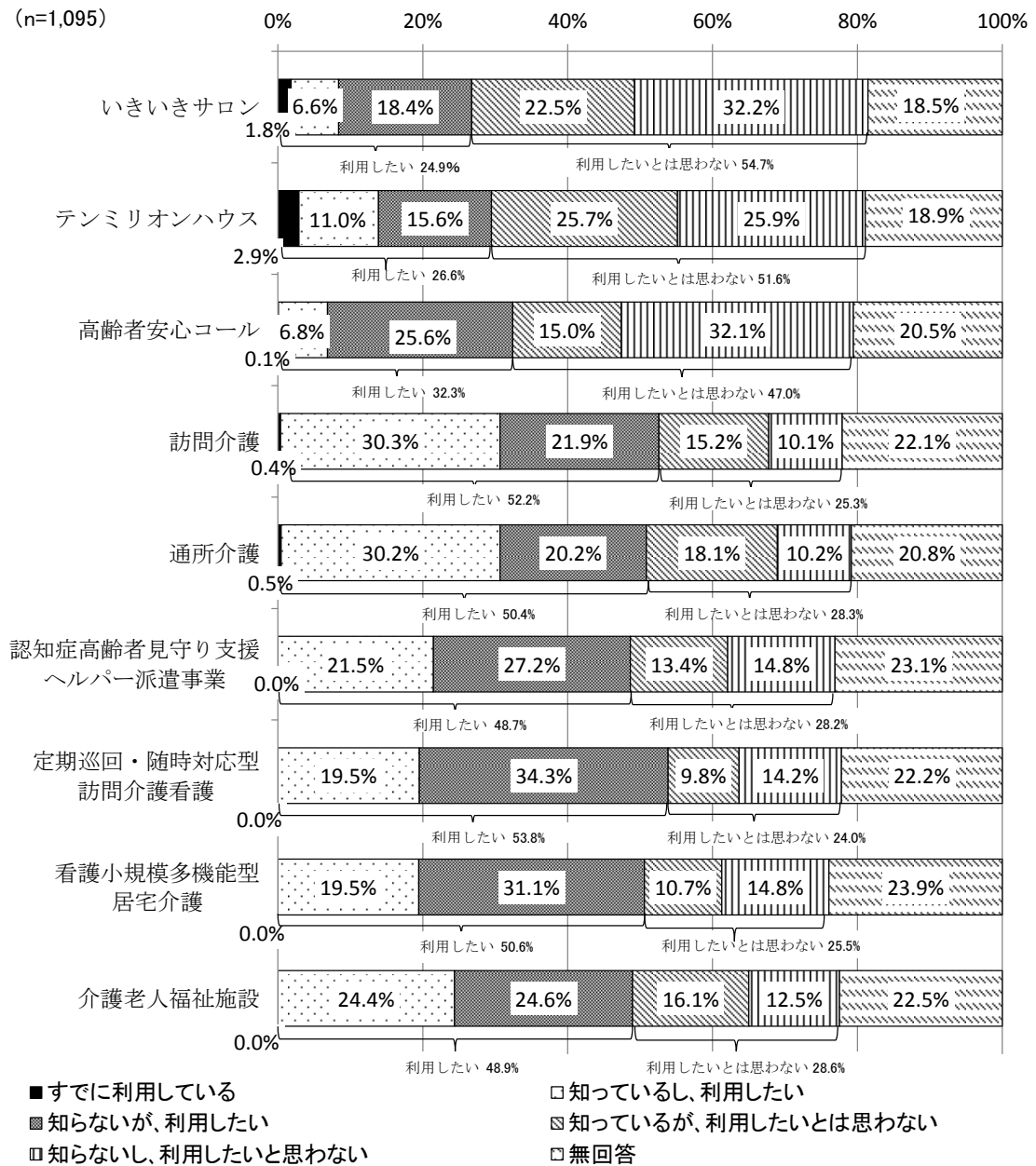
問 40 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(〇は1つ)



(注) 28年度調査では「その他」の選択肢は設けなかった。

介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が最も高く、70.3%となっている。「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」は14.8%である。

問 41 次のサービスについて知っていますか、また利用したいと思いますか。(○は1つ)



「知っているし、利用したい」と「知らないが、利用したい」の合計をみると、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が 53.8%、訪問介護が 52.2%、看護小規模多機能型居宅介護が 50.6%となっている。

問 42 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以下では、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業についての主なご意見・ご要望を記載した。

【問 42 (自由記述)】

＜高齢者福祉施策や介護保険事業に対する満足度＞

- ・高齢者になってみると、自分で食事を作ることと掃除をすることが仕事のようなもので、それが出来る間は努力したいと思う。そのためにもテンミリオンハウスの給食事業は、とてもありがたい事業だと思う。週5日でも歩いて行って顔見知りの人々で話し合い、笑い合って昼食が出来ることは幸せである。
- ・武蔵野市には50年以上住んでいるが、福祉施策等が充実しており、医院・病院も多く、高齢者には安心して住みやすい所と思うので、今後も住み続けたいと思う。
- ・いきいきセミナーを始めとして高齢者センターでの各種の講座など、高齢者が参加しやすいものが多数用意されていてとても良いと思った。地域に軸足を移して2年目であるが、たくさんの方々に出会い今の生活を十分に楽しむことが出来ている。今後ともより良いプランが企画、実践されることを願っている。

＜今後の暮らしについての不安＞

- ・何とかひとり暮らし可能で元気にしているが、病気や怪我で寝込んだ時の不安は大きく、常に考え込んでいる。体操や趣味など努力して外出し、食事も気を付け、忙しい毎日に感謝であるが、これが崩れる前段階で理解しておきたい事、制度、手続きなどを広報してほしい。
- ・まだ元気に働いているので高齢者という自覚がないが、この先具合が悪くなった時のことを考えると、やはりひとり暮らしでも安心して生活出来るようなシステムづくりをお願いしたい。
- ・現在80才でひとり暮らしを続けているが、先々の事が心配。高齢者安心コール、民生委員の電話番号など身近に連絡できるようにしているが、利用するとどのようにしてくれるのか経験がないのではっきりしない。電話番号だけでなく、どのようなサービスが受けられるか知りたい。
- ・今は自分でいろいろ出来るが、一人暮らしなのでこれからが心配。
- ・現在のところ不自由なく暮らしているが、認知症の症状が出たらと不安になることがある。市の高齢者福祉施策や介護保険事業についてもっと広く知らせてくれるとありがたいと思う。

＜高齢者の健康づくり支援の充実＞

- ・無料で高齢者が利用できる運動施設を作してほしい。シニアが年々増えているのだから対策を考えてほしい。
- ・武蔵野市は高齢者に良くしてくれていると思う。特に老人のための体操教室など有難いと思っているが、出来れば希望者を出来るだけ多く受け入れてほしい。体操系を増やしてほしい。
- ・高齢者向けの事業が多いことに驚いた。現在は不要だが、将来は是非利用したい。いきいきサロン事業のサロン数を増し、吉祥寺、東町2丁目にもほしい。
- ・境二丁目に住んでいるが、近くにいきいきサロンがない。近所の人たちと集まって話し合いなどする事がない。是非いきいきサロンを設けてほしい。

<施設サービスの充実>

- ・特別養護老人ホームが少ないと思う。金銭的に余裕のない人が安心して老後を迎えるための施設をもっと増やしてほしい。
- ・特別養護老人ホームが必要になった時、すぐに入れるようになるとうい。
- ・判断力がなくなるような高齢になったら安心して入れる介護施設を作してほしい。子供には頼れないし、余裕がない。

<これからのサービス水準と保険料の関係>

- ・年金収入で生活しているのに、健康、介護保険料が年々年をとるごとに高くなっているのが心配である。
- ・今後年金等収入が減って、介護保険料の支払い負担が生活費を圧迫するのではと心配している。
- ・介護保険料が高い。払えない人もいるのではないか。
- ・サービスがより充実して、みんなが経済的にも無理なく受けられるようになることが望ましい。しかし、高齢化が急速に進み、介護保険サービスの利用者が倍増していく現状では、サービス内容の見直しもやむを得ず、過度な保険料負担にならないようにすることは大事である。サービス内容を見直してもサービス内容の水準が出来得る限り、下がらないようにと願う。
- ・サービス水準は高いほど良いと思いますが、過度な保険料負担が心配。
- ・市民のためのより良いサービス提供を望む。金額的な負担は多少はやむを得ないと思う。
- ・介護保険料を値上げするなら、例えば85才以上で介護の恩恵を受けていない人に保険料を割引する制度を設けるべきだと思う。

<その他>

- ・このアンケートの内容を見て、自分も介護関連のいろいろなことを真剣に考えなければならぬ年齢になったと、あらためて痛感した。今後はもう少し、これらの内容を熟知できるよう、努力していこうと思った。
- ・今まで、比較的健康であったため無関心に近かった。最近少々年代と共に身近に感じて来たので勉強したいと思う。

第2章 要介護高齢者・家族等介護者実態調査 (在宅介護実態調査)

第1節 調査結果（概要版）

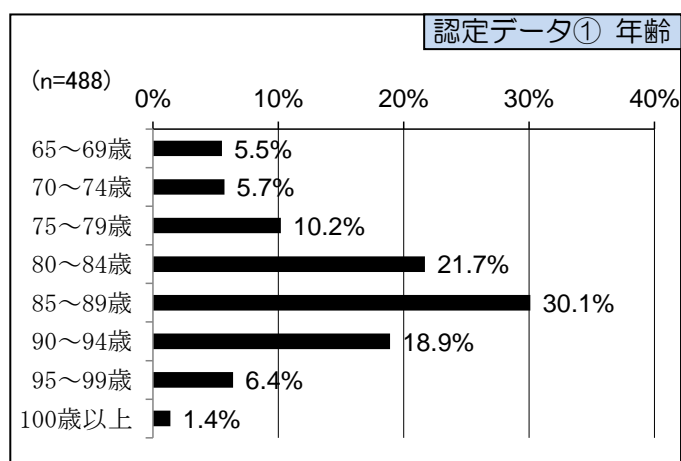
1 調査の実施概要

- ◇ 調査目的： 「武蔵野市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定（平成29年度）するにあたりその基礎資料を得るため、「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方等を検討することを目的とする。
- ◇ 調査対象者： 要介護1～要介護5の在宅の方で「要介護認定の更新申請・変更申請」をし、本調査の調査期間内に要介護認定調査を受けた方。
ただし、認定結果が、「非該当」、「要支援1」および「要支援2」であった調査対象者については、集計から除外している。
- ◇ 調査期間： ・平成28年6月1日～平成28年6月30日
・平成28年11月1日～平成29年1月31日
- ◇ 調査方法： 対象者の方が要介護認定の訪問調査を受ける際に、認定調査員が、主として認定調査の概況調査の内容を質問しながら、本調査の調査票に関連内容を転記する方法で調査を行った。回答票はマークシート方式とし、主な介護者が認定調査に同席している場合は、主な介護者からも聞き取りを行った。
また、調査時に、本人の同意書を提出してもらい、認定調査データと関連付けた分析を行った。
- ◇ 回収状況： 有効回答数：488件

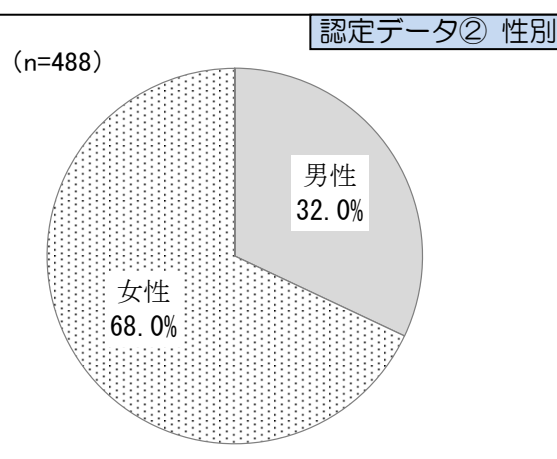
2 調査結果の概要

(1) 調査対象要介護高齢者の属性

《図21 年齢》（単数回答）

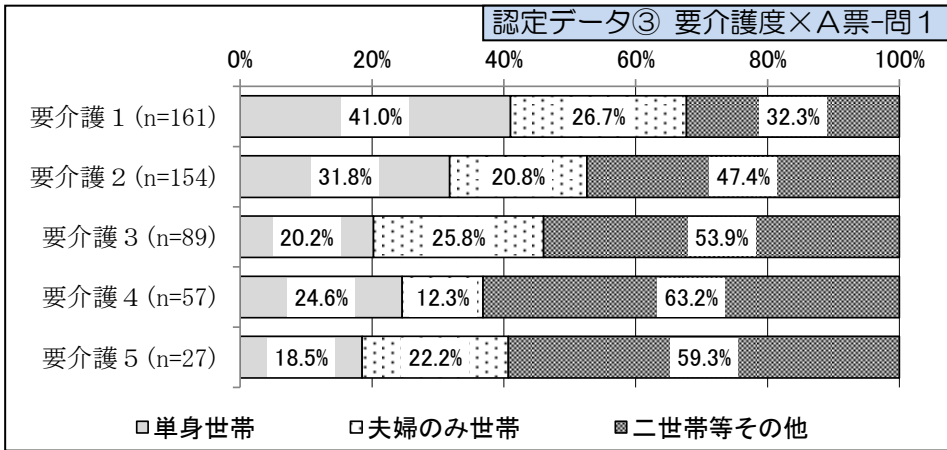


《図22 性別》（単数回答）



- ・在宅で生活されている方で要介護者のうち、26.7%が「90歳以上」である。
- ・年齢は「85～89歳」が30.1%、「80～84歳」が21.7%、「90～94歳」が18.9%である。
- ・性別は「男性」が32.0%、「女性」が68.0%である。

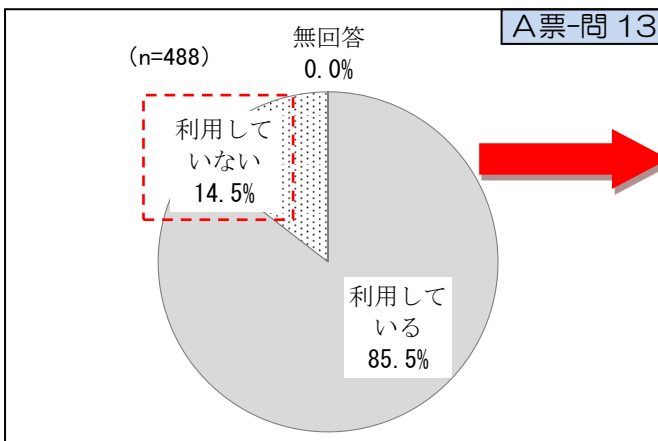
《図 23 要介護度別・世帯類型》（単数回答）



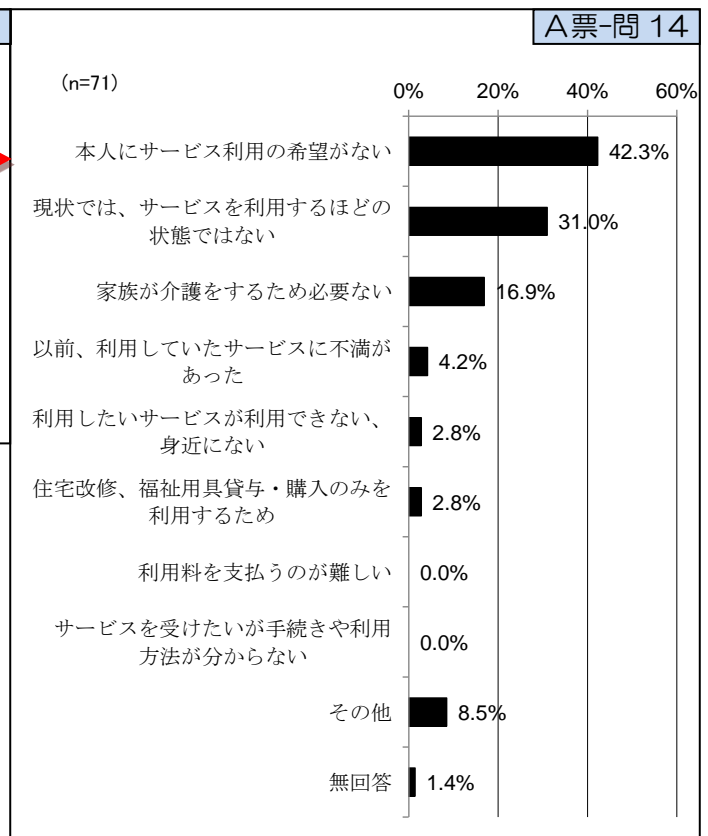
・要介護度別の世帯類型は、全体としては、要介護度の重度化に伴い「単身世帯」の割合が減少し、「二世帯等その他」の割合が増加する傾向がみられる。

(2) 支援・サービスの利用状況・利用意向

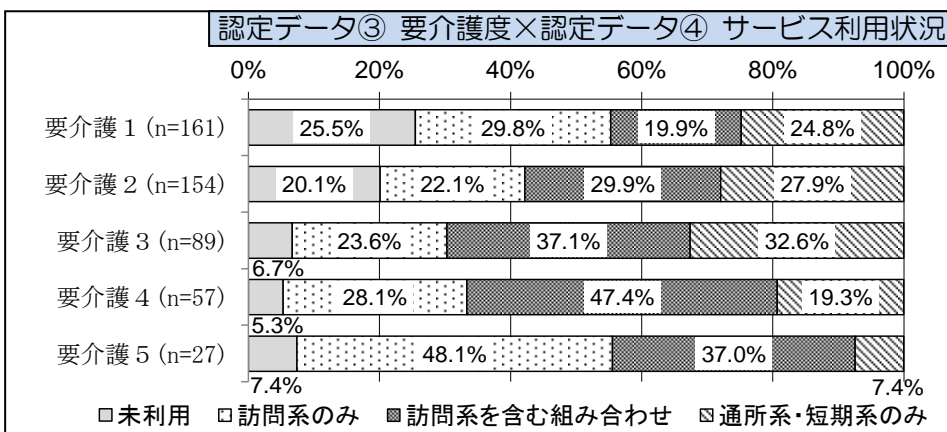
《図 24 介護保険サービス利用の有無》（単数回答） 《図 25 未利用の理由》（複数回答）



- ・介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入除く）の利用状況は、「利用している」が 85.5%、「利用していない」が 14.5%である。
- ・介護保険サービス未利用の理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が 42.3%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 31.0%、「家族が介護するため必要ない」が 16.9%である。

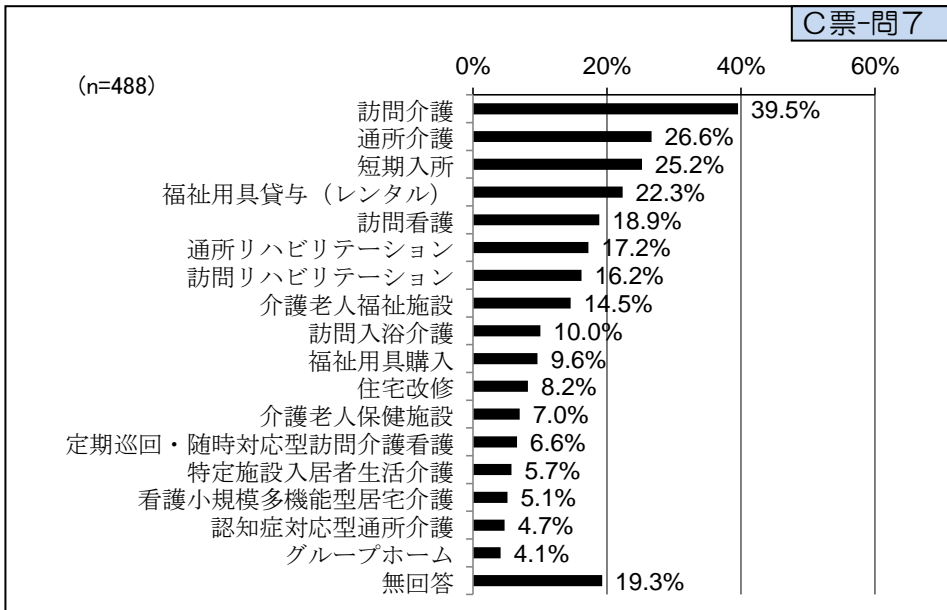


《図 26 要介護度別・サービス利用の組み合わせ》



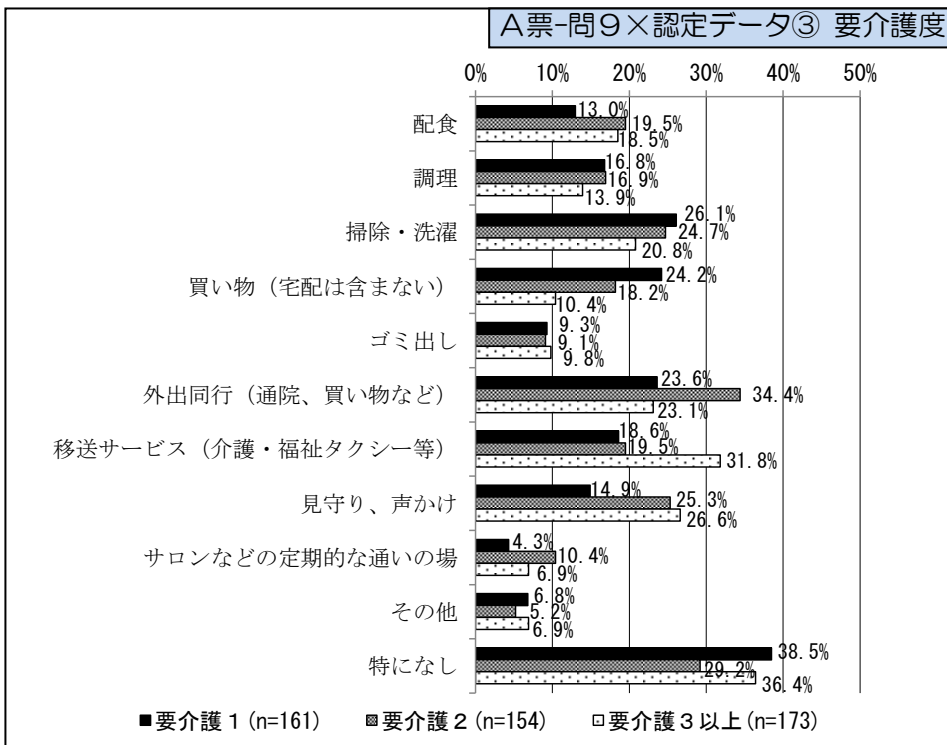
- ・「要介護 1～要介護 4」にかけては、要介護度の重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高まる傾向がみられる。
- ・「要介護 5」では、「訪問系のみ」が 48.1%と最も高い。

《図 27 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護保険サービス》（複数回答）



・ 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護保険サービスは、「訪問介護」が 39.5%、「通所介護」が 26.6%、「短期入所」が 25.2%である。

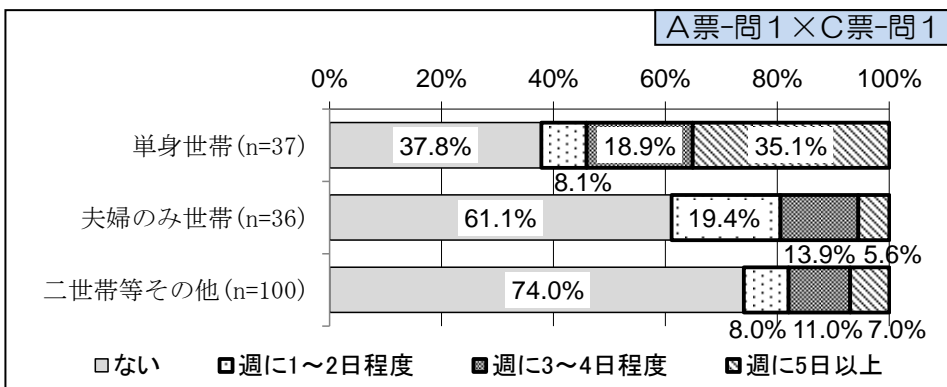
《図 28 要介護度別・今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス》（複数回答）



・ 要介護度別の今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスは、「要介護1」では「掃除・洗濯」が 26.1%、「要介護2」では「外出同行」が 34.4%、「要介護3以上」では「移送サービス」が 31.8%である。

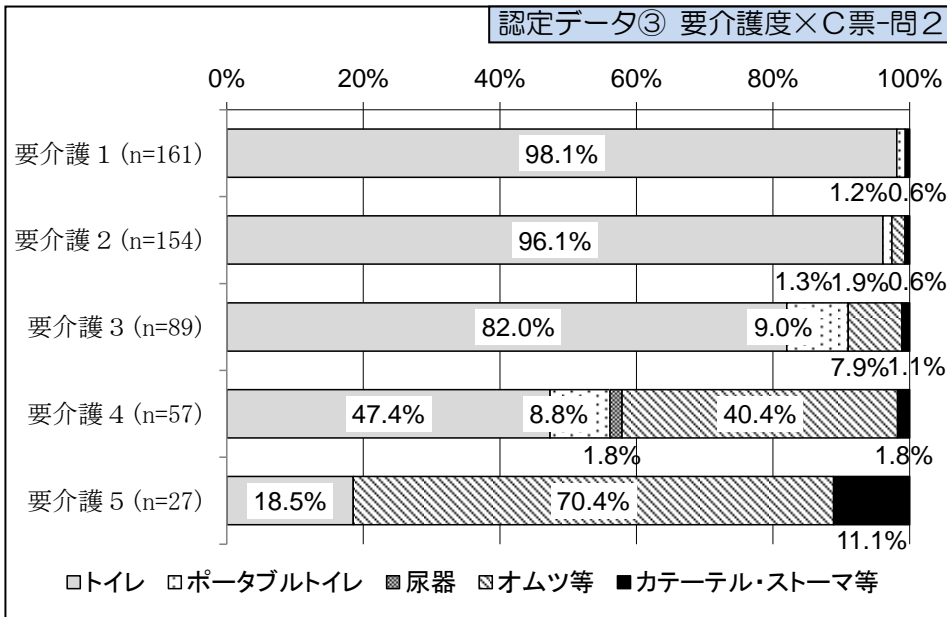
(3) 在宅生活の状況

《図 29 世帯類型別・日中独居の有無（要介護3以上）》（単数回答）



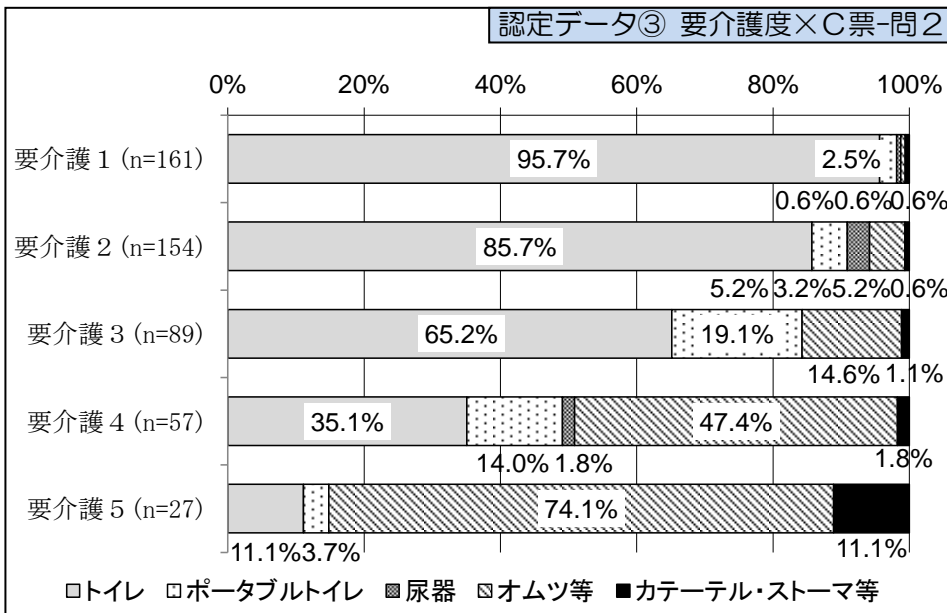
・ 要介護3以上の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が 62.1%、「夫婦のみ世帯」が 38.9%、「二世帯等その他」が 26.0%である。

《図 30 要介護度別・排泄の方法、場所（日中）》（単数回答）



・日中の排泄の方法・場所について、「オムツ等」の割合は、「要介護 1」が 0.0%、「要介護 2」が 1.9%、「要介護 3」が 7.9%、「要介護 4」が 40.4%、「要介護 5」が 70.4%であり、「カテーテル・ストーマ等」の割合が「要介護 5」では 11.1%となる。

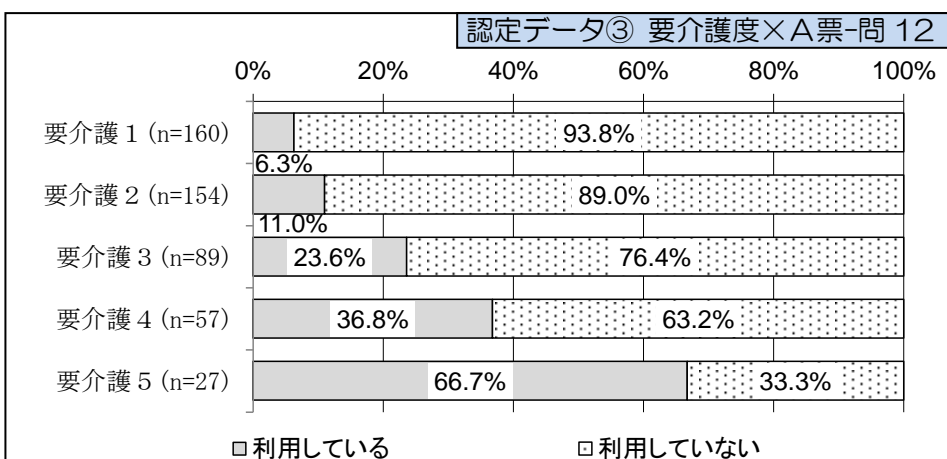
《図 31 要介護度別・排泄の方法、場所（夜間）》（単数回答）



・夜間の排泄の方法・場所について、「オムツ等」の割合は、「要介護 1」が 0.6%、「要介護 2」が 5.2%、「要介護 3」が 14.6%、「要介護 4」が 47.4%、「要介護 5」が 74.1%であり、「カテーテル・ストーマ等」の割合が「要介護 5」では 11.1%となる。

（４）訪問診療の利用状況

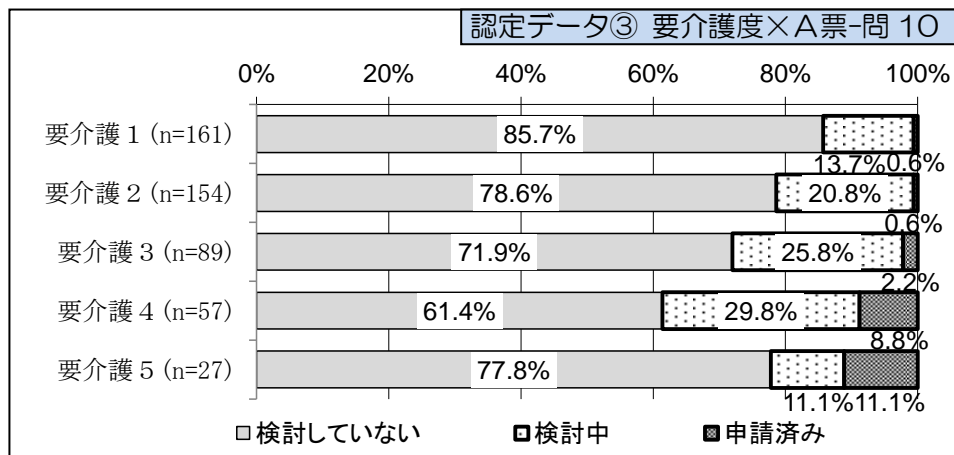
《図 32 要介護度別・訪問診療の利用の有無 ※無回答除く》（単数回答）



・要介護度別の訪問診療の利用の有無について、「利用している」の割合は、「要介護 1」が 6.3%、「要介護 2」が 11.0%、「要介護 3」が 23.6%、「要介護 4」が 36.8%、「要介護 5」が 66.7%である。

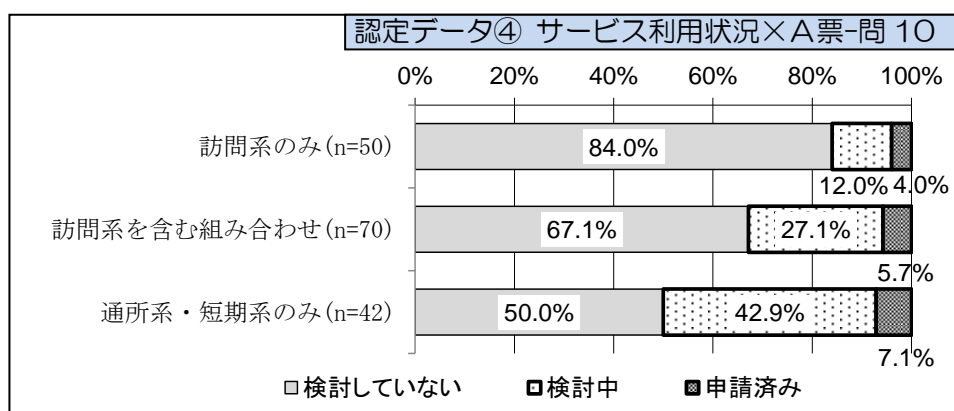
(5) 施設等への入所・入居の検討状況

《図 33 施設等検討の状況・要介護度別》(単数回答)



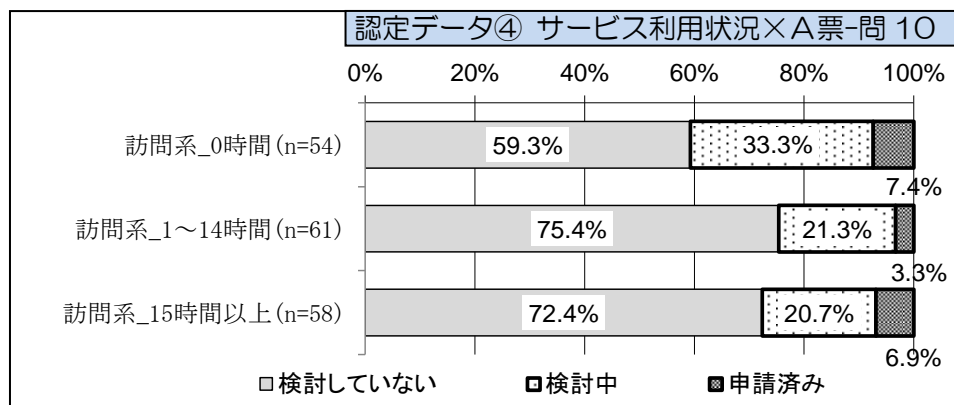
・施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計(グラフ内太線)は、「要介護 1」が 14.3%、「要介護 2」が 21.4%、「要介護 3」が 28.0%、「要介護 4」が 38.6%、「要介護 5」が 22.2%である。

《図 34 施設等検討の状況・サービス利用の組み合わせ別(要介護 3以上)》(単数回答)



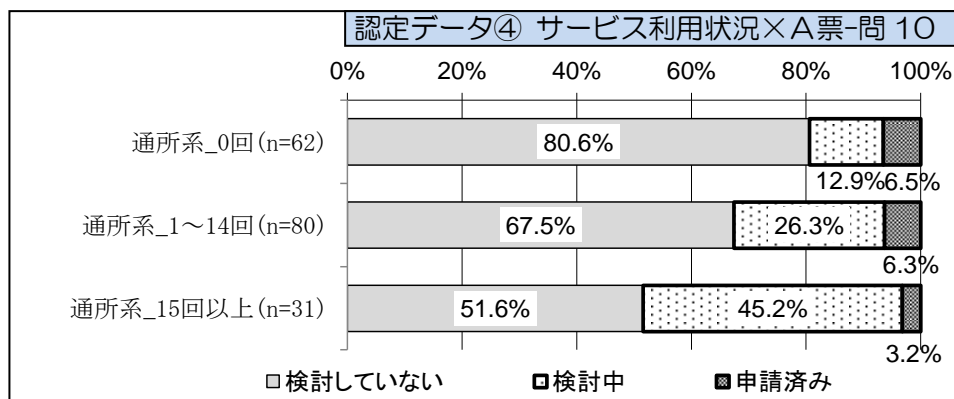
・要介護 3 以上について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計(グラフ内太線)は、「訪問系のみ」が 16.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が 32.8%、「通所系・短期系のみ」が 50.0%である。

《図 35 施設等検討の状況・訪問系サービスの利用時間別(要介護 3以上)》(単数回答)



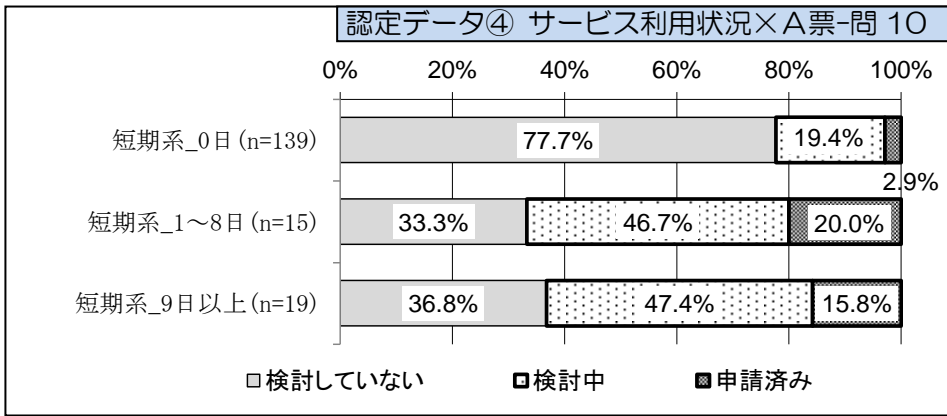
・要介護 3 以上について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計(グラフ内太線)は、「訪問系 0 時間」が 40.7%、「訪問系 1~14 時間」が 24.6%、「訪問系 15 時間以上」が 27.6%である。

《図 36 施設等検討の状況・通所系サービスの利用回数別(要介護 3以上)》(単数回答)



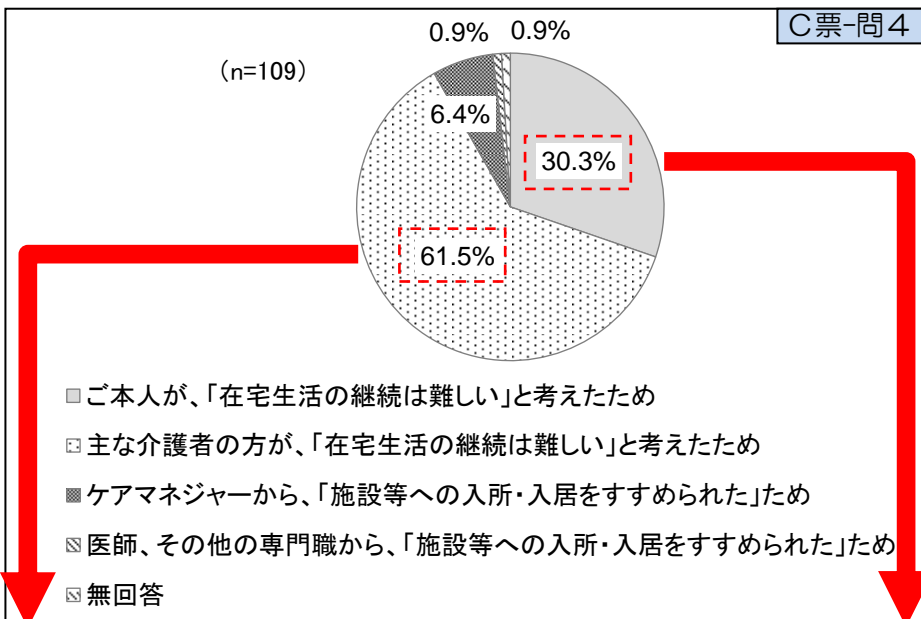
・要介護 3 以上について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計(グラフ内太線)は、「通所系 0 回」で 19.4%、「通所系 1~14 回」で 32.6%、「通所系 15 回以上」で 48.4%である。

《図 37 施設等検討の状況・短期系サービスの利用日数別（要介護3以上）》（単数回答）



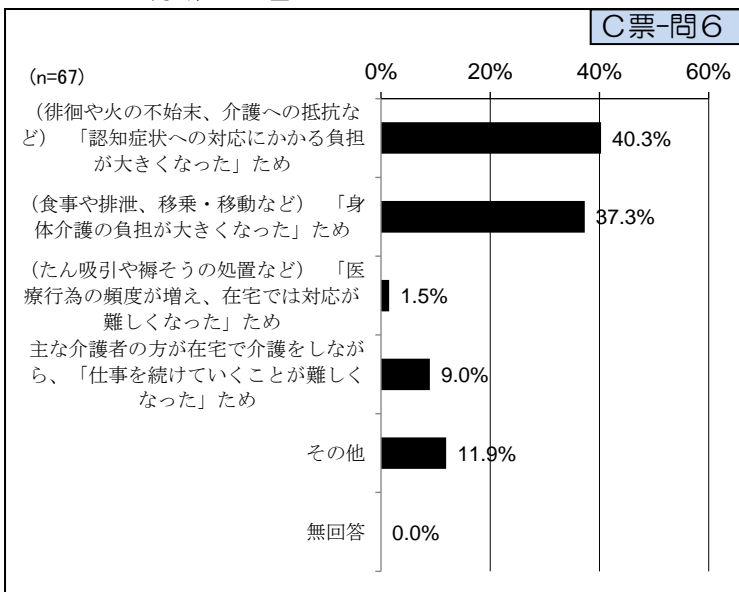
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で22.3%、「短期系1～8日」で66.7%、「短期系9日以上」で63.2%である。

《図 38 施設等への入所・入居を検討したきっかけ》（単数回答）

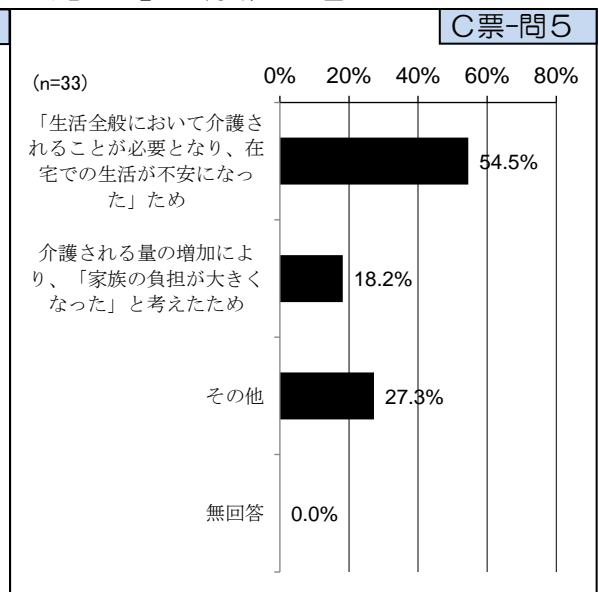


・施設等への入所・入居を「検討中」及び「申請済み」の方（109名）が、入所・入居を検討した一番大きなきっかけは、「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が61.5%、「ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が30.3%、「ケアマネジャーから、『施設等への入所・入居をすすめられた』ため」が6.4%である。

《図 39 主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由



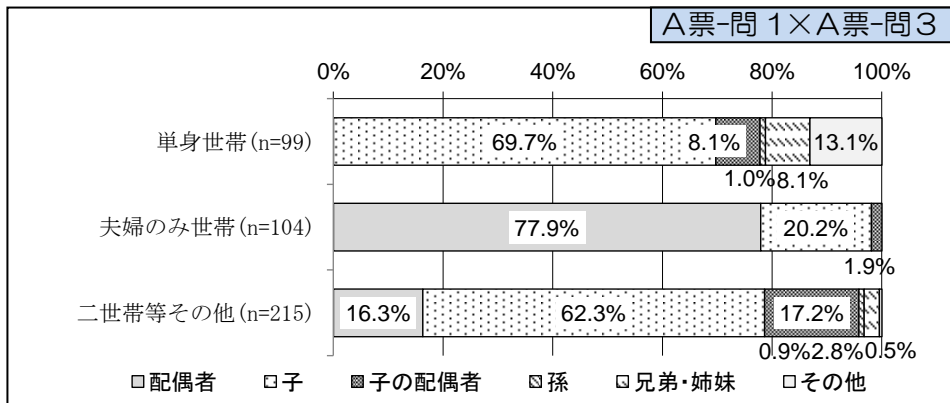
《図 40 本人が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由



- ・主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、「『認知症状への対応にかかる負担が大きくなった』ため」が40.3%と最も多い。
- ・本人が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、「『生活全般において介護されることとなり、在宅での生活が不安になった』ため」が54.5%と最も多い。

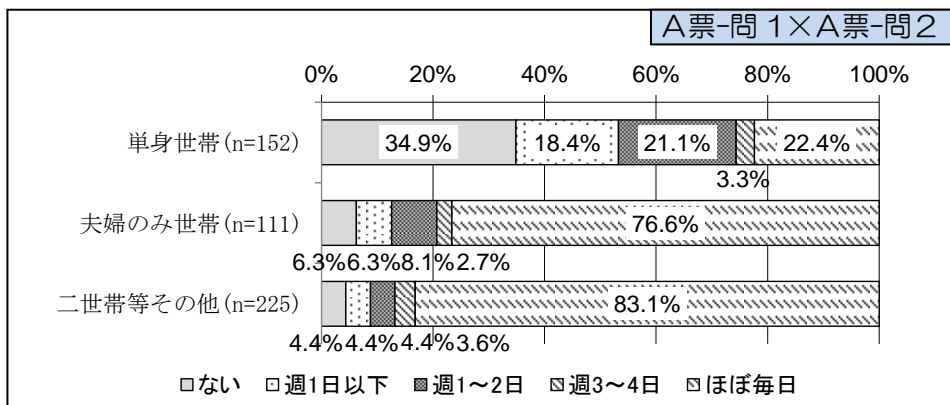
(6) 主な介護者の状況

《図 41 世帯類型別・要介護高齢者と主な介護者との関係》(単数回答)



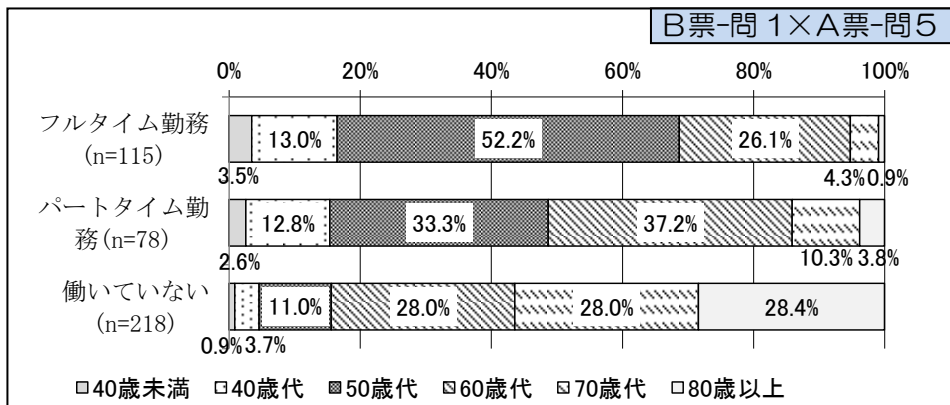
・本人と主な介護者の関係は、「単身世帯」は「子」が69.7%、「夫婦のみ世帯」は「配偶者」が77.9%、「二世帯等その他」は「子」が62.3%と最も多い。

《図 42 世帯類型別・家族等による介護の頻度》(単数回答)



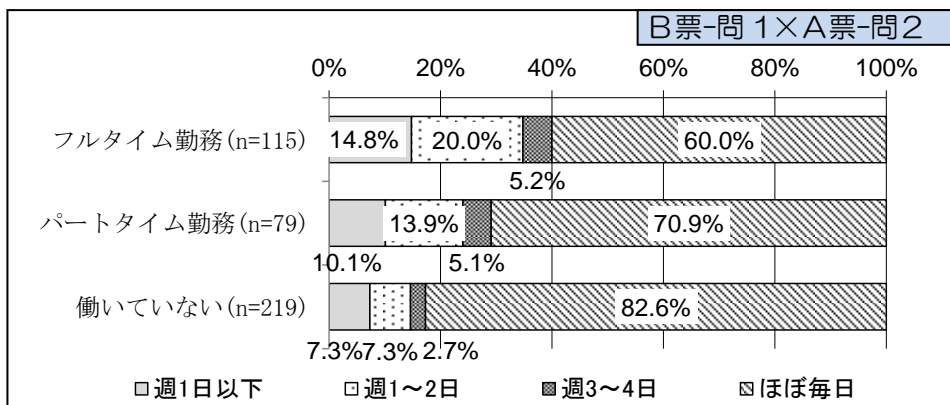
・家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「単身世帯」が22.4%、「夫婦のみ世帯」が76.6%、「二世帯等その他」が83.1%である。

《図 43 主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢 ※無回答除く》(単数回答)



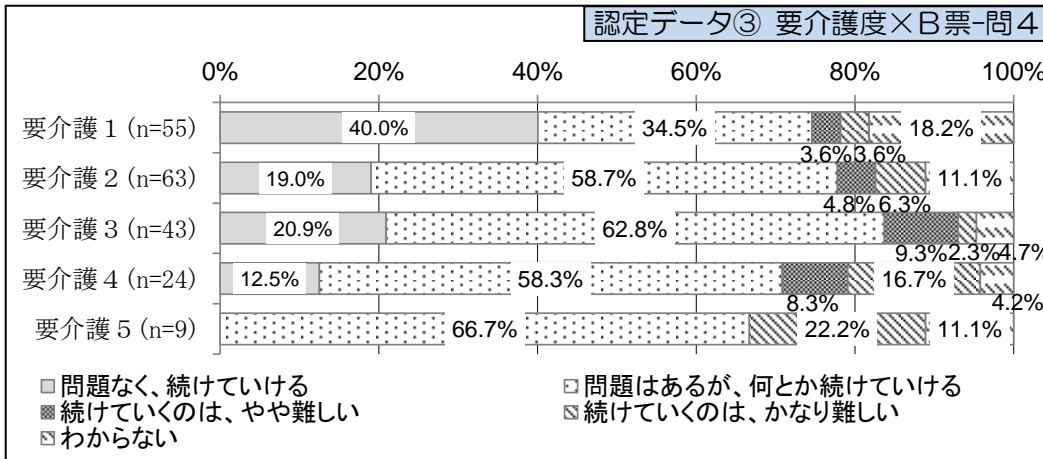
・主な介護者の就労状況別の年齢について、「フルタイム勤務」は「50歳代」が52.2%、「60歳代」が26.1%、「パートタイム勤務」は「50歳代」が33.3%、「60歳代」が37.2%である。

《図 44 主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度 ※無回答除く》(単数回答)



・主な介護者の就労状況別の家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「フルタイム勤務」が60.0%、「パートタイム勤務」が70.9%、「働いていない」が82.6%である。

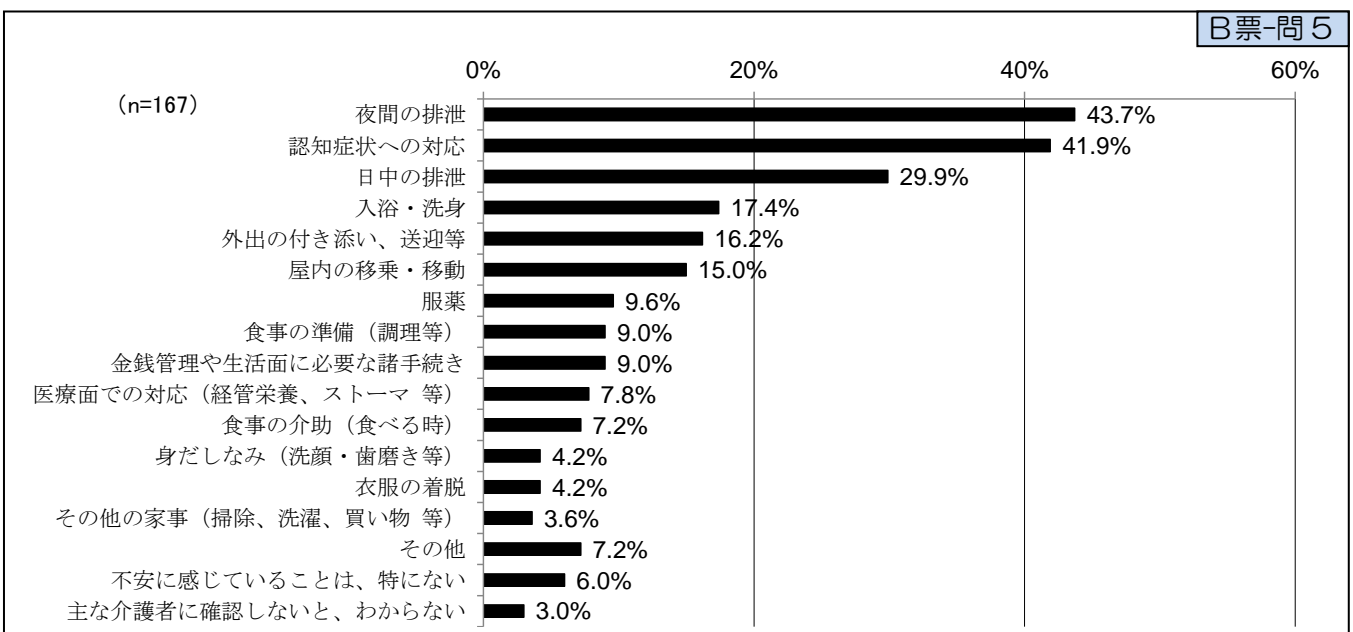
《図 45 要介護度別・就労継続の見込み（フルタイム+パートタイム勤務） ※無回答除く》（単数回答）



・要介護度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」の割合は、「要介護3」が2.3%、「要介護4」が16.7%、「要介護5」が22.2%である。

(7) 在宅生活の継続に向けて主な介護者が不安に感じる介護

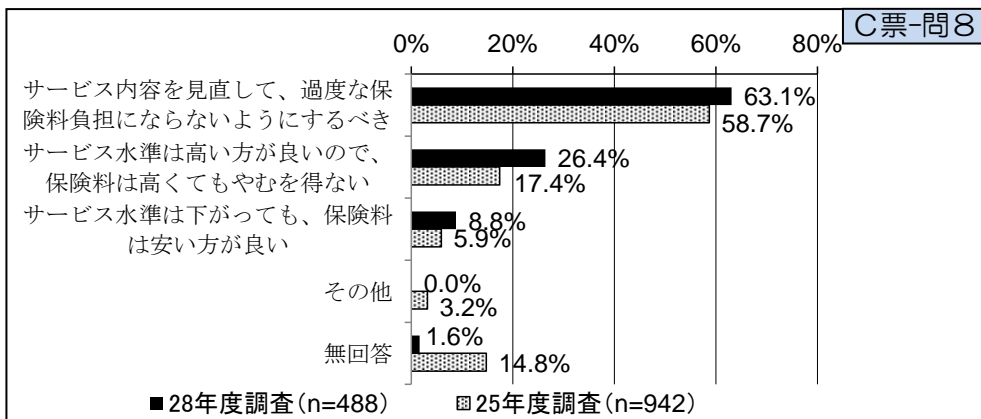
《図 46 主な介護者が不安に感じる介護（要介護3以上）》（3つまで）



・要介護3以上について、主な介護者が不安に感じる介護等を見ると、「夜間の排泄」が43.7%、「認知症状への対応」が41.9%、「日中の排泄」が29.9%である。

(8) サービス水準と保険料の関係に係る希望

《図 47 サービス水準と保険料の関係に係る希望》（単数回答）



・介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が63.1%、「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむを得ない」が26.4%である。

(注) 25年度調査では「要支援認定者」が含まれている。

(注) 28年度調査では「その他」の選択肢は設けなかった。

担当課：健康福祉部 高齢者支援課

第2節 調査・分析手法の概要

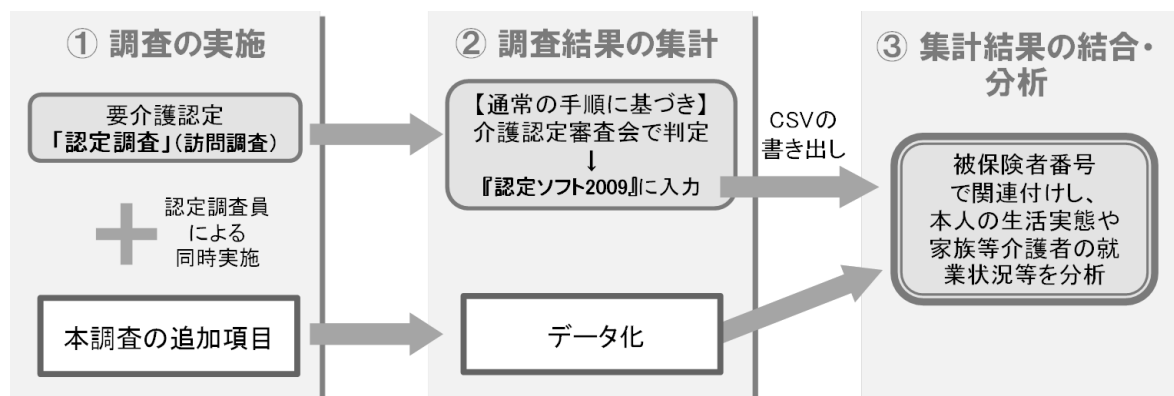
対象者の方が要介護認定の訪問調査を受ける際に、認定調査員が、主として認定調査の概況調査の内容を質問しながら、本調査の調査票に関連内容を転記する方法で調査を行った。回答票はマークシート方式とし、主な介護者が認定調査に同席している場合は、主な介護者からも聞き取りを行った。

また、調査時に、本人の同意書を提出してもらい、認定調査データと関連付けた分析を行った。

<調査の方法・手順>

STEP 1	・認定調査の訪問時に、本調査を同時に実施し、回答票（紙ベースのマークシート）に記入する。
STEP 2	・回答票をデータ化する。
STEP 3	・認定調査終了後は、通常の認定事務のプロセスで処理を行い審査会の二次判定を経て、認定結果を認定ソフト 2009 から CSV ファイルで出力する。
STEP 4	・アンケート調査の結果と認定結果を「被保険者番号」で関連付けて、両データを合わせた詳細な分析を行う。

<調査の実施から分析までのフロー>



【用語の定義】

本集計・分析では、介護保険サービスの利用時間・回数・日数、および利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計している。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれる。

それぞれ、用語の定義は以下の通りである。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

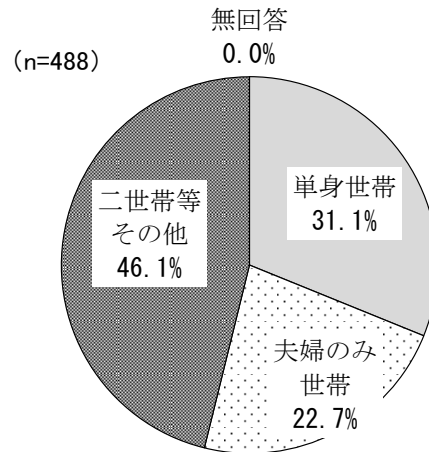
<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

第3節 調査結果（本編）

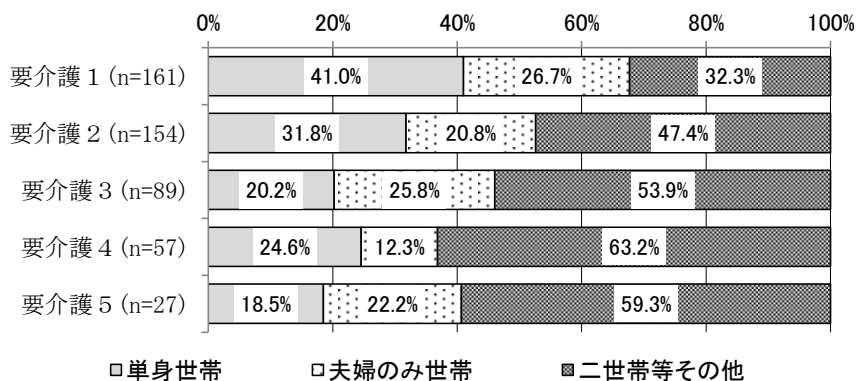
1. 本人の属性

A票-問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）。



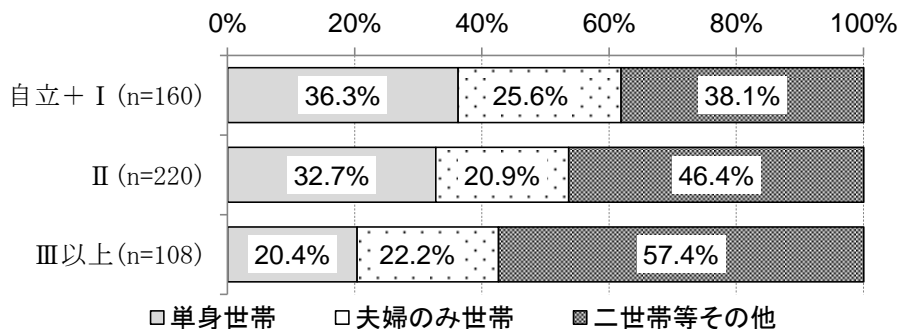
世帯類型は「二世帯等その他」が46.1%、「単身世帯」が31.1%である。

<要介護度別・世帯類型>



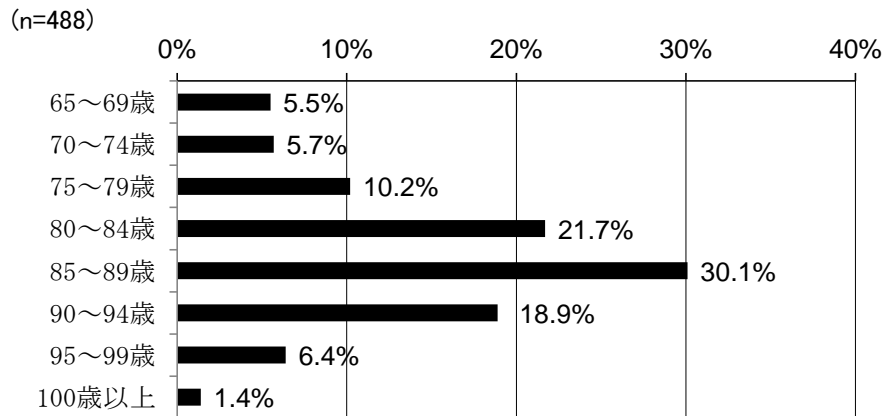
要介護度別の世帯類型は、全体としては、要介護度の重度化に伴い「単身世帯」の割合が減少し、「二世帯等その他」の割合が増加する傾向がみられる。

<認知症自立度別・世帯類型>



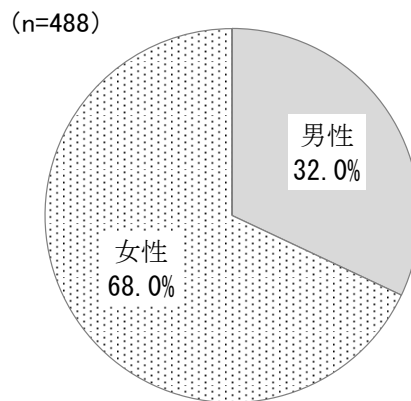
認知症自立度別の世帯類型は、認知症の重度化に伴い「単身世帯」の割合が減少し、「二世帯等その他」の割合が増加する傾向がみられる。

認定-① 年齢



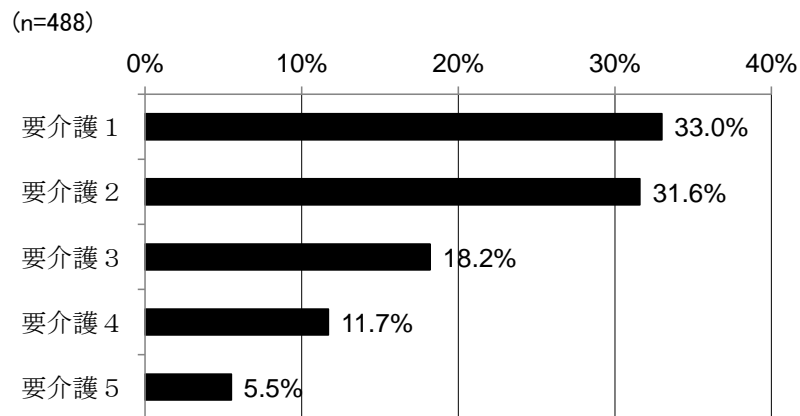
在宅で生活されている方で要介護者のうち、26.7%が「90歳以上」である。
年齢は「85～89歳」が30.1%、「80～84歳」が21.7%、「90～94歳」が18.9%である。

認定-② 性別



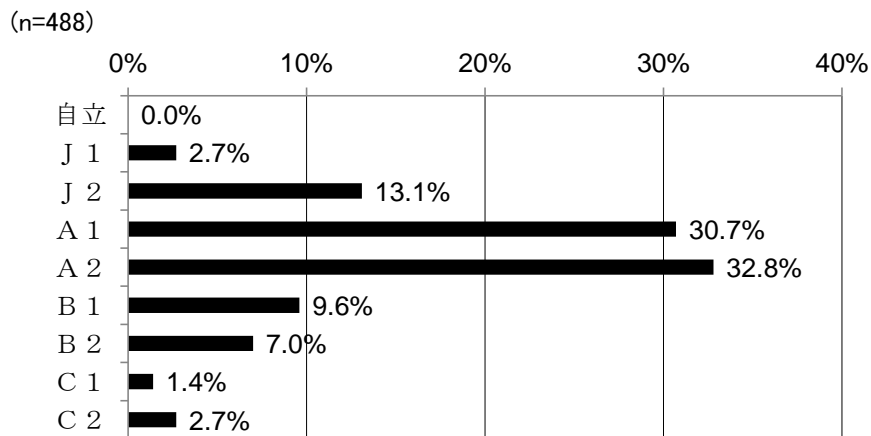
性別は「男性」が32.0%、「女性」が68.0%である。

認定-③ 二次判定結果



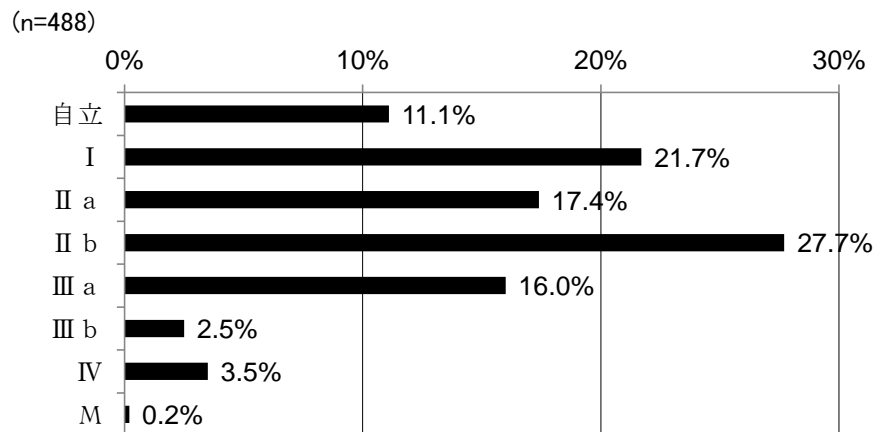
二次判定結果は、「要介護1」が33.0%と最も多く、次いで「要介護2」が31.6%となっている。

認定-④ 障害高齢者の日常生活自立度



障害高齢者の日常生活自立度は、「A 2」が 32.8%と最も多く、次いで「A 1」が 30.7%となっている。

認定-⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度

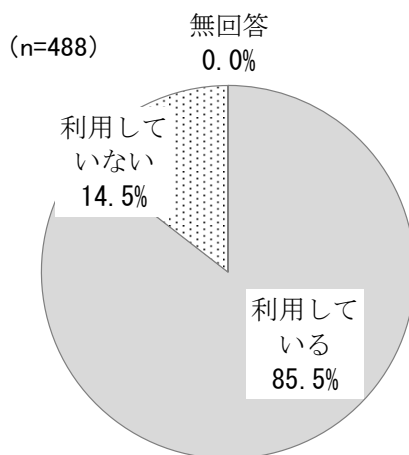


認知症高齢者の日常生活自立度は、「II b」が 27.7%と最も多く、次いで「I」が 21.7%となっている。

2. 支援・サービスの利用状況・利用意向

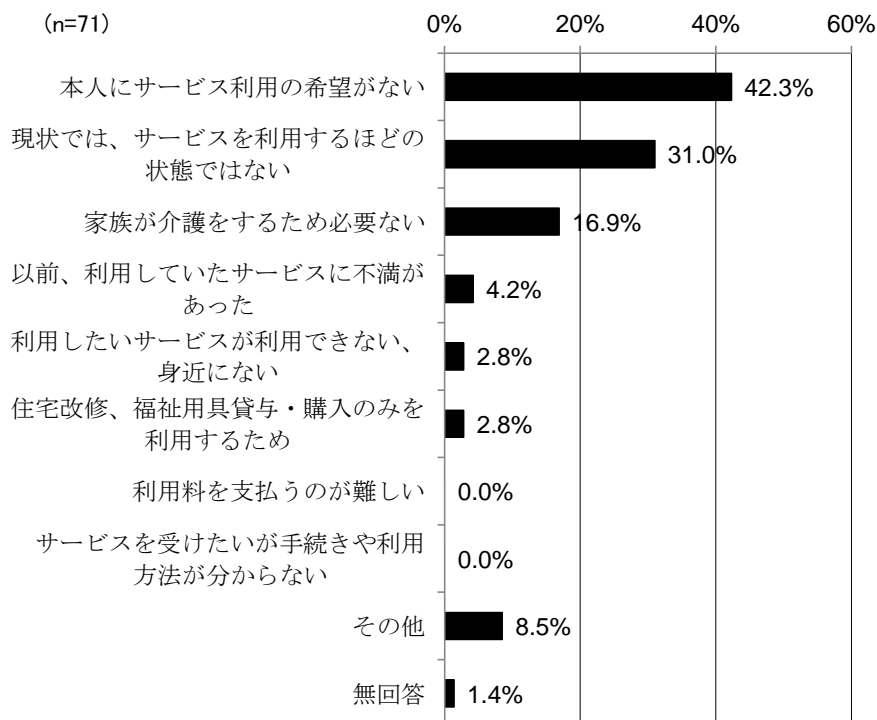
(1) 介護保険サービス

A票-問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。(1つを選択)。



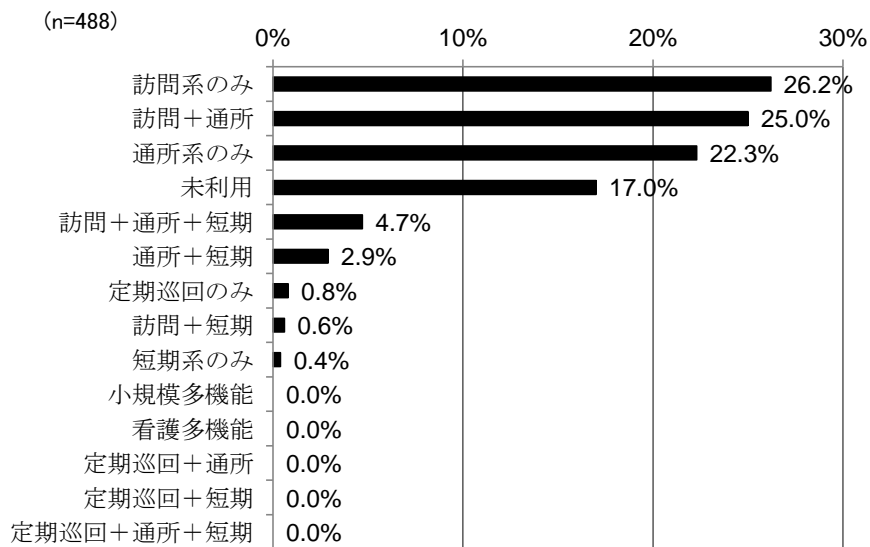
介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)の利用状況は、「利用している」が85.5%、「利用していない」が14.5%である。

A票-問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)。



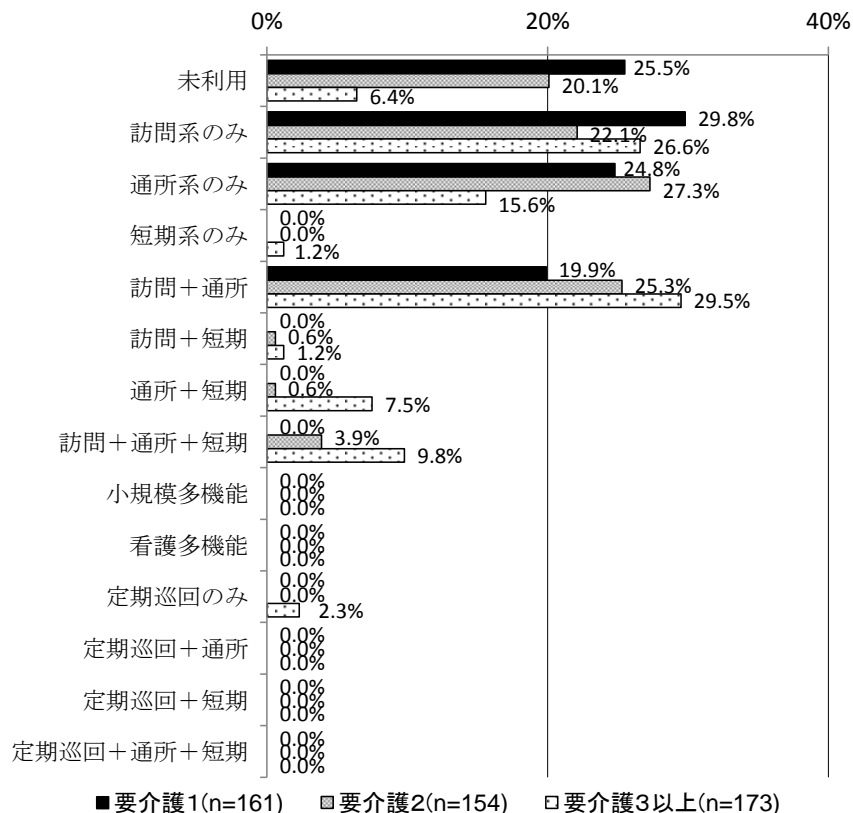
介護保険サービス未利用の理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が42.3%と最も多く、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が31.0%となっている。

認定-④ サービス利用の組み合わせ



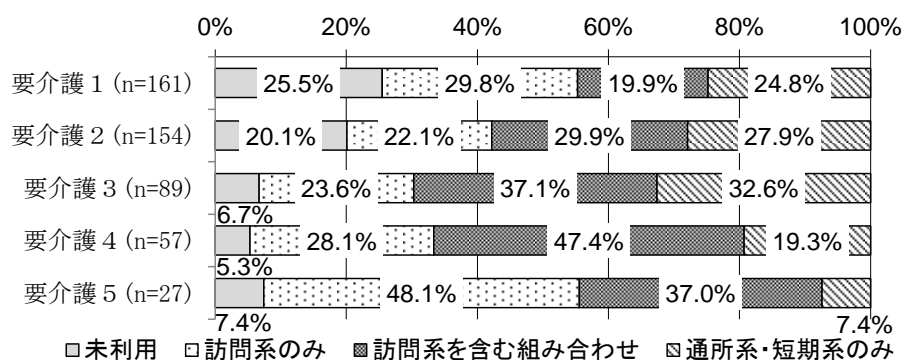
サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」が 26.2%と最も多く、次いで「訪問+通所」が 25.0%、「通所系のみ」が 22.3%となっている。

<要介護度別・サービス利用の組み合わせ>



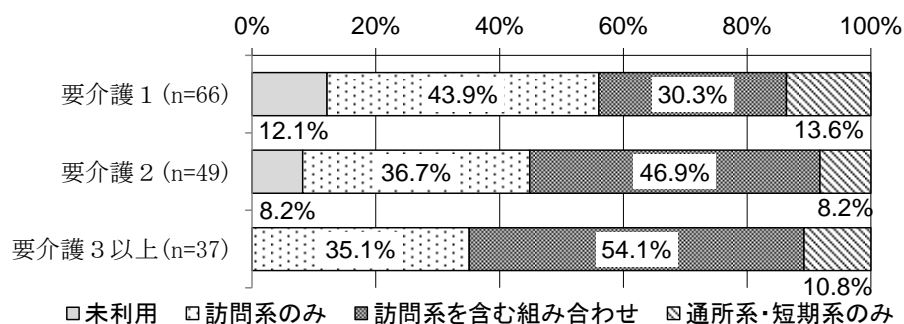
要介護度別のサービス利用の組み合わせは、「要介護1」・「要介護2」と「要介護3以上」を比較すると、「要介護3以上」では、「訪問+通所」、「通所+短期」、「訪問+通所+短期」などの割合が増加し、「通所系のみ」の割合が減少する傾向がみられる。

< 要介護度別・サービス利用の組み合わせ >

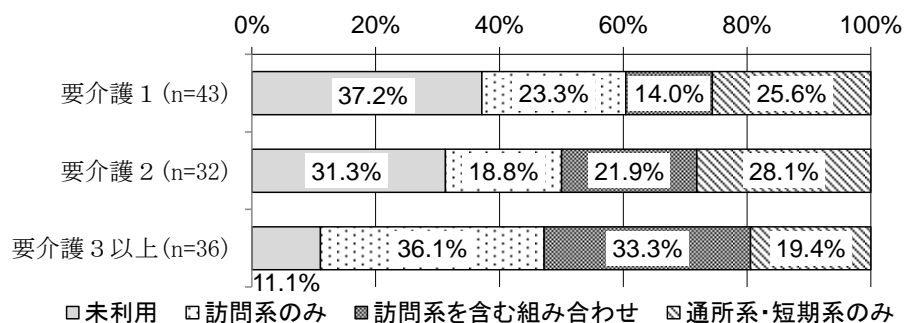


「要介護 1～要介護 4」にかけては、要介護度の重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高まる傾向がみられた。一方、要介護 5 では、「訪問系のみ」が 48.1% と最も多い。

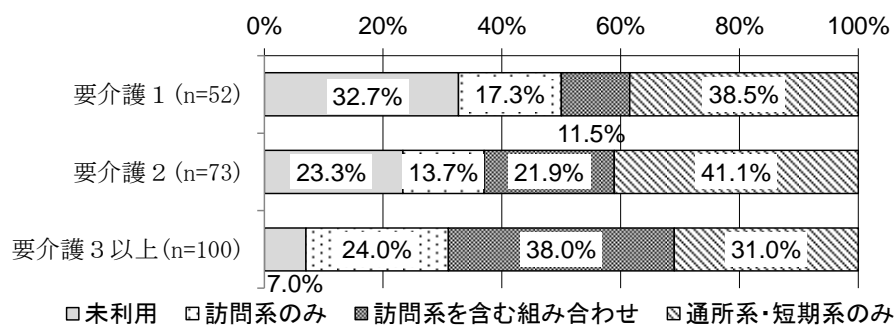
< 要介護度別・サービス利用の組み合わせ (単身世帯) >



< 要介護度別・サービス利用の組み合わせ (夫婦のみ世帯) >



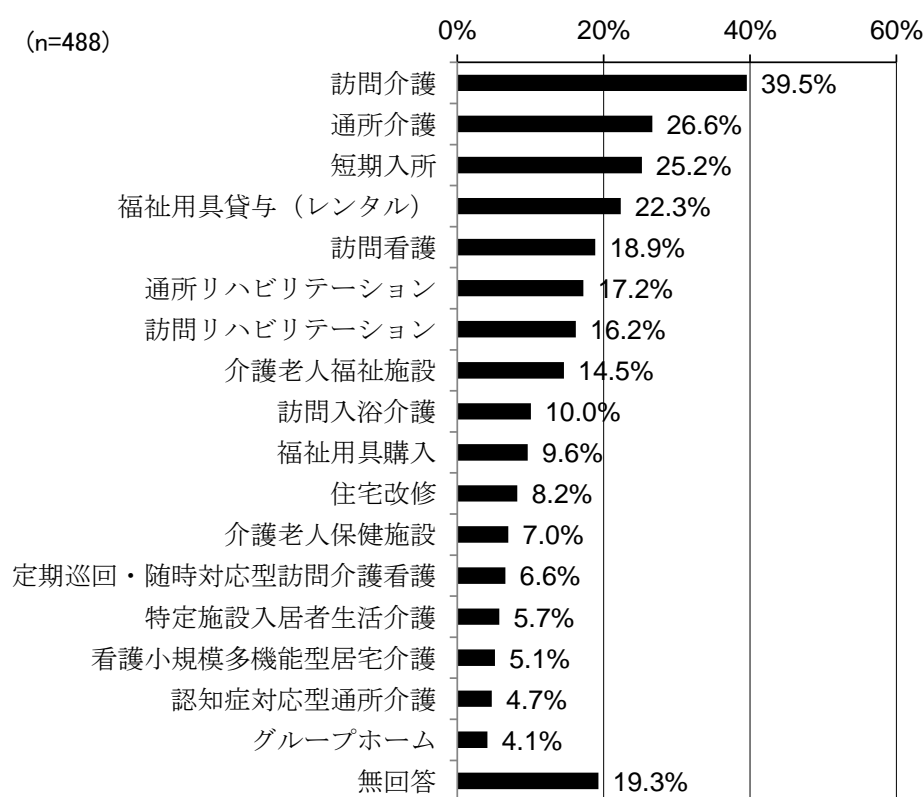
< 要介護度別・サービス利用の組み合わせ (二世帯等その他) >



世帯類型別に、要介護度別のサービス利用の組み合わせをみると、いずれの世帯類型においても要介護度の重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」利用の割合が高まる傾向がみられる。

なお、特に「二世帯等その他」においては、「要介護3以上」においても「通所系・短期系のみ」が31.0%と比較的高い割合でとなっている。

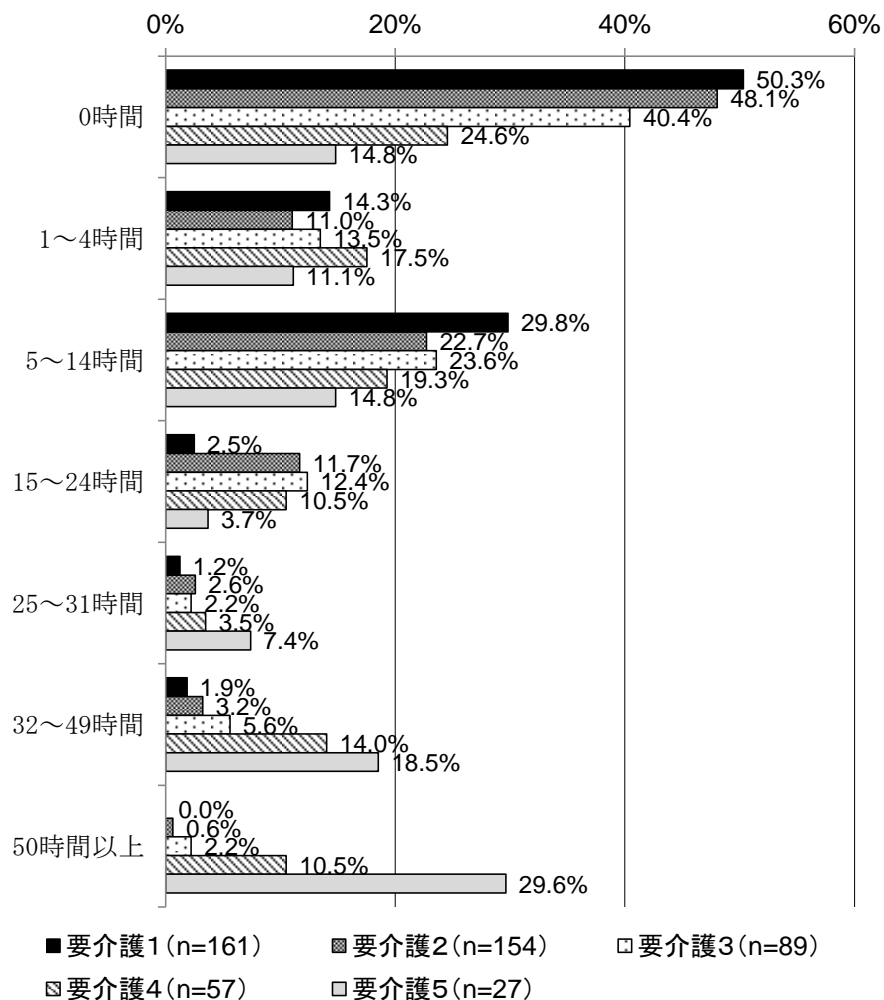
C票-問7 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護保険サービスはどれですか。(複数選択可)。



今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護保険サービスは、「訪問介護」が39.5%と最も多く、次いで「通所介護」が26.6%、「短期入所」が25.2%となっている。

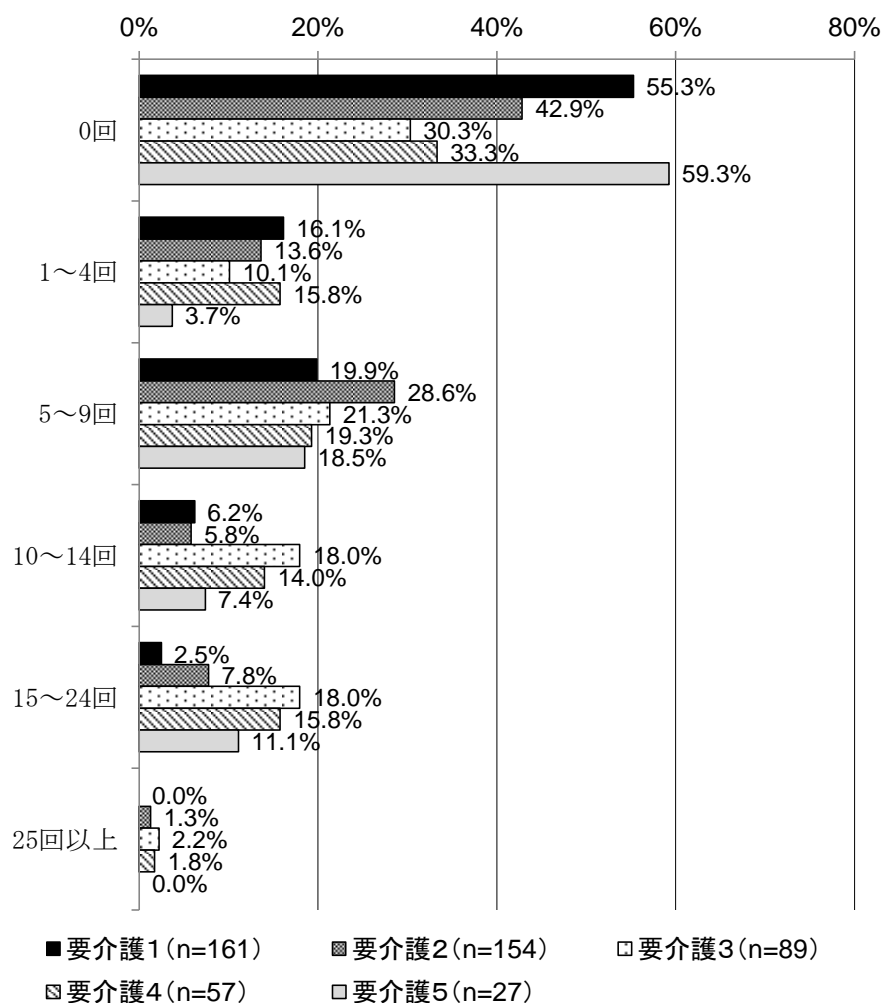
認定-⑤ サービスの利用時間

< 要介護度別・訪問系サービス利用時間 >



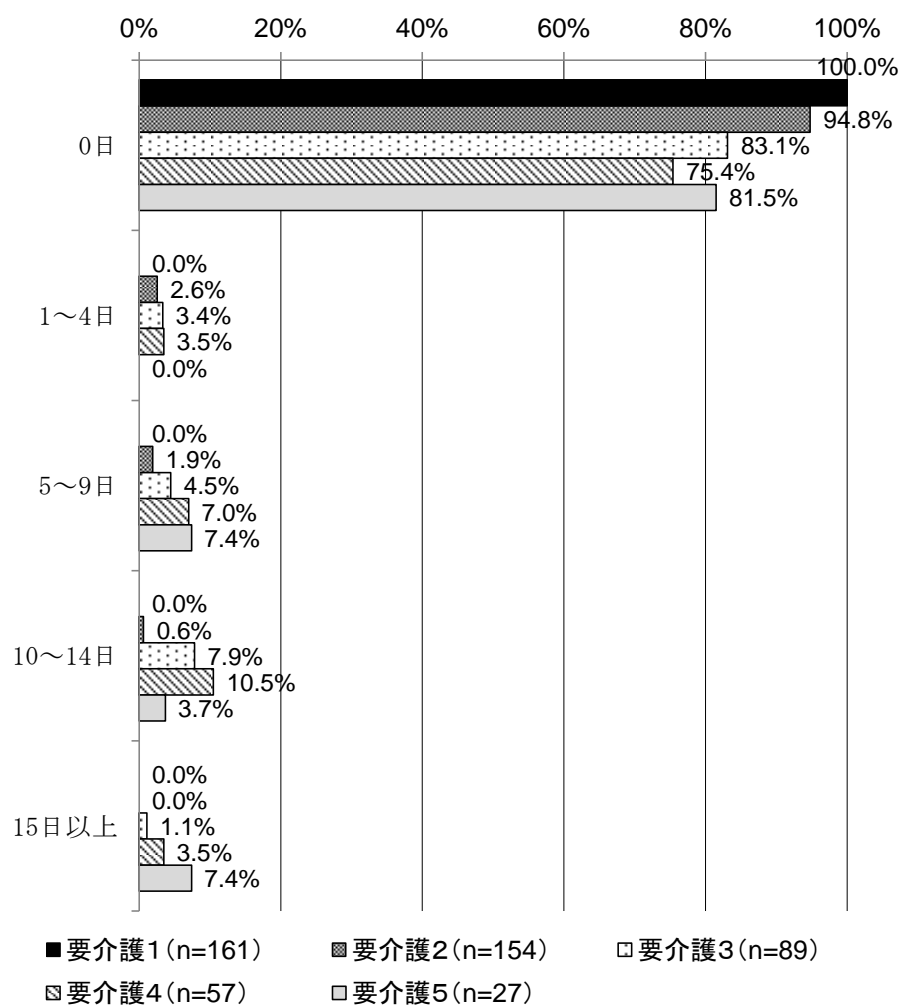
訪問系サービスの利用時間は、0 時間を除くと、「要介護 1～要介護 4」は「5～14 時間」が最も多く、「要介護 5」は「50 時間以上」が 29.6%と最も多い。

<要介護度別・通所系サービス利用回数>



通所系サービスの利用回数は、0回を除くと、全ての要介護度で「5~9回」が最も多い。

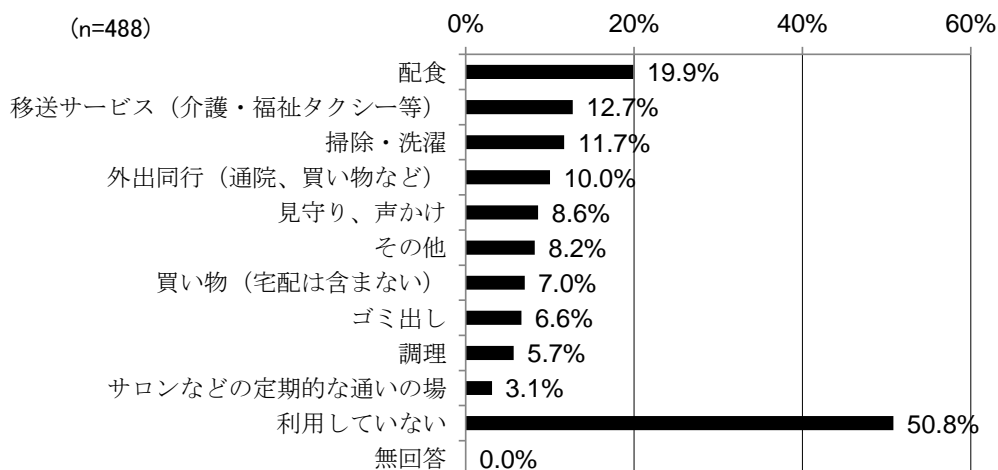
<要介護度別・短期系サービス利用日数>



短期系サービスの利用日数は、「要介護4」では「10~14日」が10.5%と最も多く、「要介護5」では「5~9日」と「15日以上」が7.4%と最も多い。

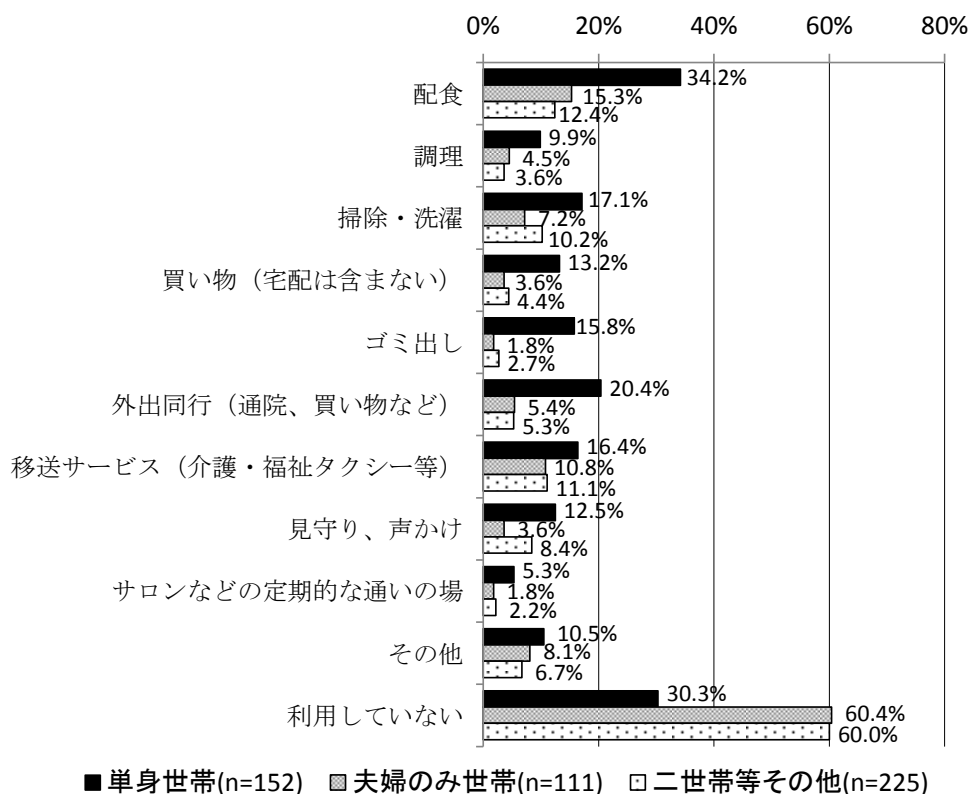
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

A票-問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)。



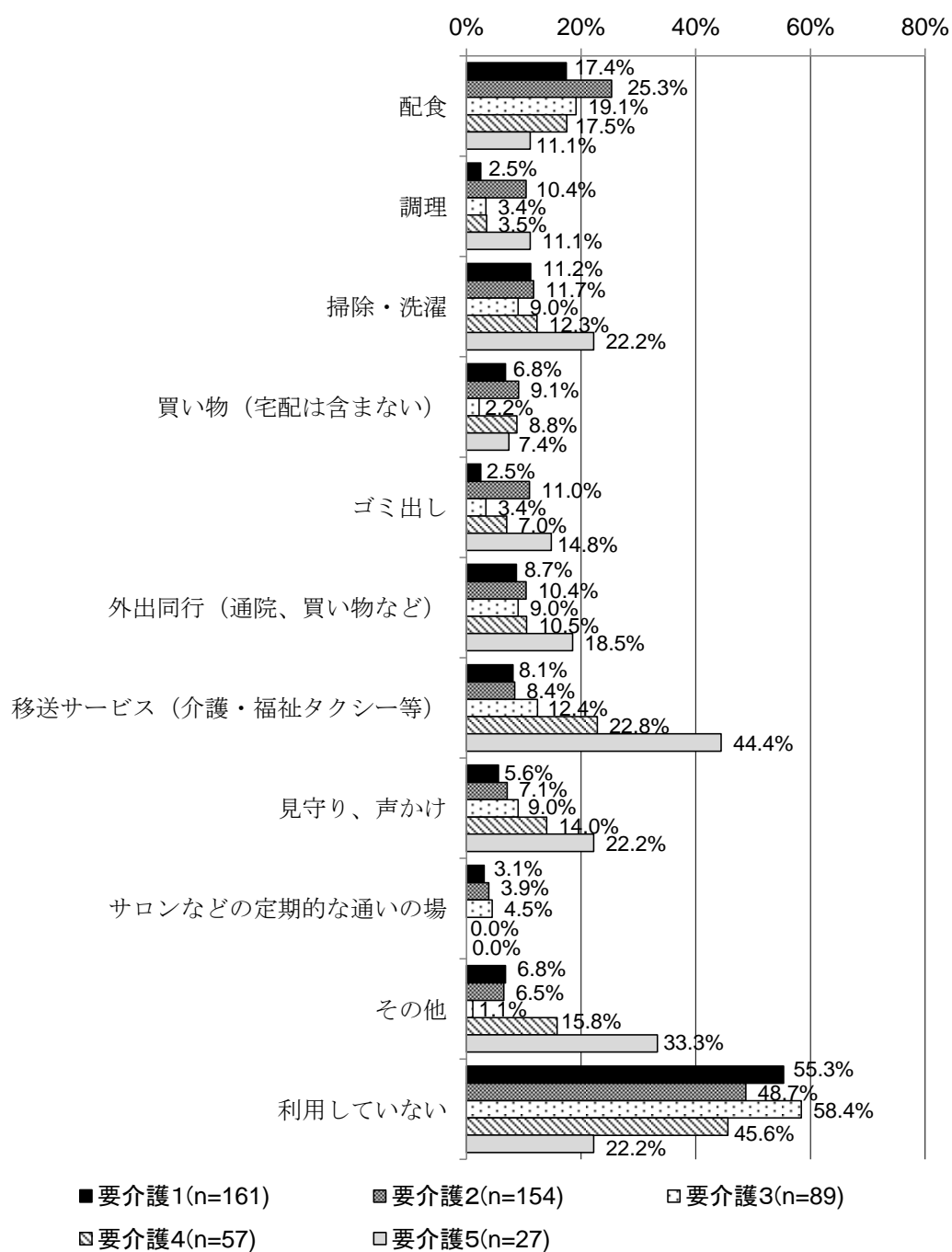
現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「配食」が19.9%と最も多く、次いで「移送サービス」が12.7%となっている。

<世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況>



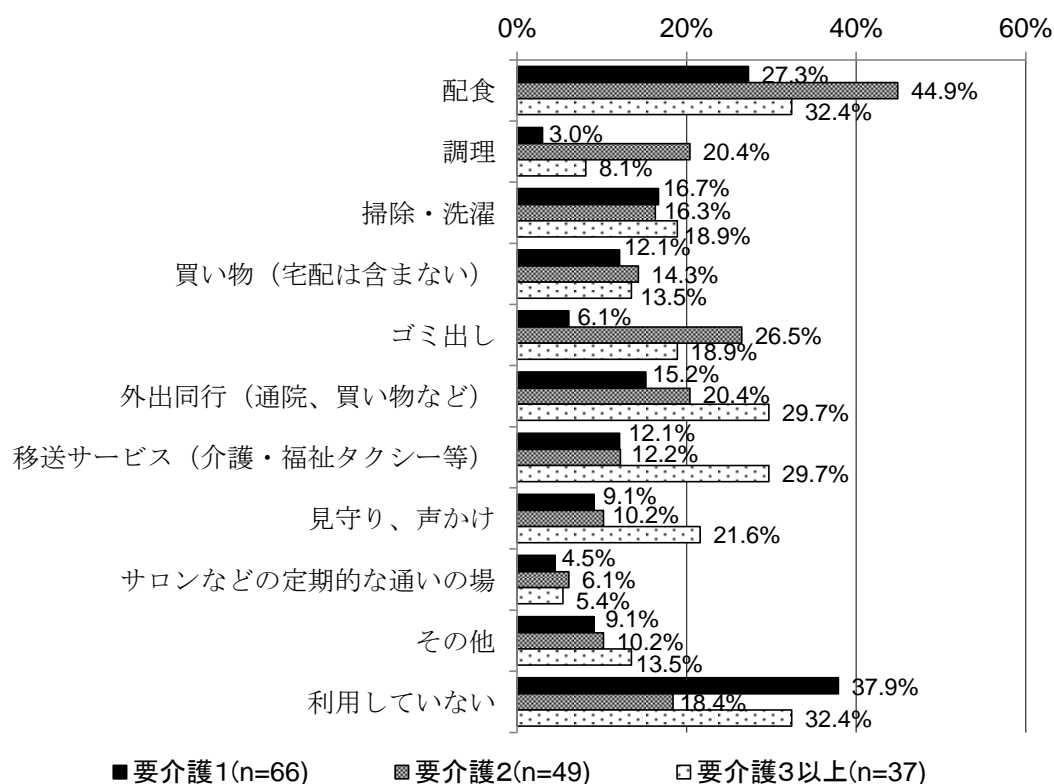
世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」は「単身世帯」で30.3%、「夫婦のみ世帯」と「二世帯等その他」では約6割となっている。「単身世帯」では、「配食」の利用割合が34.2%と多い。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況 >



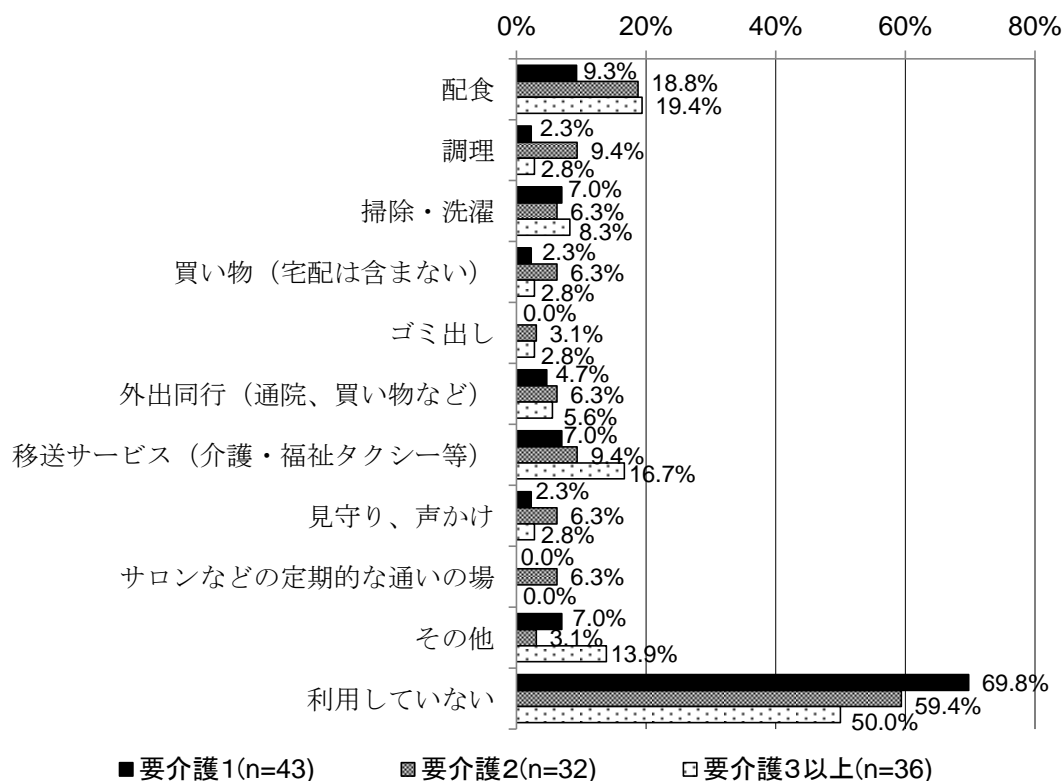
要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況は、要介護度の重度化に伴い、特に「移送サービス」の利用割合が高くなっており、「要介護5」で44.4%となっている。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯） >



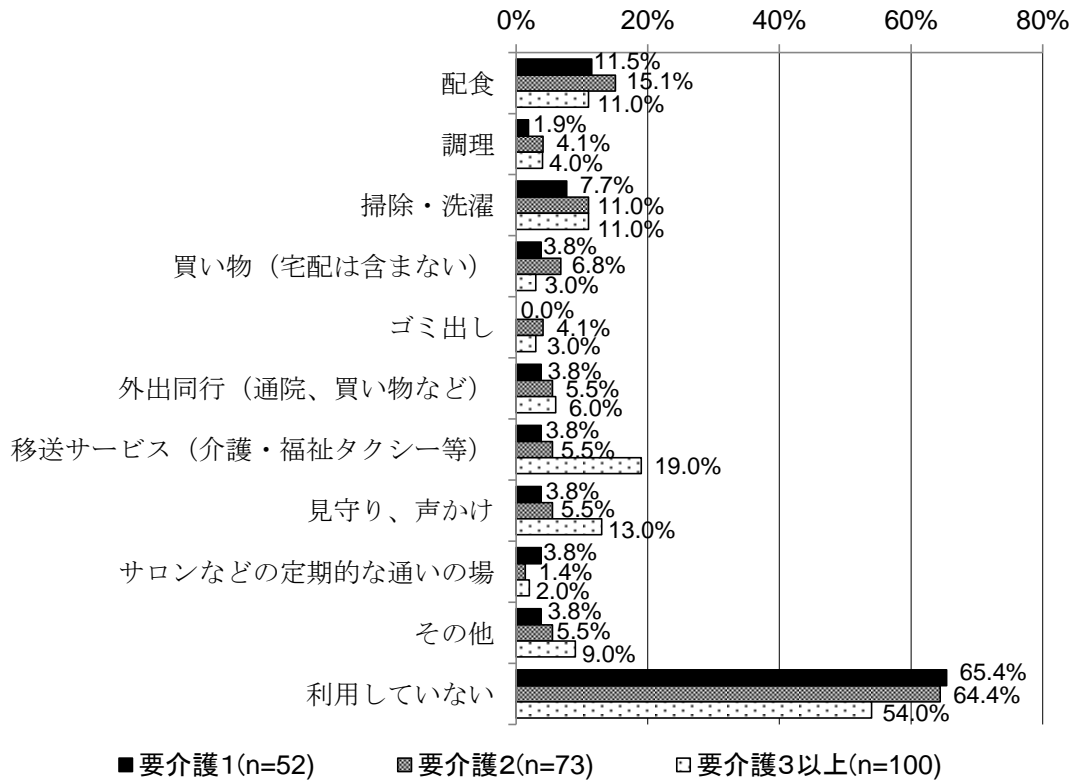
単身世帯の、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況は、「要介護3以上」で「配食」、「外出同行」、「移送サービス」の利用割合が約3割となっている。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯） >



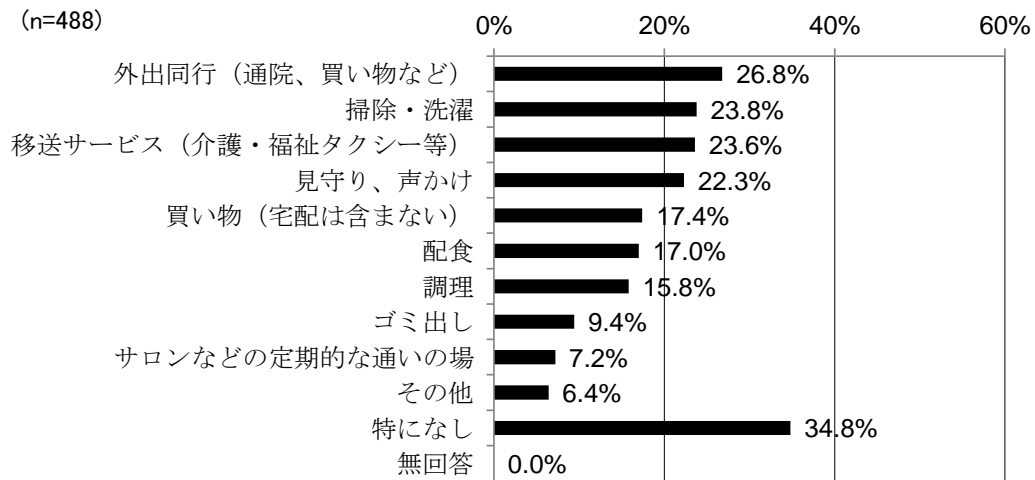
夫婦のみ世帯の、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用割合は、「要介護3以上」で「配食」が19.4%と最も多く、次いで「移送サービス」が16.7%となっている。

<要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（二世帯等その他）>



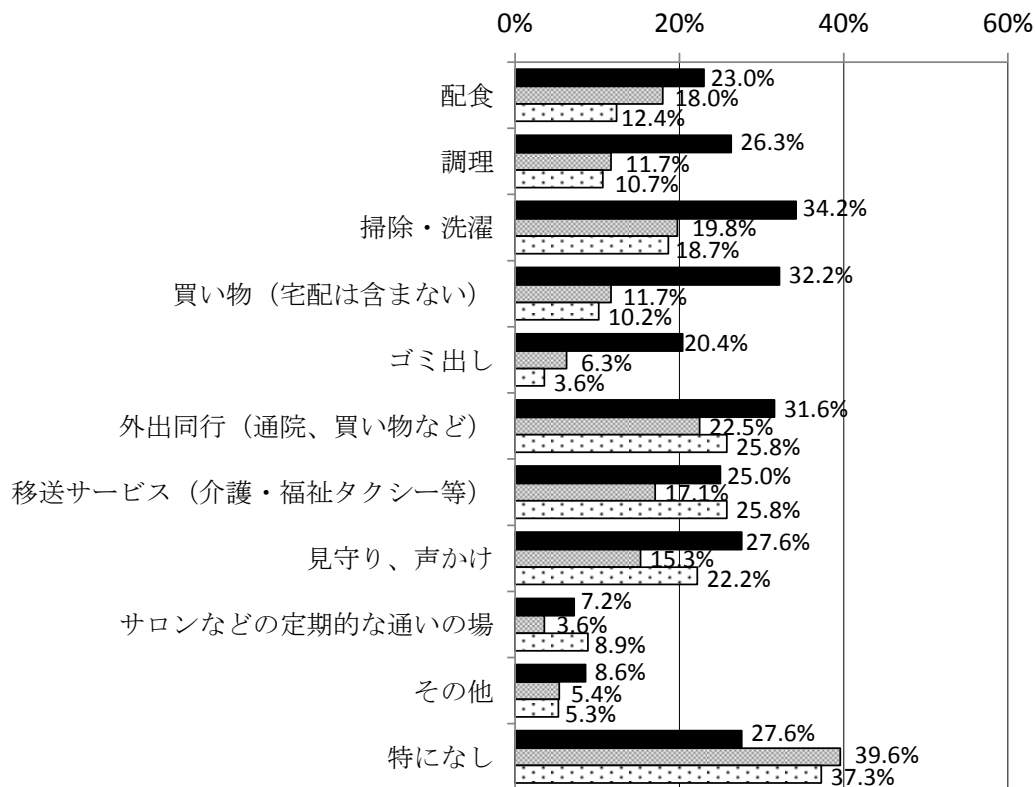
二世帯等その他の、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用割合は、「要介護3以上」で「移送サービス」が19.0%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」が13.0%となっている。

A票-問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）。



今後の在宅生活の継続に向けて必要と感じる支援・サービスは、「外出同行」が26.8%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」が23.8%となっている。

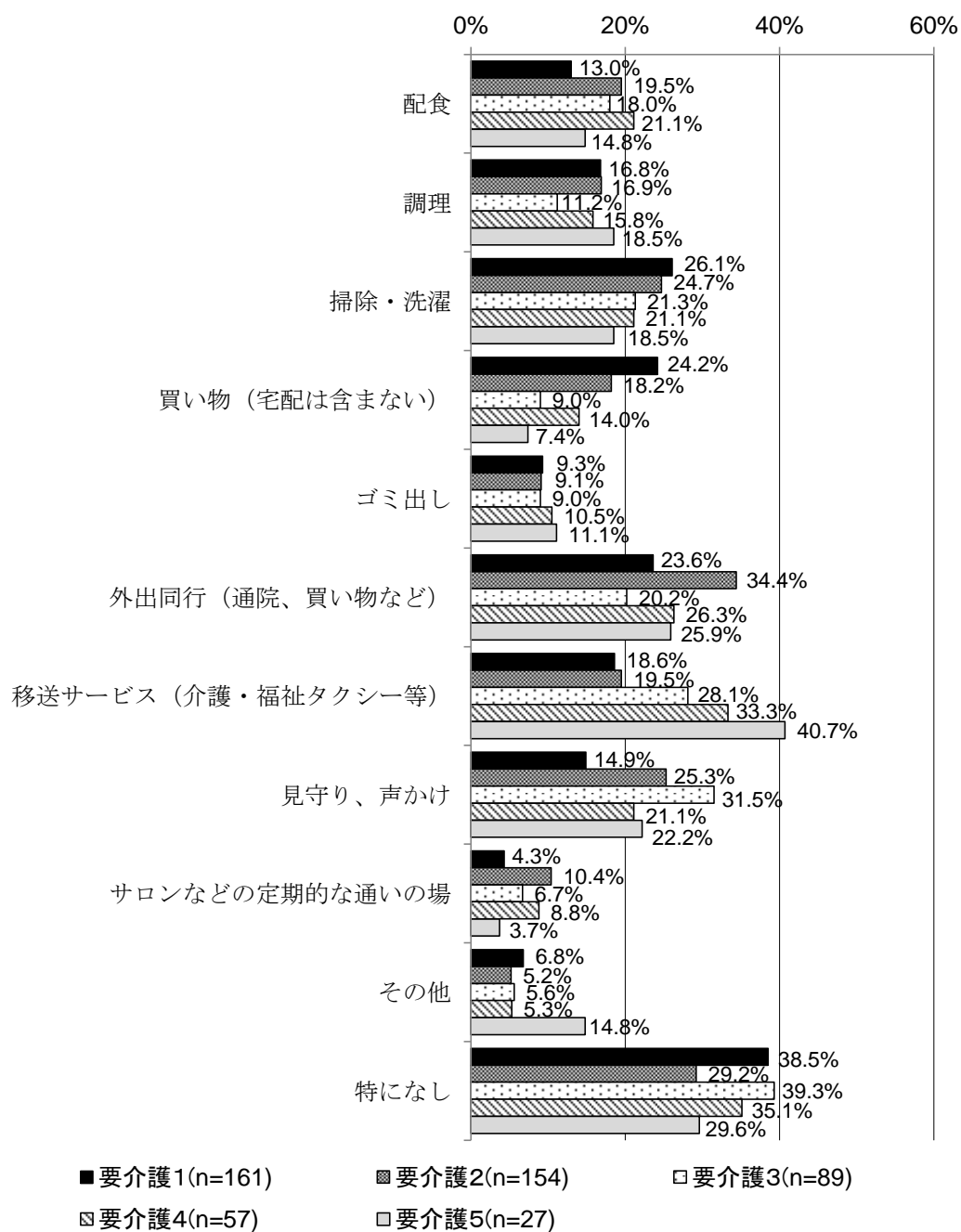
<世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス>



■ 単身世帯(n=152) ■ 夫婦のみ世帯(n=111) □ 二世帯等その他(n=225)

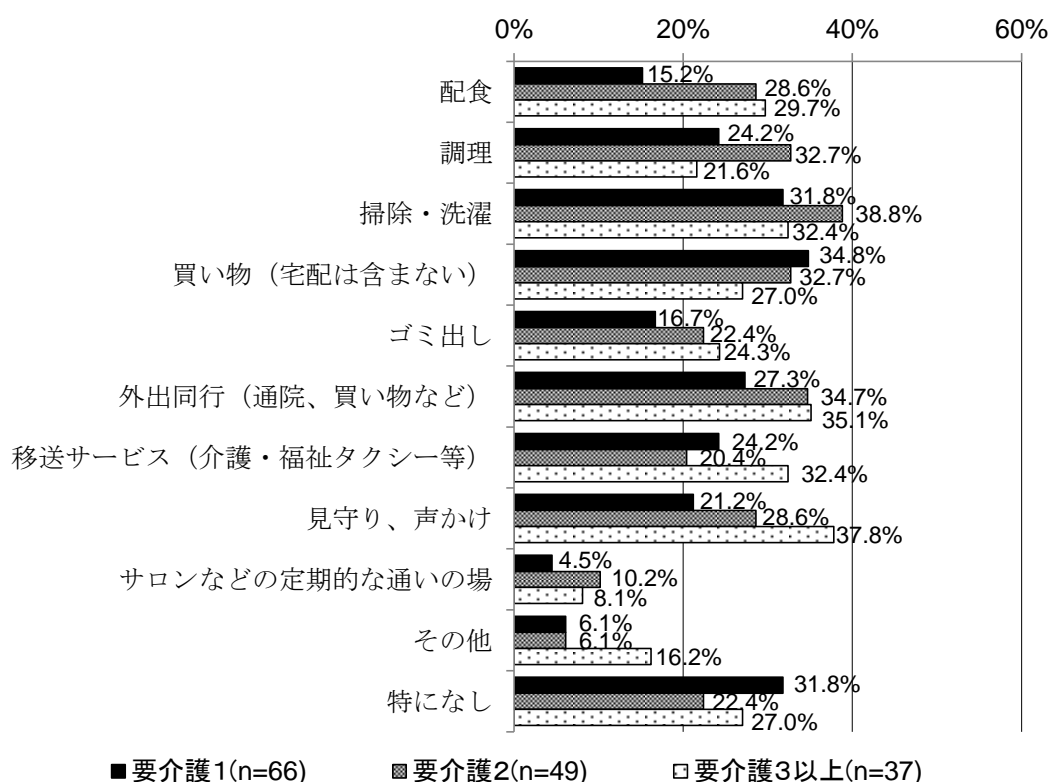
世帯類型別の今後の在宅生活の継続に向けて必要と感じる支援・サービスは、「単身世帯」では「掃除・洗濯」が34.2%、「買い物」が32.2%、「夫婦のみ世帯」では「外出同行」が22.5%、「掃除・洗濯」が19.8%、「二世帯等その他」では「外出同行」と「移送サービス」が25.8%と多い。

<要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス>



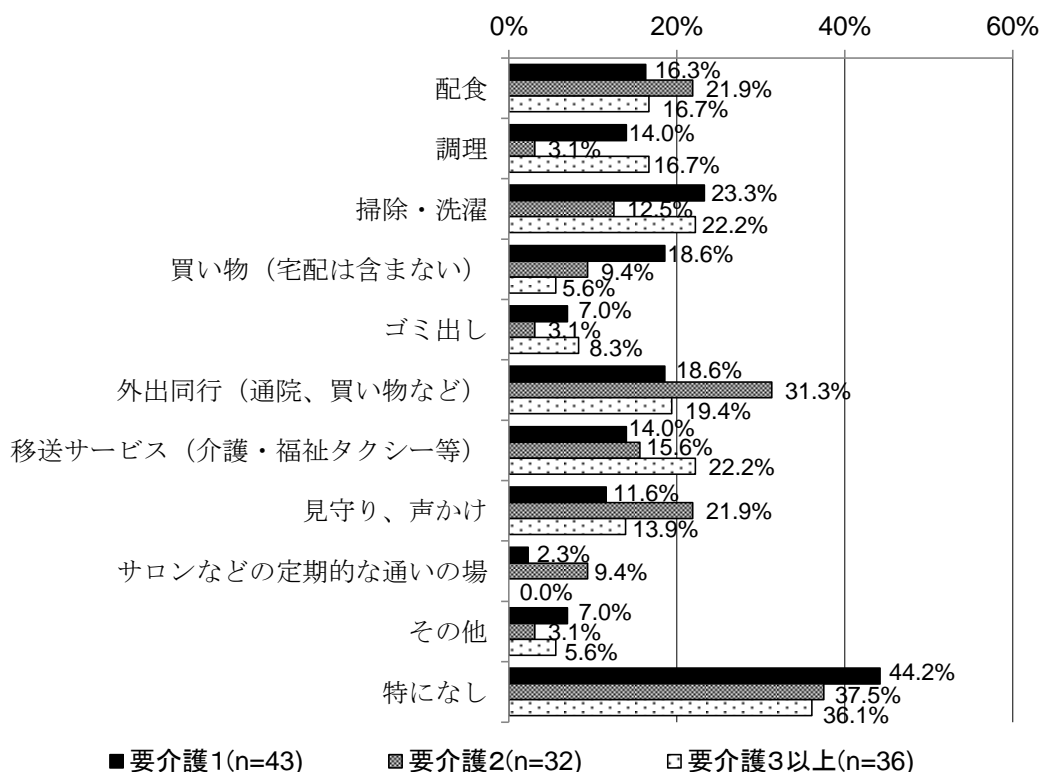
要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、要介護度の重度化に伴い、特に「移送サービス」の利用割合が高くなっており、「要介護5」で40.7%である。

< 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯） >



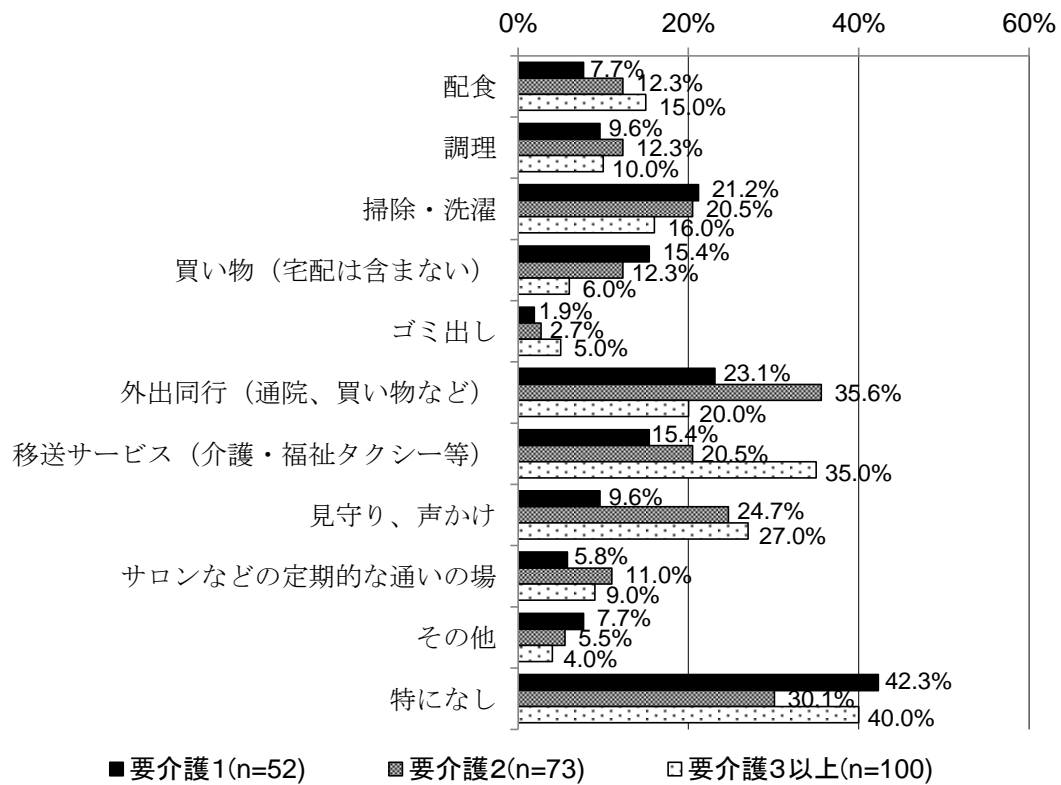
単身世帯の、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が37.8%と最も多く、次いで「外出同行」が35.1%となっている。

< 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯） >



夫婦のみ世帯の、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「掃除・洗濯」と「移送サービス」が22.2%と最も多く、次いで「外出同行」が19.4%となっている。

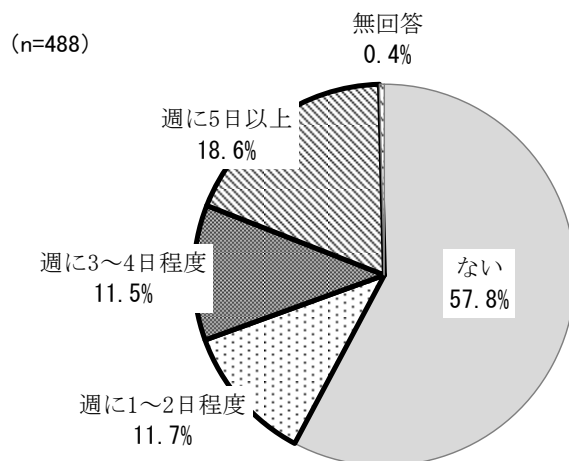
<要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（二世帯等その他）>



二世帯等その他の、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「移送サービス」が35.0%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」が27.0%となっている。

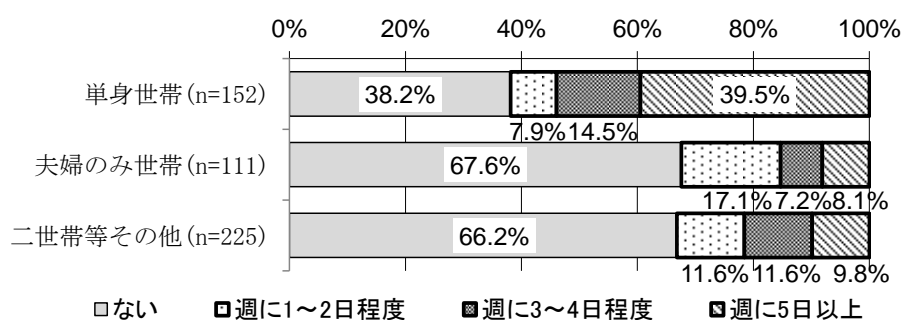
3. 在宅生活の状況

C票-問1 日中・夕方の時間帯（9～19時頃まで）において、介護や見守りが必要にもかかわらず、4時間以上介護や見守りをしてくれる人（ヘルパー等も含む）がそばにいない日が、週に何日程度ありますか。（1つを選択）。



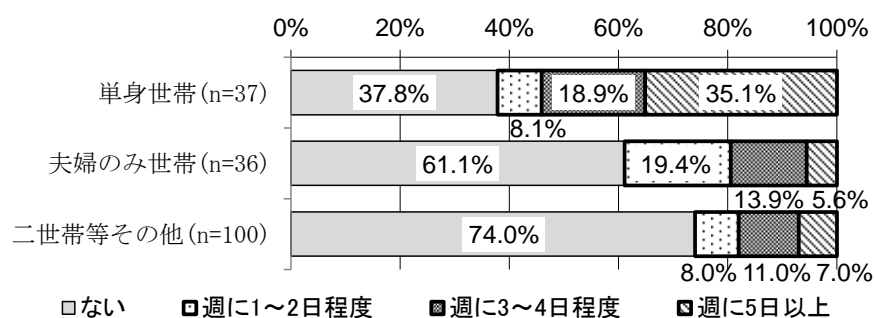
日中独居の頻度は、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）が41.8%である。

<世帯類型別・日中独居の有無 ※無回答を除く>



世帯類型別の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が61.9%、「夫婦のみ世帯」が32.4%、「二世帯等その他」が33.0%である。

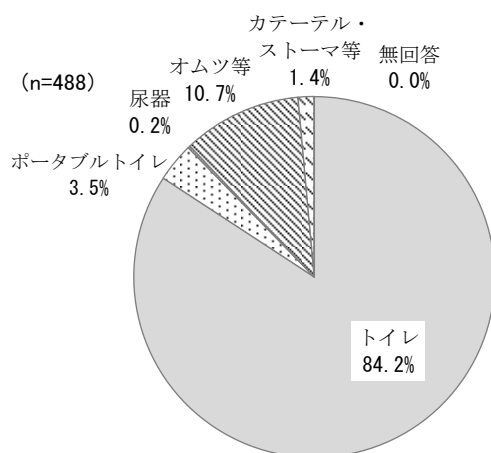
<世帯類型別・日中独居の有無（要介護3以上）>



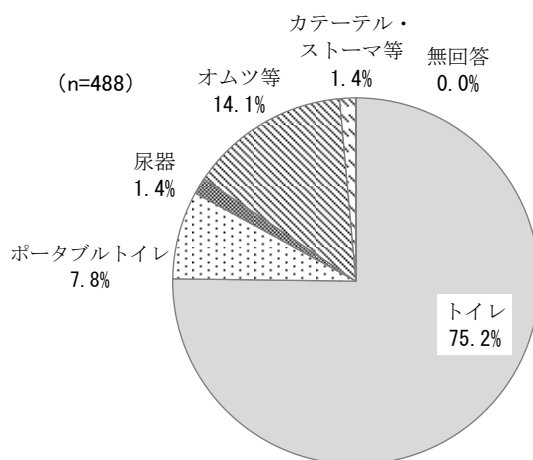
要介護3以上の世帯類型別の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が62.1%、「夫婦のみ世帯」が38.9%、「二世帯等その他」が26.0%である。

C票-問2 日中・夜間の排泄の方法・場所について、それぞれ最も多いものをご回答ください。（1つを選択）。

<日中>

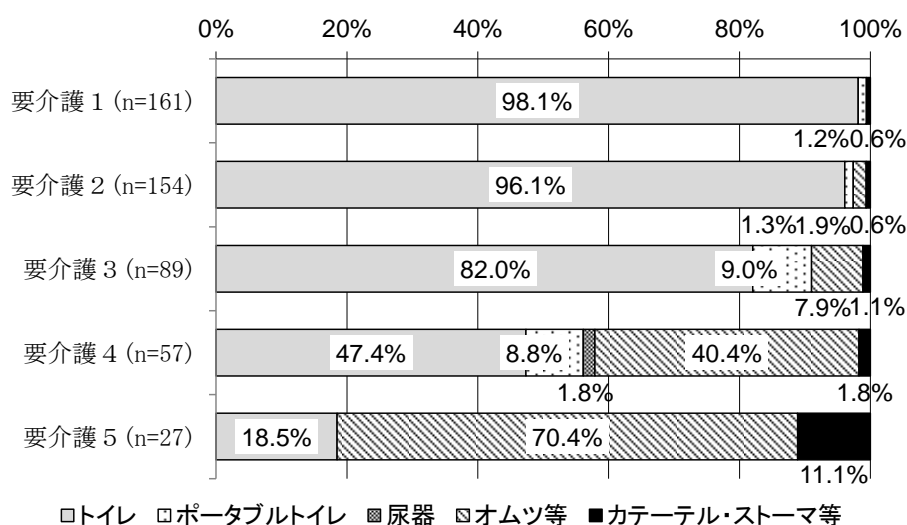


<夜間>

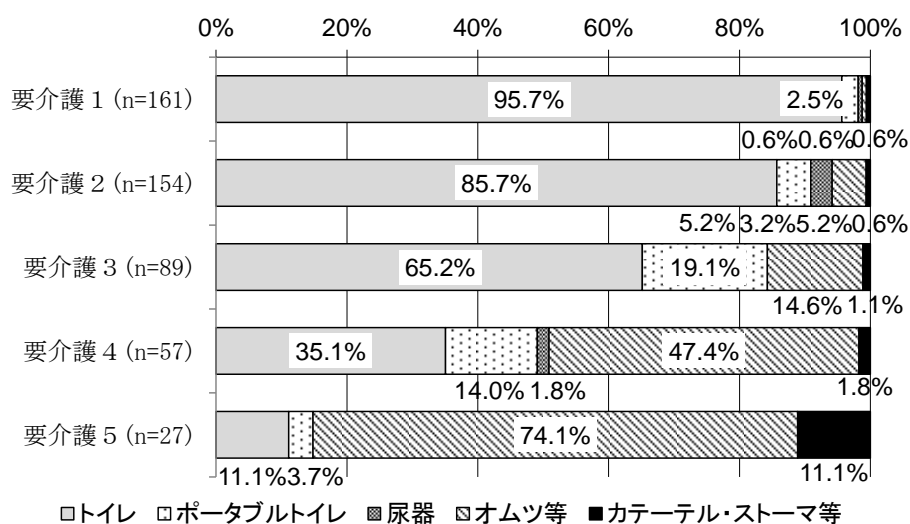


排泄の方法・場所は、日中は「オムツ等」が10.7%、「ポータブルトイレ」が3.5%、夜間は「オムツ等」が14.1%、「ポータブルトイレ」が7.8%である。

< 要介護度別・排泄の方法・場所(日中) >



< 要介護度別・排泄の方法・場所(夜間) >

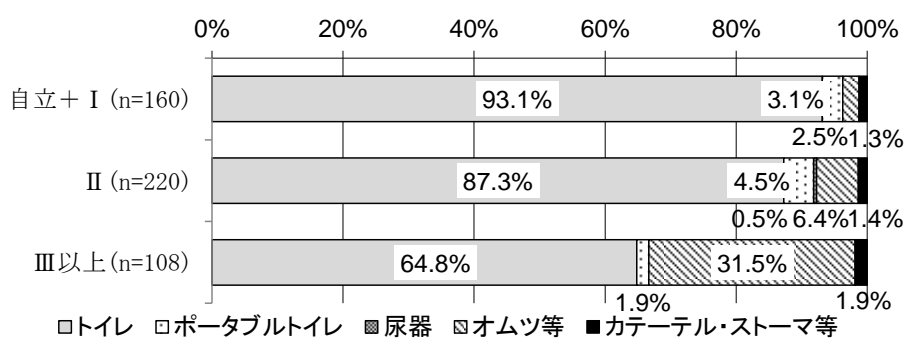


日中の排泄の方法・場所について、「オムツ等」の割合は、「要介護1」が0.0%、「要介護2」が1.9%、「要介護3」が7.9%、「要介護4」が40.4%、「要介護5」が70.4%であり、「カテーテル・ストーマ等」の割合が「要介護5」では11.1%となる。

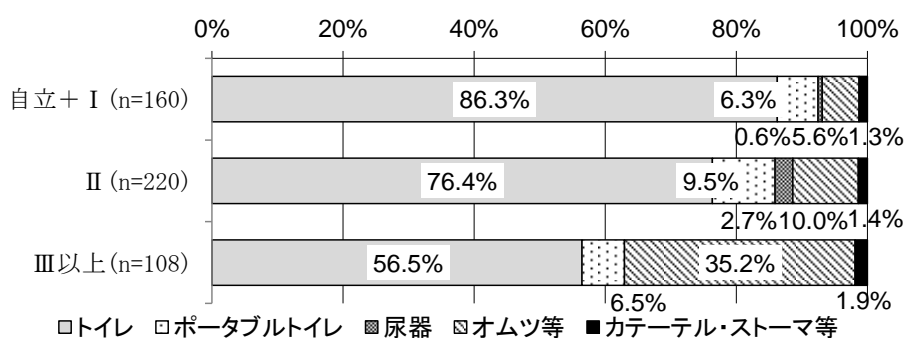
また、夜間の排泄の方法・場所について、「オムツ等」の割合は、「要介護1」が0.6%、「要介護2」が5.2%、「要介護3」が14.6%、「要介護4」が47.4%、「要介護5」が74.1%であり、「カテーテル・ストーマ等」の割合が「要介護5」では11.1%となる。

「要介護5」では、日中・夜間ともに、「オムツ等」の割合が7割以上となっている。

< 認知症自立度別・排泄の方法・場所（日中） >

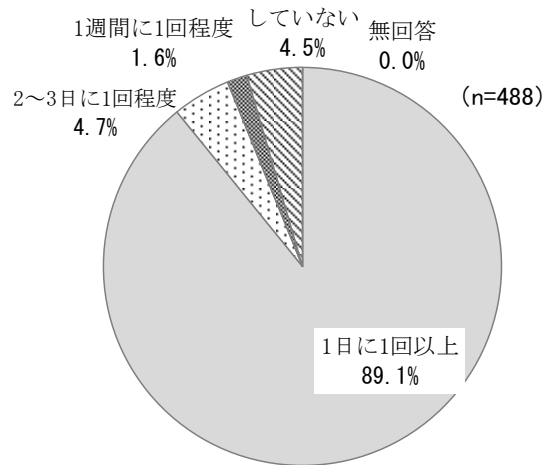


< 認知症自立度別・排泄の方法・場所（夜間） >



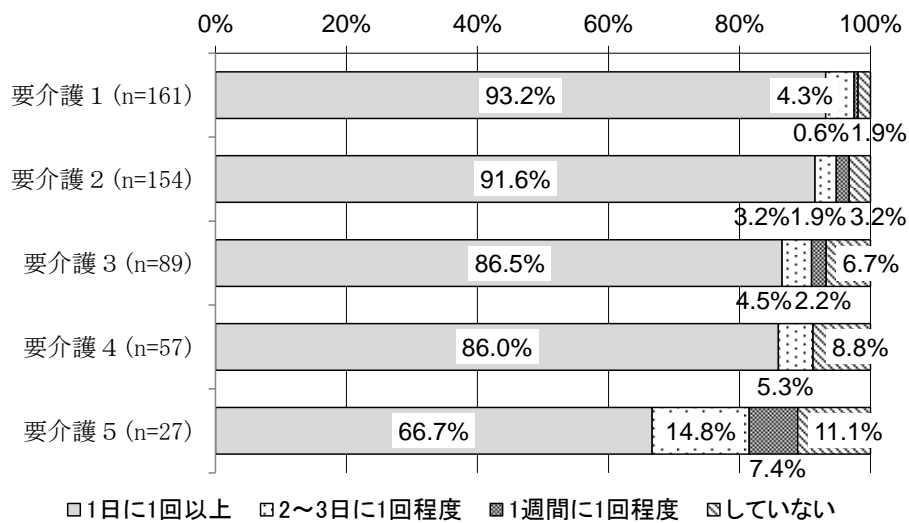
認知症自立度別の排泄の方法・場所について、「認知症自立度Ⅲ」以上では、日中は「オムツ等」が31.5%、夜間は「オムツ等」が35.2%である。

C票-問3 歯磨き・入れ歯の手入れ等の頻度について、ご回答ください。(1つを選択)。



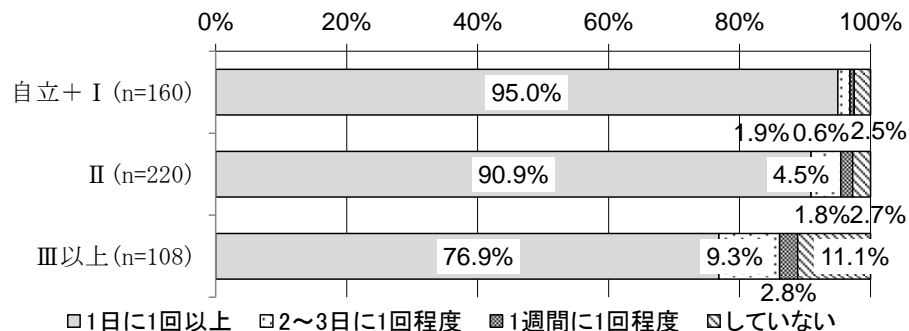
歯磨き・入れ歯の手入れ等の頻度は、「2~3日に1回程度」が4.7%、「していない」が4.5%、「1週間に1回程度」が1.6%である。

<要介護度別・口腔ケアの頻度>



要介護度別の口腔ケアの頻度について、「要介護5」では、「していない」が11.1%である。

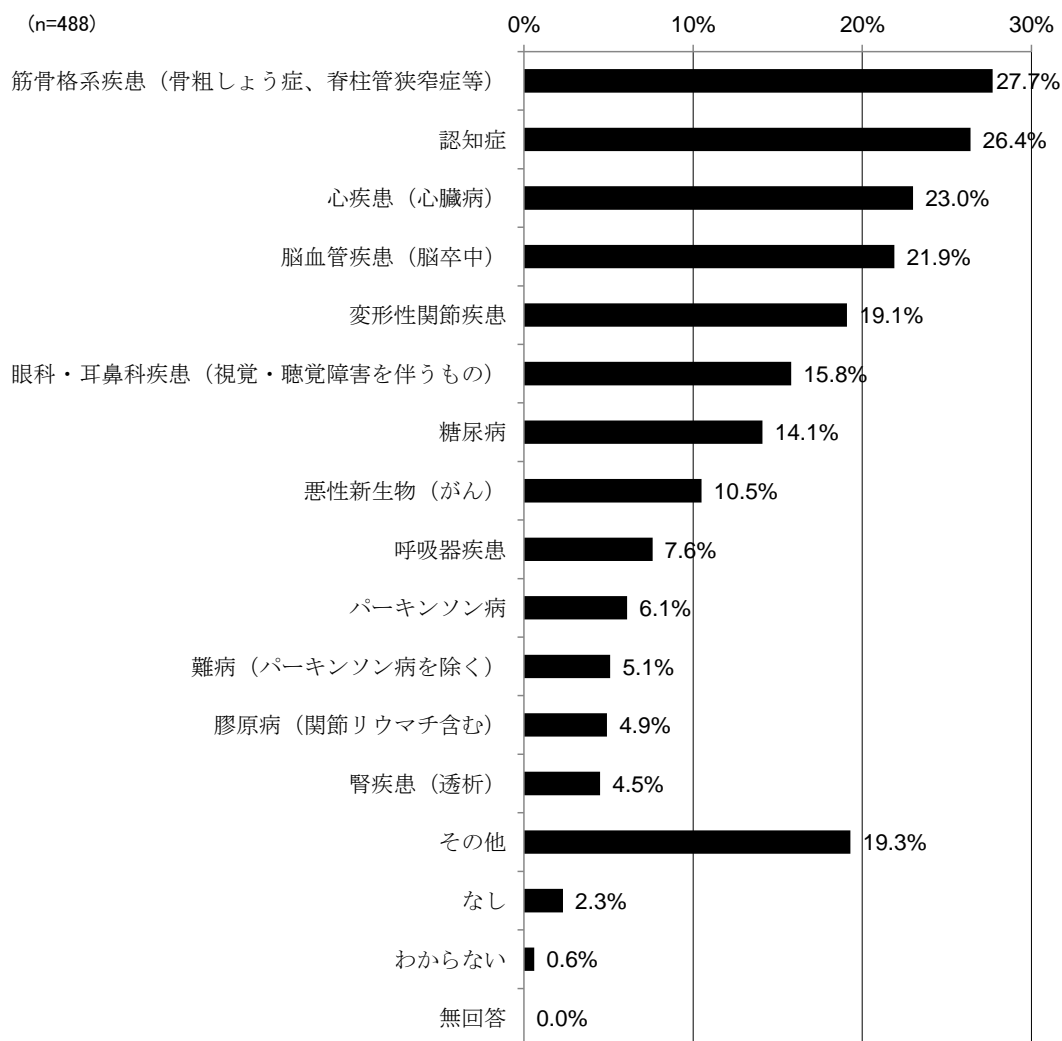
<認知症自立度別・口腔ケアの頻度>



認知症自立度別の口腔ケアの頻度について、「認知症自立度Ⅲ」以上では、「していない」が11.1%である。

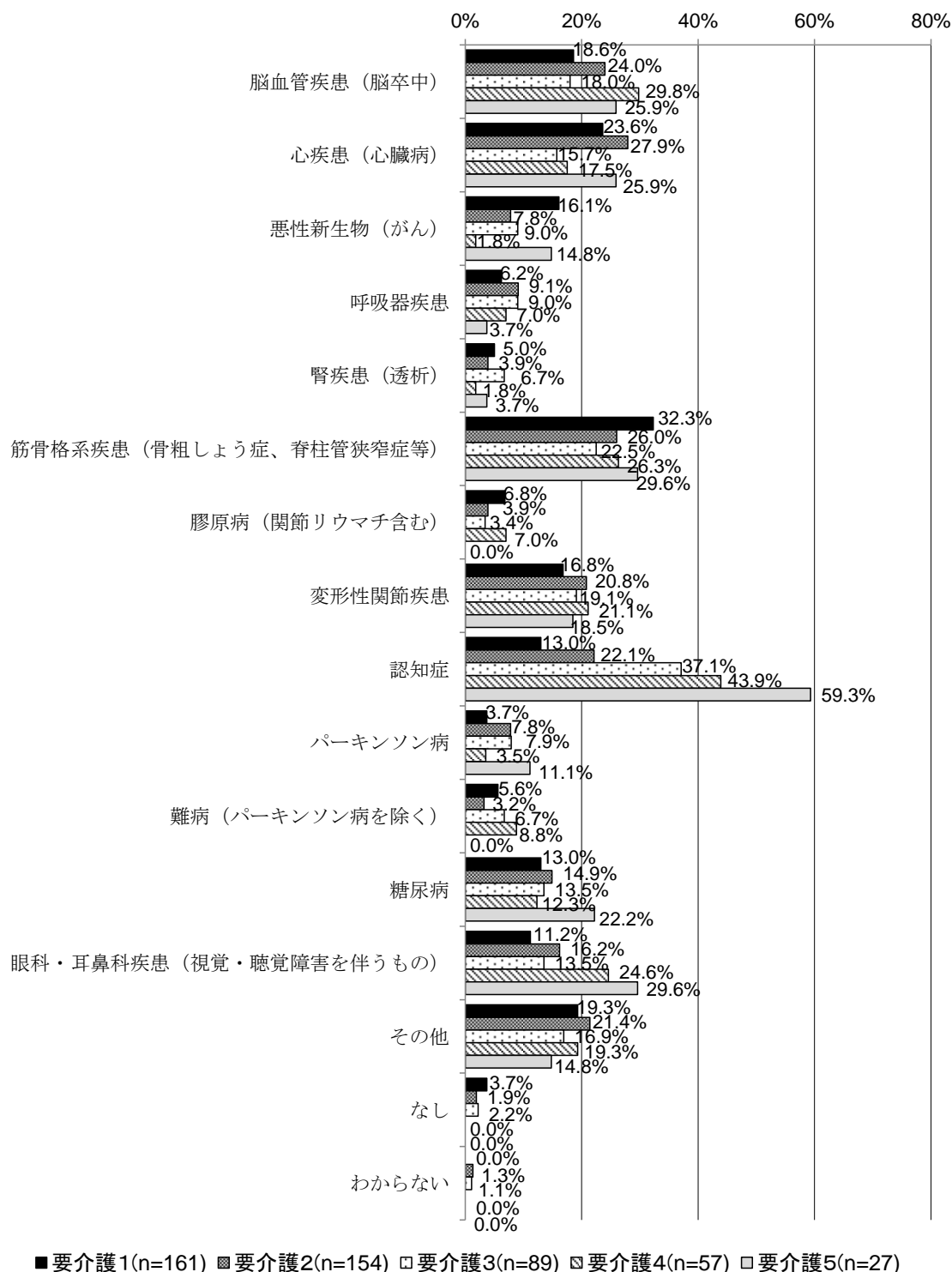
4. 傷病・訪問診療の利用状況など

A票-問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）。



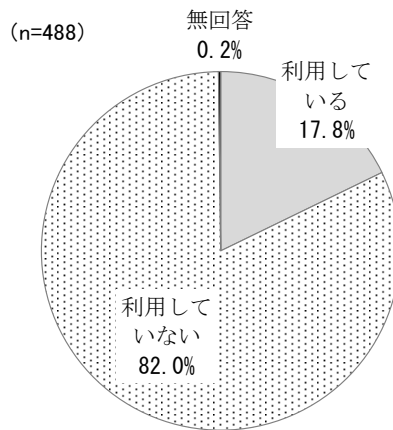
抱えている傷病は、「筋骨格系疾患」が27.7%と最も多く、次いで「認知症」が26.4%、「心疾患」が23.0%となっている。

<要介護度別・抱えている傷病>



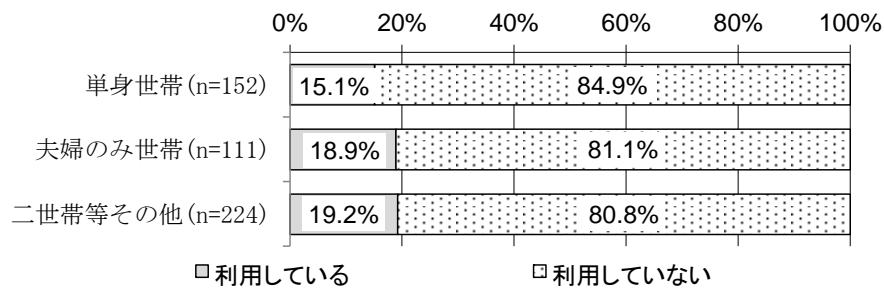
要介護度別の抱えている傷病は、「要介護5」では、「認知症」が59.3%と最も多く、次いで「筋骨格系疾患」と「眼科・耳鼻科疾患」が29.6%となっている。

A票-問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）。



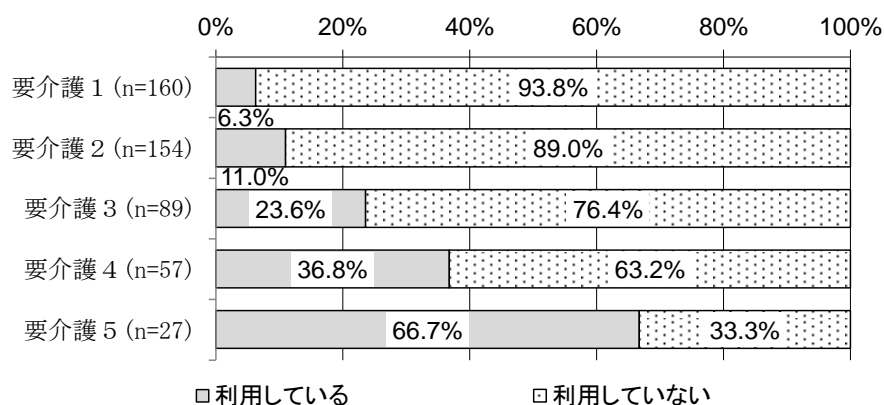
訪問診療の利用状況は、「利用している」が17.8%である。

<世帯類型別・訪問診療の利用の有無 ※無回答を除く>



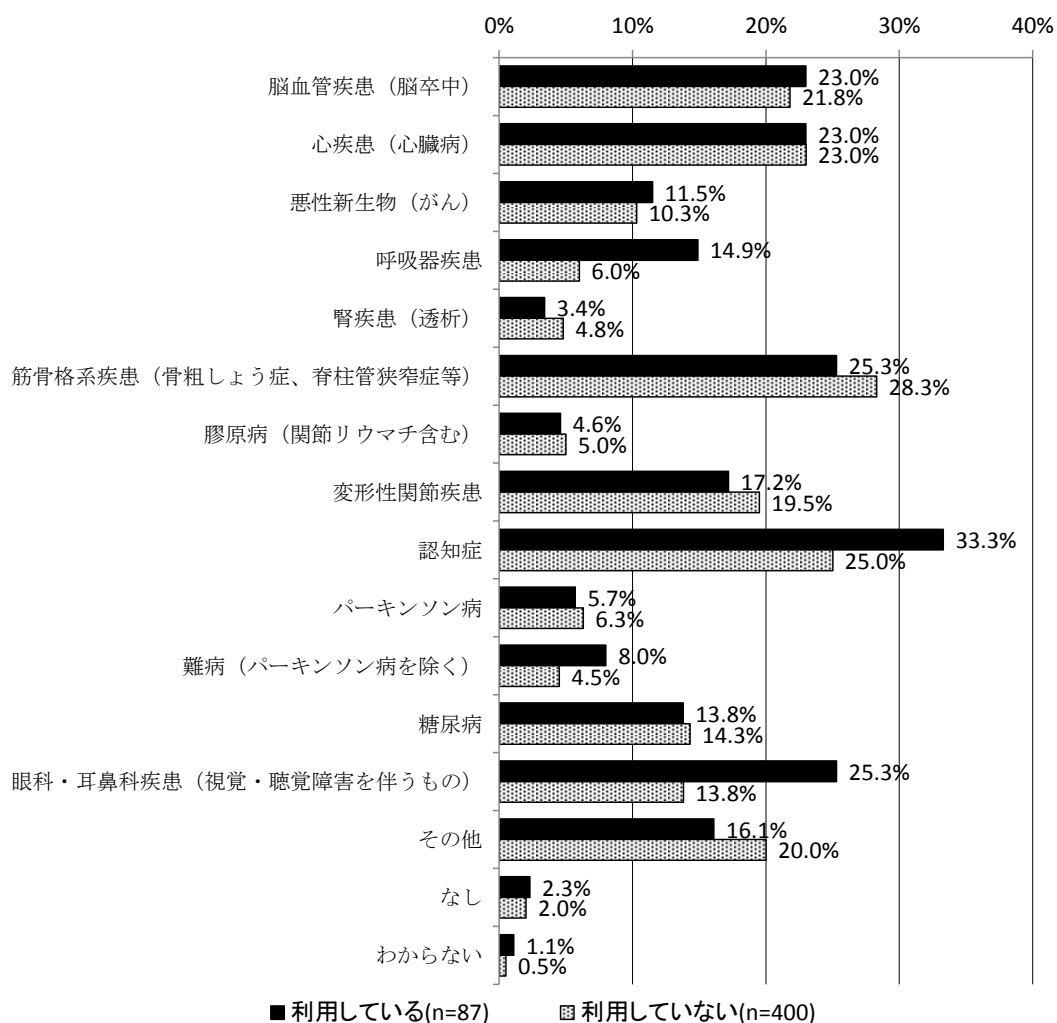
世帯類型別の訪問診療の利用の有無について、「利用している」の割合は、「単身世帯」が15.1%、「夫婦のみ世帯」が18.9%、「二世帯等その他」が19.2%である。

<要介護度別・訪問診療の利用の有無 ※無回答を除く>



要介護度別の訪問診療の利用の有無について、「利用している」の割合は、「要介護1」が6.3%、「要介護2」が11.0%、「要介護3」が23.6%、「要介護4」が36.8%、「要介護5」が66.7%である。

<訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病>

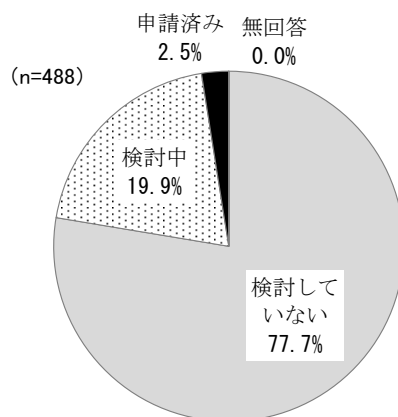


訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病は、訪問診療を「利用している」では「認知症」、「眼科・耳鼻科疾患」、「呼吸器疾患」などの割合が比較的高い。

5. 施設等への入所・入居の検討状況

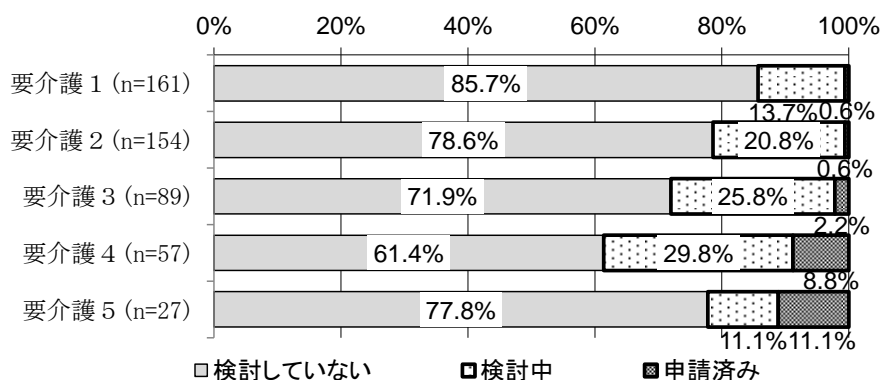
(1) 施設等検討の状況

A票-問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)。



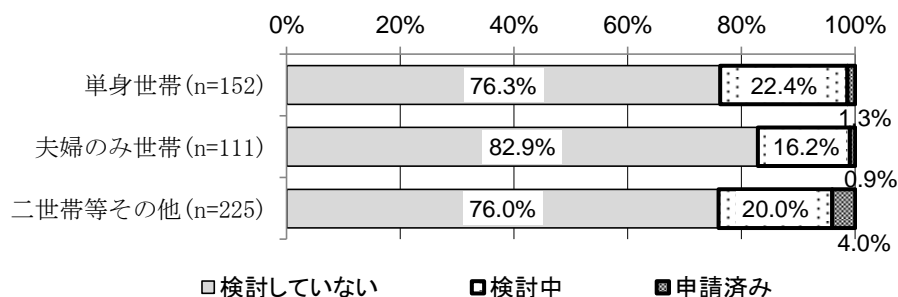
施設等検討の状況は、「検討中」が19.9%、「申請済み」が2.5%である。

< 要介護度別・施設等検討の状況 >



施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「要介護1」が14.3%、「要介護2」が21.4%、「要介護3」が28.0%、「要介護4」が38.6%、「要介護5」が22.2%である。「検討中」と「申請済み」の割合の合計が最も多いのは「要介護4」であり、約4割となっている。

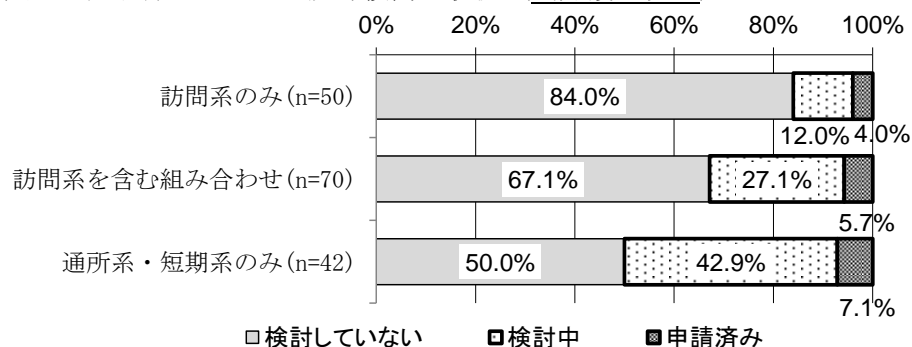
< 世帯類型別・施設等検討の状況 >



世帯類型別の施設等検討の状況について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が23.7%、「夫婦のみ世帯」が17.1%、「二世帯等その他」が24.0%である。

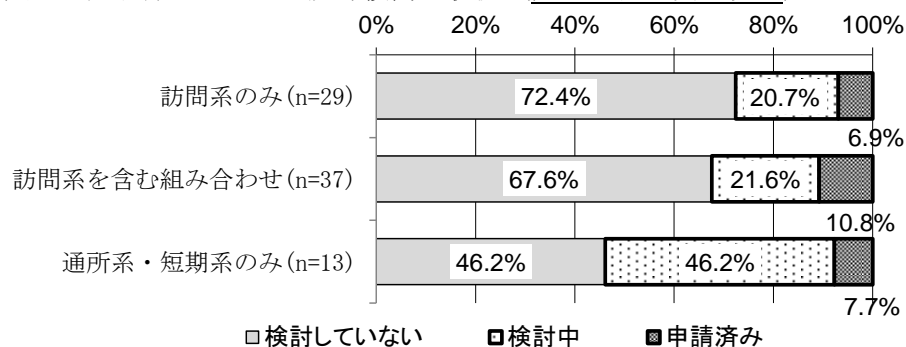
（2）サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況

＜サービス利用の組み合わせ別・施設等検討の状況（要介護3以上）＞



サービス利用の組み合わせ別の施設等検討の状況（要介護3以上）について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系のみ」が16.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が32.8%、「通所系・短期系のみ」が50.0%である。「通所系・短期系のみ」のサービス利用では、半数が施設等を「検討中」もしくは「申請済み」となっている。

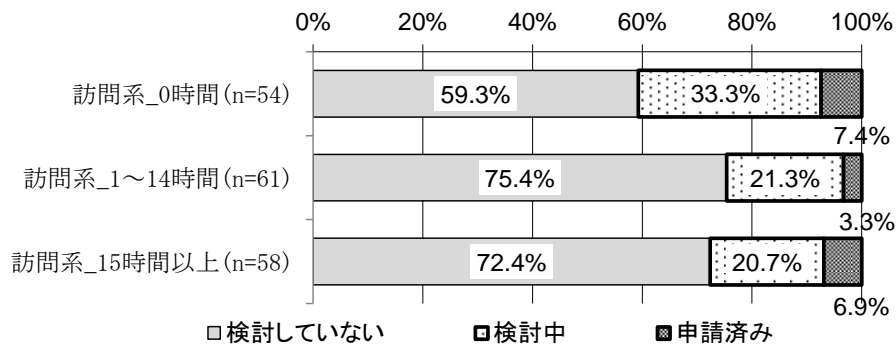
＜サービス利用の組み合わせ別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）＞



サービス利用の組み合わせ別の施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系のみ」が27.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が32.4%、「通所系・短期系のみ」が53.9%である。

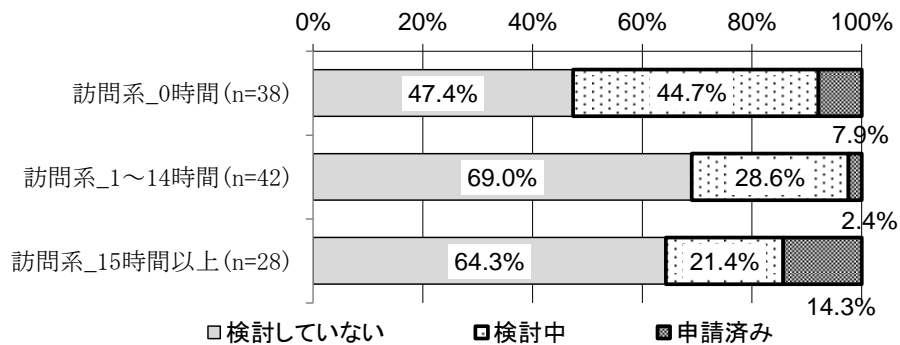
(3) サービス利用の回数と施設等検討の状況

< 訪問系サービスの利用時間別・施設等検討の状況（要介護3以上） >



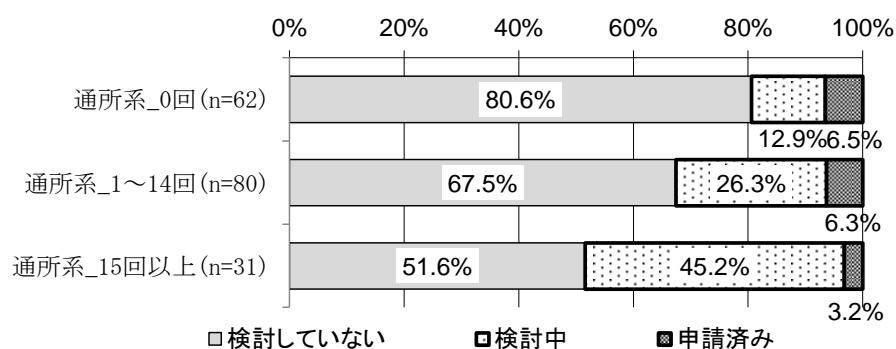
訪問系サービスの利用時間別の施設等検討の状況について、施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系0時間」が40.7%、「訪問系1～14時間」が24.6%、「訪問系15時間以上」が27.6%である。

< 訪問系サービスの利用時間別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） >



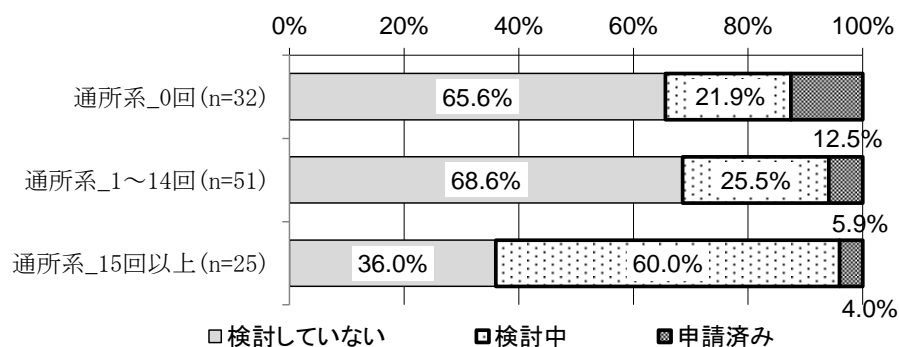
訪問系サービスの利用時間別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系0時間」で52.6%、「訪問系1～14時間」で31.0%、「訪問系15時間以上」で35.7%である。

<通所系サービスの利用回数別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



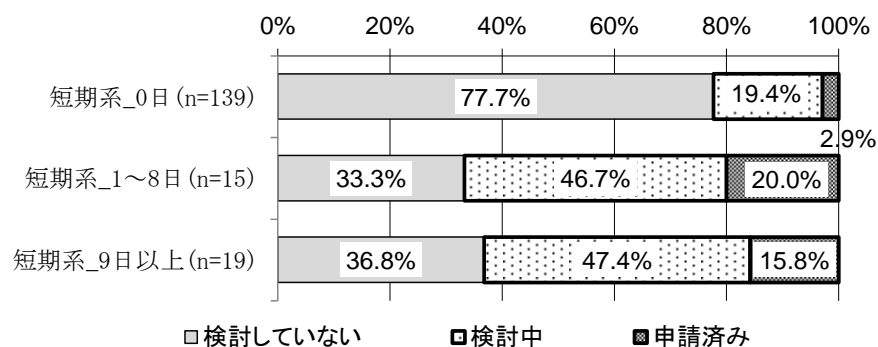
通所系サービスの利用回数別の施設等検討の状況について、要介護3以上の施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「通所系0回」で19.4%、「通所系1~14回」で32.6%、「通所系15回以上」で48.4%である。

<通所系サービスの利用回数別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）>



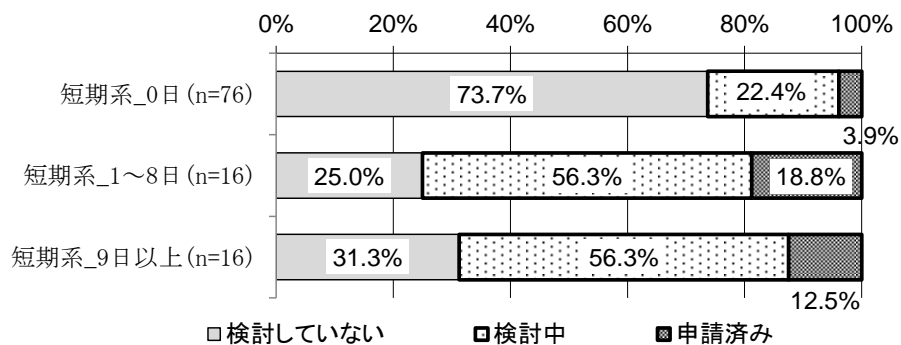
通所系サービスの利用回数別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「通所系0回」で34.4%、「通所系1~14回」で31.4%、「通所系15回以上」で64.0%だった。

<短期系サービスの利用日数別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



短期系サービスの利用日数別の施設等検討の状況について、要介護3以上の施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で22.3%、「短期系1~8日」で66.7%、「短期系9日以上」で63.2%である。

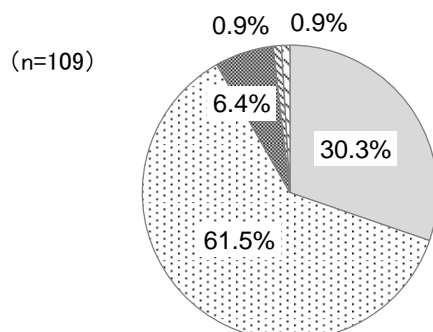
<短期系サービスの利用日数別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）>



短期系サービスの利用日数別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で26.3%、「短期系1~8日」で75.1%、「短期系9日以上」で68.8%である。

(4) 施設等検討の理由など

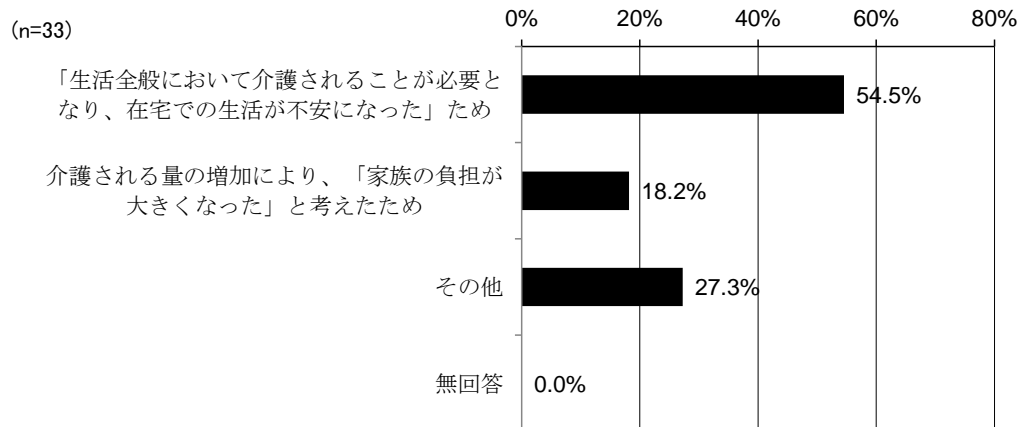
C票-問4 A票の問10において「検討中」「申請済み」と回答した方にお伺いします。入所・入居を検討された一番大きなきっかけをご回答ください。(1つを選択)。



- ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため
- ▣ 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため
- ケアマネジャーから、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため
- ⊠ 医師、その他の専門職から、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため
- ⊞ 無回答

施設等への入所・入居を「検討中」及び「申請済み」の方（109名）が、入所・入居を検討した一番大きなきっかけは、「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が61.5%、「ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が30.3%、「ケアマネジャーから、『施設等への入所・入居をすすめられた』ため」が6.4%である。

C票-問5 問4で「ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため」を選択された方にお伺いします。ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください。(1つを選択)。



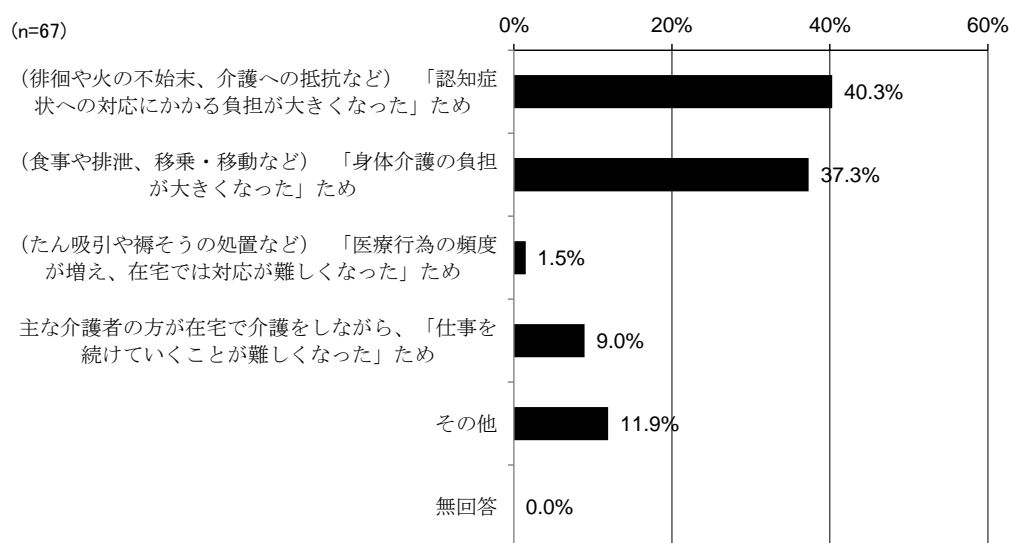
本人が、「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、『生活全般において介護されることが必要となり、在宅での生活が不安になった』ため」が54.5%と最も多い。

なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

(ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えた最も大きな理由(「その他」の回答))

・自分の体が動かなく転んだりしてのアクシデントが増えているため必要と思う。
・独りでの生活に強い不安を持っている。病気や怪我など何かあったらとの不安。 施設で見守りがある中で生活をしたいとの希望。
・夫婦、同居の娘も介護が必要な状態のため。
・認知症の為、本人は大丈夫というが、生活の様々なところで一人暮らしの不都合さを見ていて感じています。
・一人暮らしが安全面で不安になってきたから
・将来体調が悪くなった時のことを考えて
・妻が既に入所しているので、同じ施設に入所したい。

C票-問6 問4で「主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため」を選択された方にお伺いします。主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください。(1つを選択)。



主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、「『認知症状への対応にかかる負担が大きくなった』ため」が40.3%と最も多い。

なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

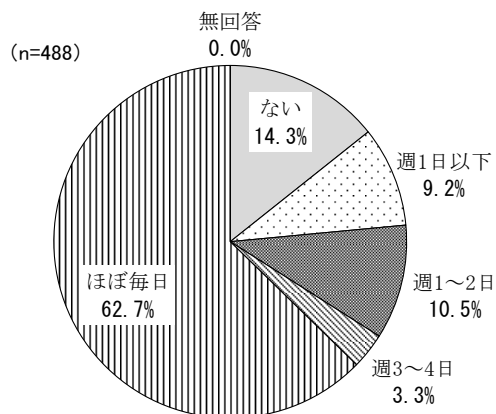
(主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えた最も大きな理由(「その他」の回答))

・叔母も同時に介護しており、負担は大きい。
・介護者の体力的に介護の継続が困難と考えるから。
・義母も同時に介護しており、負担は大きい。
・独居でいることに不安を感じる。
・介護している自分の心が折れてしまいそうになったため。

6. 主な介護者の状況

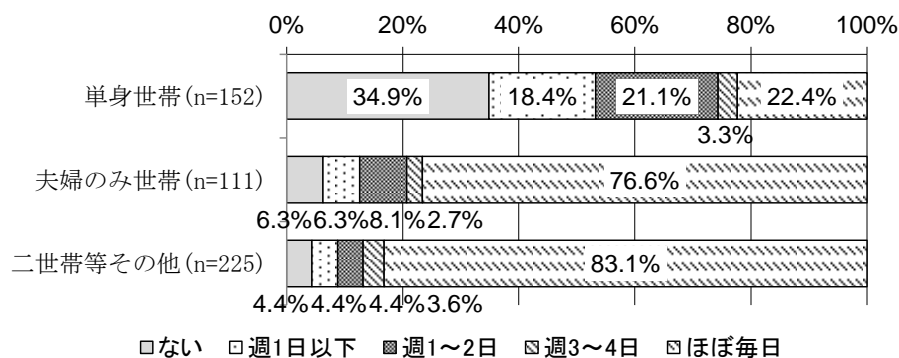
(1) 家族や親族による介護の頻度

A票-問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つを選択）。



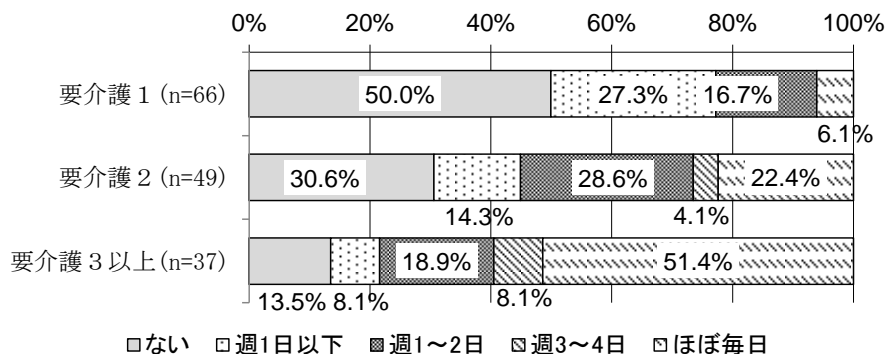
家族や親族による介護の頻度は、「ほぼ毎日」が62.7%と最も多く、次いで「ない」が14.3%、「週1~2日」が10.5%となっている。

<世帯類型別・家族等による介護の頻度>



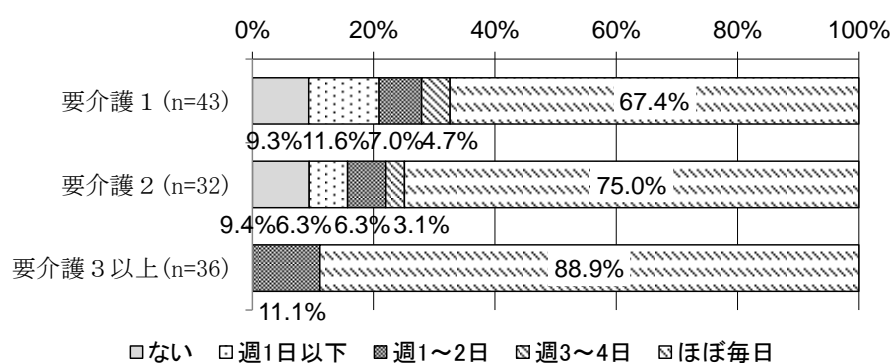
家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「単身世帯」が22.4%、「夫婦のみ世帯」が76.6%、「二世帯等その他」が83.1%である。

<要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）>



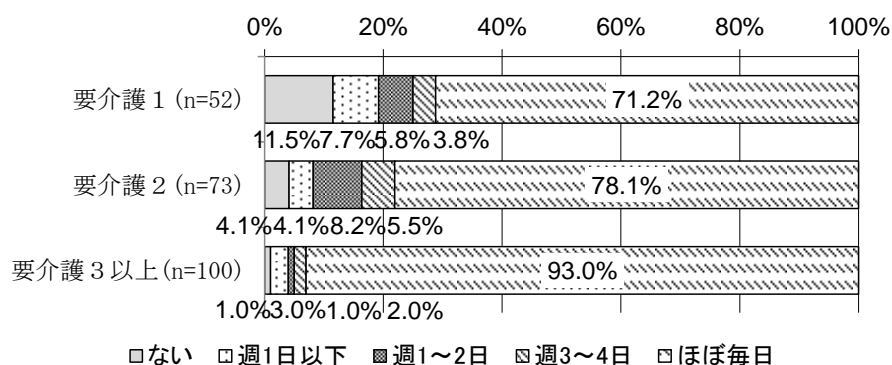
単身世帯の家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が6.1%、「要介護2」が22.4%、「要介護3以上」が51.4%である。

< 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯） >



夫婦のみ世帯の家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が67.4%、「要介護2」が75.0%、「要介護3以上」が88.9%である。

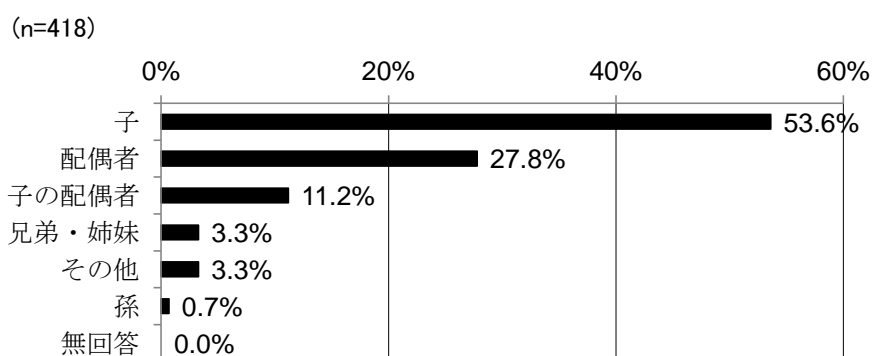
< 要介護度別・家族等による介護の頻度（二世帯等その他） >



二世帯等その他の家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が71.2%、「要介護2」が78.1%、「要介護3以上」が93.0%である。

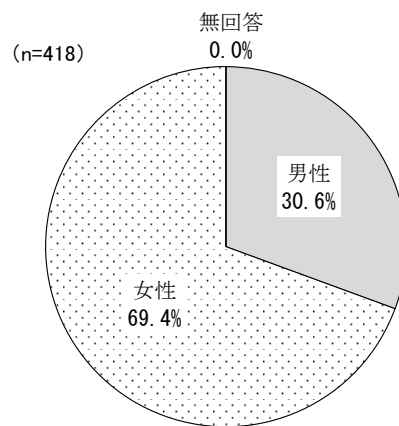
(2) 主な介護者の属性

A票-問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)。



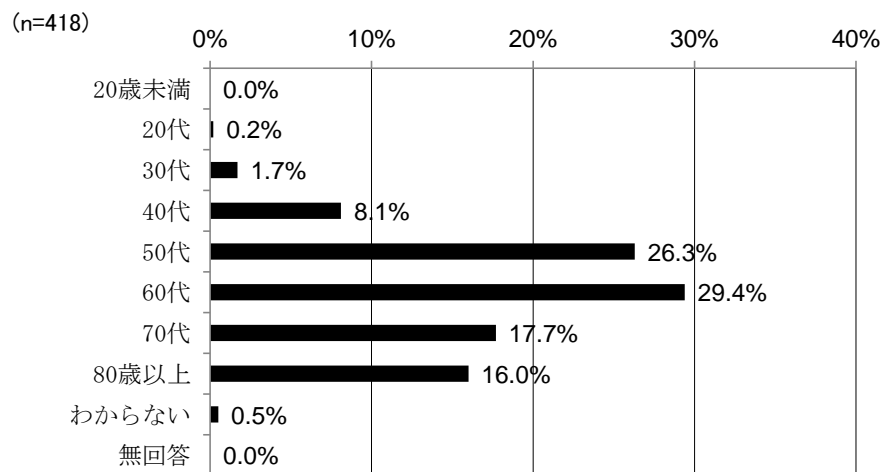
本人と主な介護者の関係は、「子」が53.6%と最も多く、次いで「配偶者」が27.8%となっている。

A票-問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)。



主な介護者の性別は、「女性」が69.4%、「男性」が30.6%である。

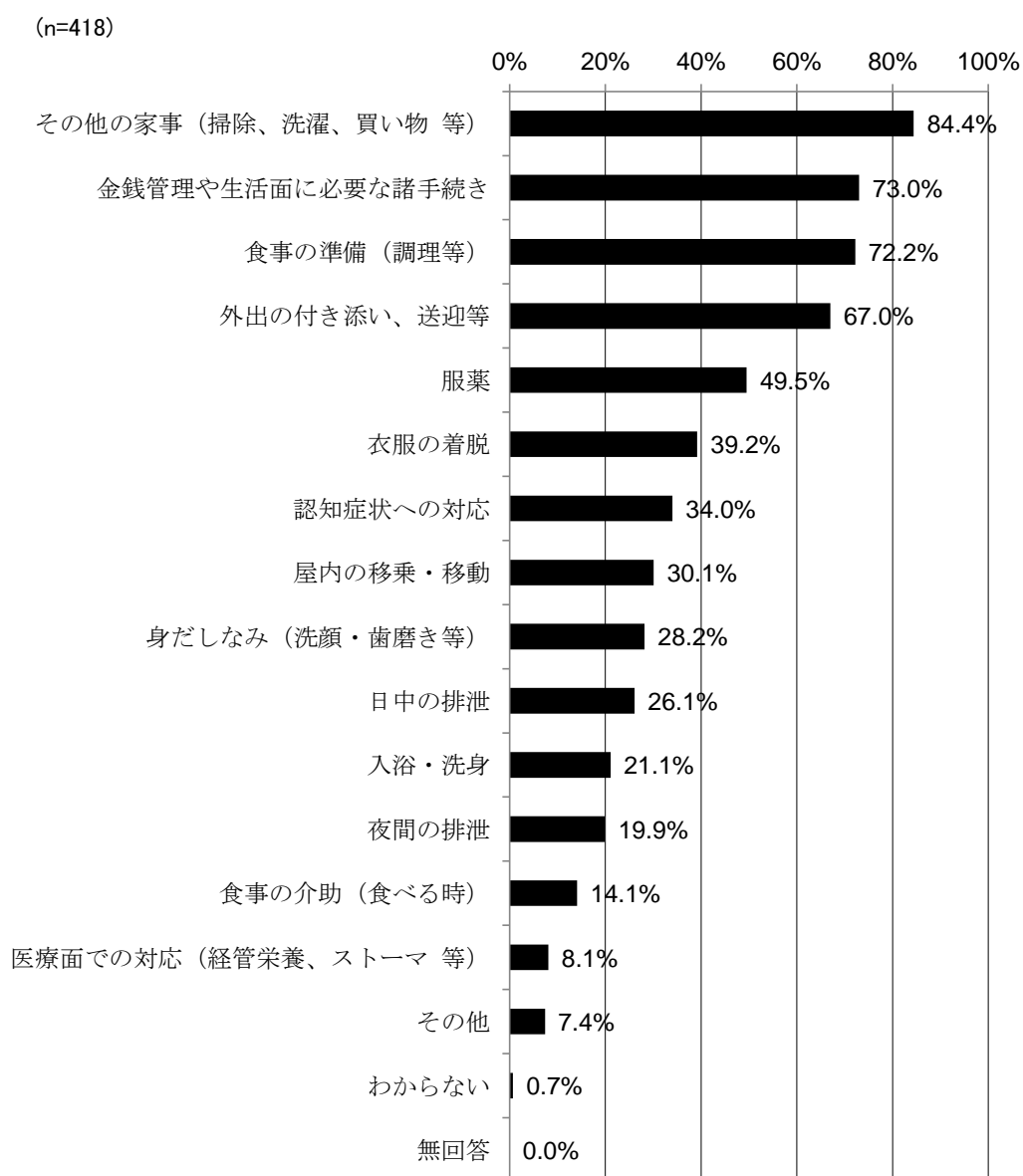
A票-問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)。



主な介護者の年齢は、「60代」が29.4%と最も多く、次いで「50代」が26.3%、「70代」が17.7%である。主な介護者のうち、「70代以上」の割合は33.7%となっている。

(3) 主な介護者が行っている介護の状況

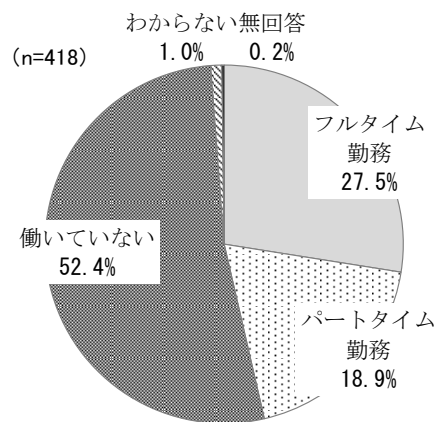
A票-問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)。



主な介護者が行っている介護は、「その他の家事」が 84.4%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 73.0%、「食事の準備」が 72.2%となっている。

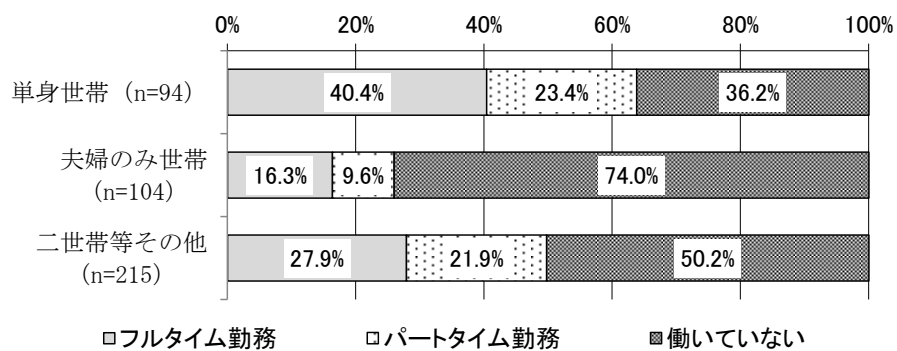
(4) 主な介護者の就労状況、介護と仕事の両立状況

B票-問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)。



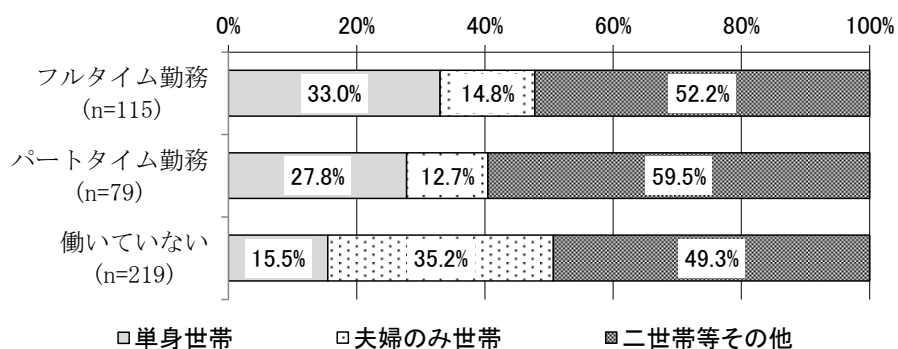
主な介護者の就労状況は、「働いていない」が52.4%、「フルタイム勤務」が27.5%、「パートタイム勤務」が18.9%である。

<世帯類型別・主な介護者の就労状況 ※「わからない」と「無回答」を除く>



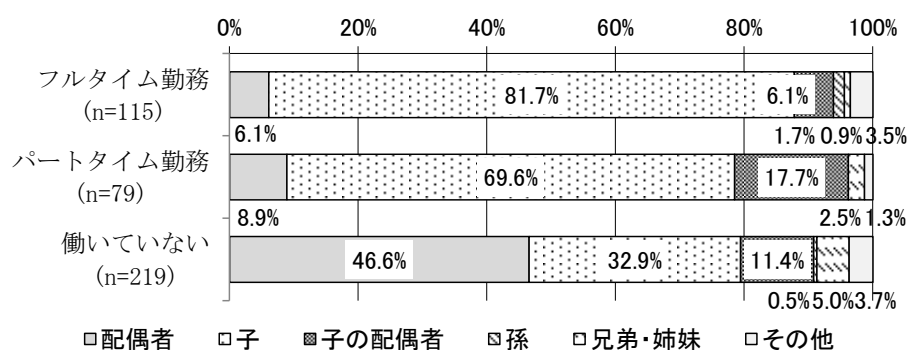
世帯類型別の主な介護者の就労状況については、単身世帯では「フルタイム勤務」が40.4%、夫婦のみ世帯では「働いていない」が74.0%、二世帯等その他では「働いていない」が50.2%とそれぞれ最も多い。

<主な介護者の就労状況別・世帯類型>



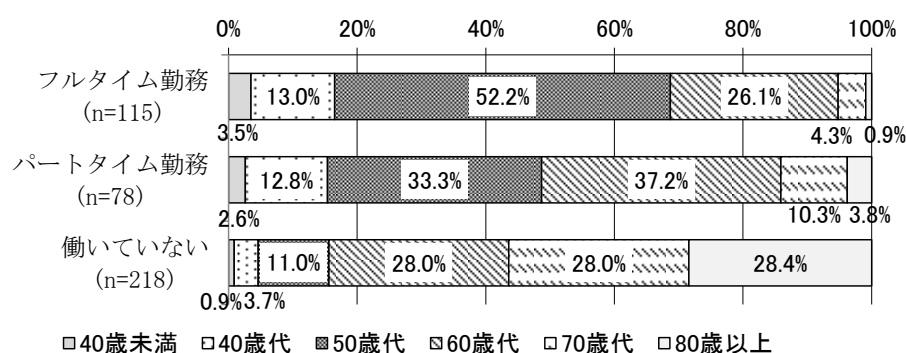
主な介護者の就労状況別の世帯類型について、「フルタイム勤務」は、「単身世帯」が 33.0%、「夫婦のみ世帯」が 14.8%、「二世帯等その他」が 52.2%である。また、「働いていない」は、「単身世帯」が 15.5%、「夫婦のみ世帯」が 35.2%、「二世帯等その他」が 49.3%である。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者と本人の関係>



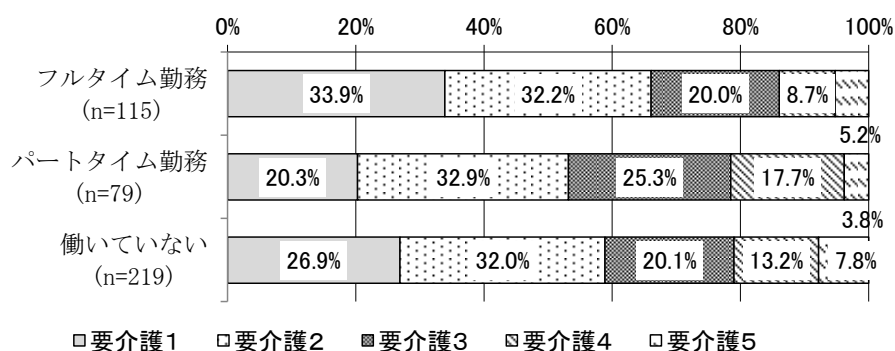
主な介護者の就労状況別の主な介護者と本人の関係について、「フルタイム勤務」は「子」が 81.7%、「パートタイム勤務」は「子」が 69.6%、「働いていない」は「配偶者」が 46.6%とそれぞれ最も多い。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢 ※無回答除く>



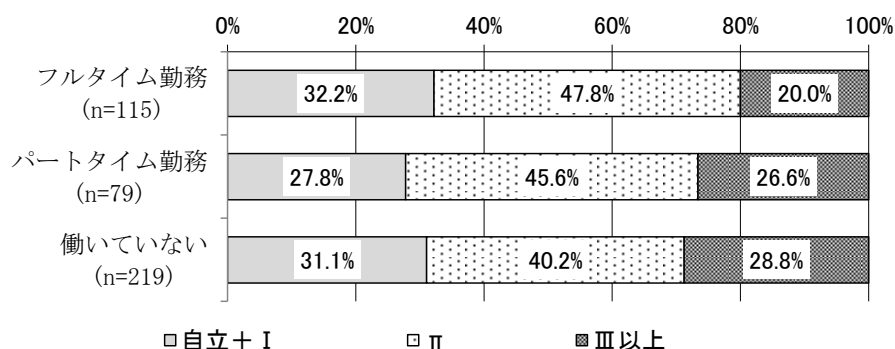
主な介護者の就労状況別の主な介護者の年齢について、「フルタイム勤務」は「50歳代」が52.2%、「60歳代」が26.1%、「パートタイム勤務」は「50歳代」が33.3%、「60歳代」が37.2%である。

<主な介護者の就労状況別・本人の要介護度>



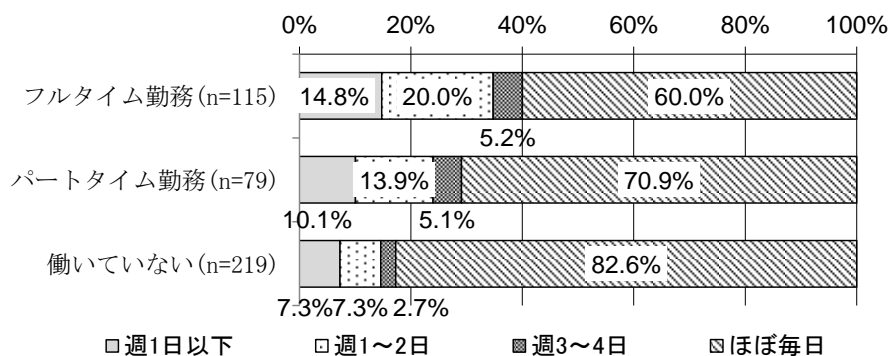
主な介護者の就労状況別の本人の要介護について、いずれの就労状況においても「要介護2」の割合が最も高く、「フルタイム勤務」は32.2%、「パートタイム勤務」は32.9%、「働いていない」は32.0%である。

<主な介護者の就労状況別・本人の認知症自立度>



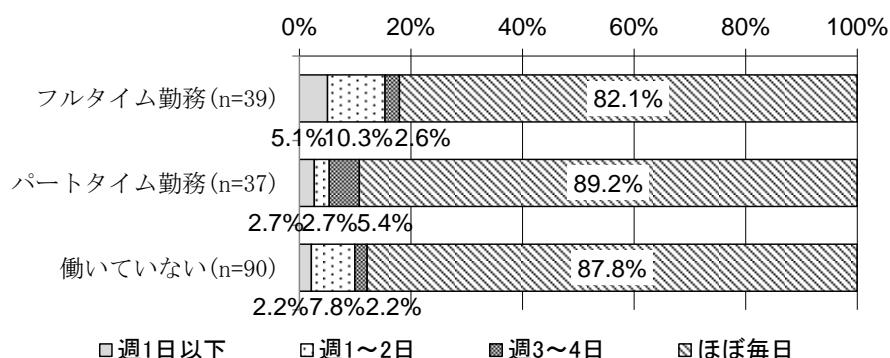
主な介護者の就労状況別の本人の認知症自立度について、「認知症自立度III以上」は、「フルタイム勤務」が20.0%、「パートタイム勤務」が26.6%、「働いていない」が28.8%である。

<主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度>



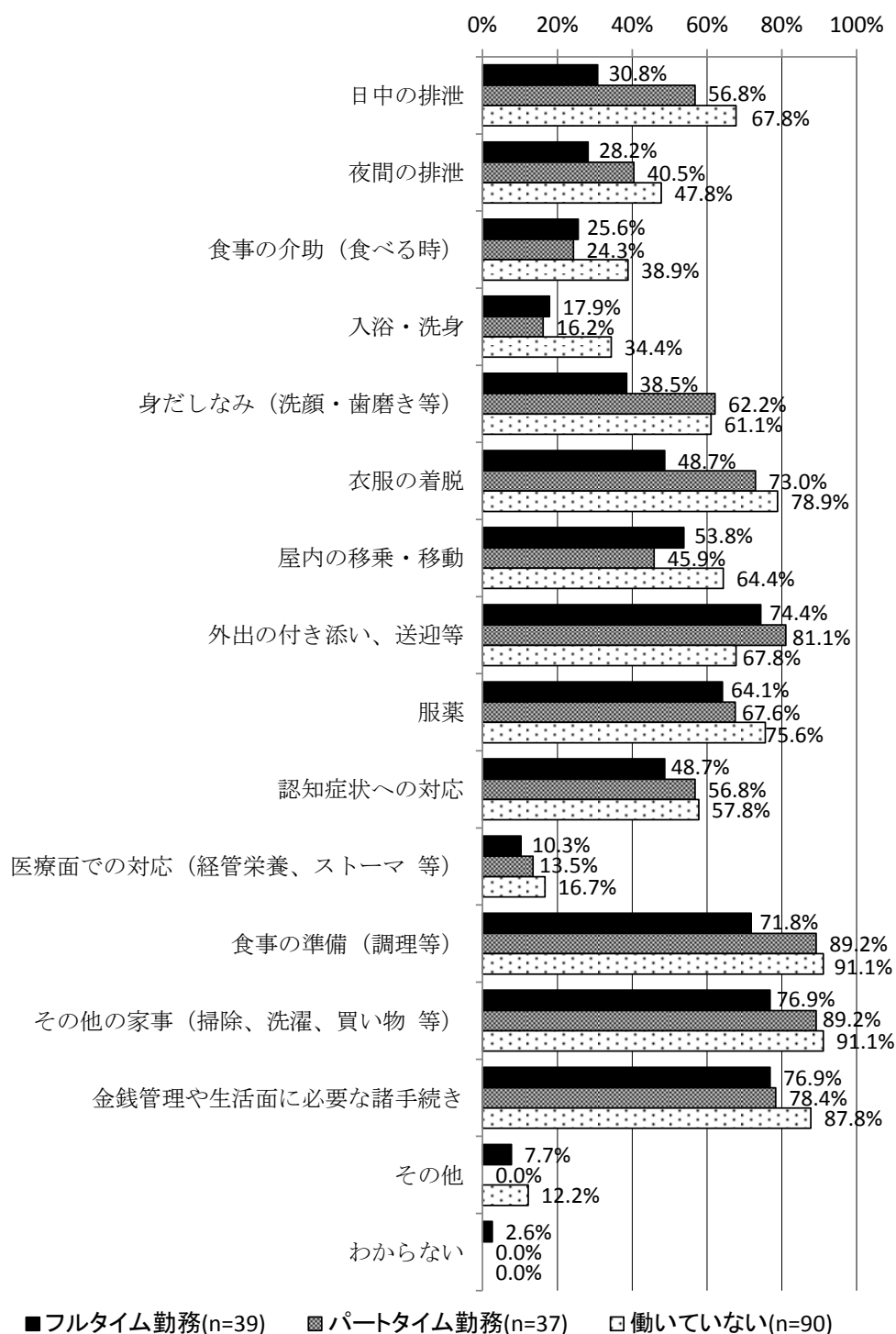
主な介護者の就労状況別の家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」は、「フルタイム勤務」が60.0%、「パートタイム勤務」が70.9%、「働いていない」が82.6%である。

<主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度（要介護3以上）>



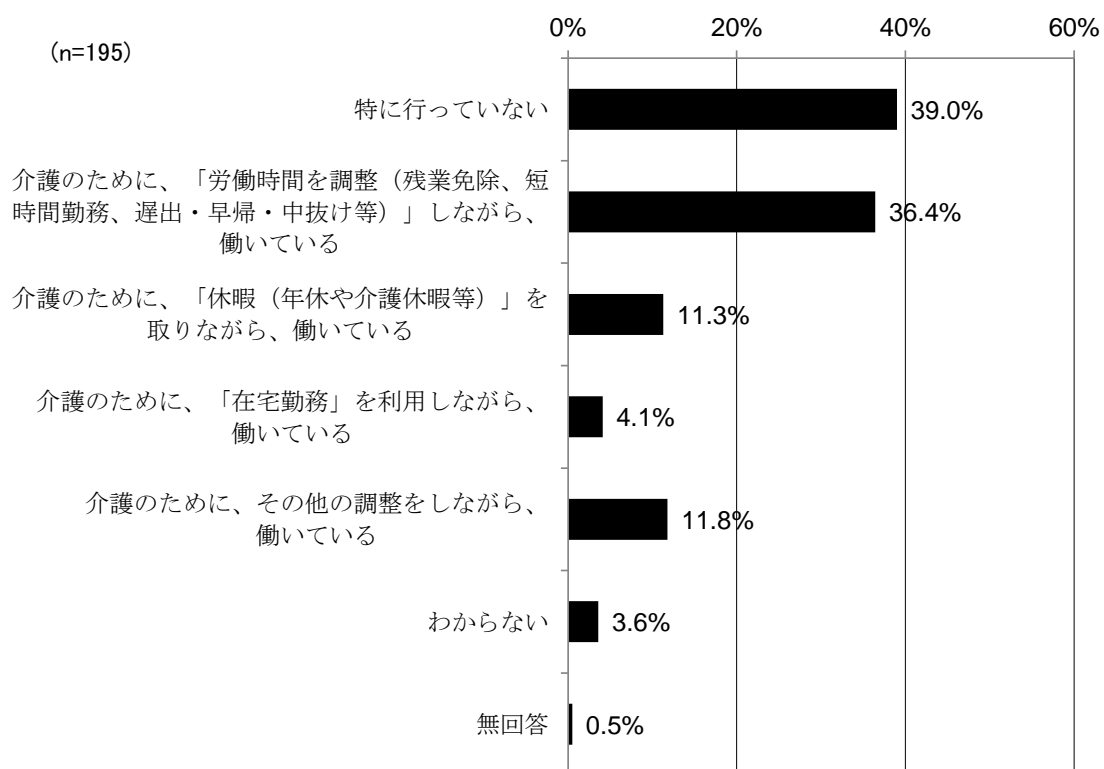
要介護3以上の、主な介護者の就労状況別の家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」は、「フルタイム勤務」が82.1%、「パートタイム勤務」が89.2%、「働いていない」が87.8%である。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）>



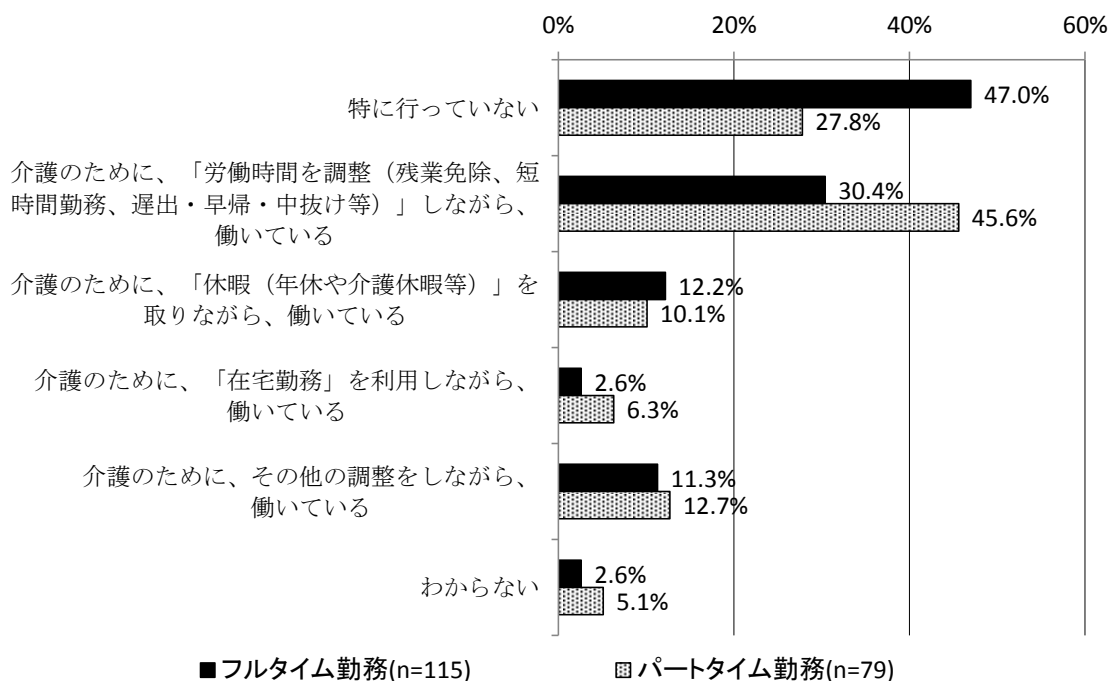
主な介護者の就労状況別の主な介護者が行っている介護（要介護3以上）は、「フルタイム勤務」については、「働いていない」と比較して「日中の排泄」、「衣服の着脱」、「身だしなみ」、「夜間の排泄」、「食事の準備」などで割合が低い。

B票-問2 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数回答可)。



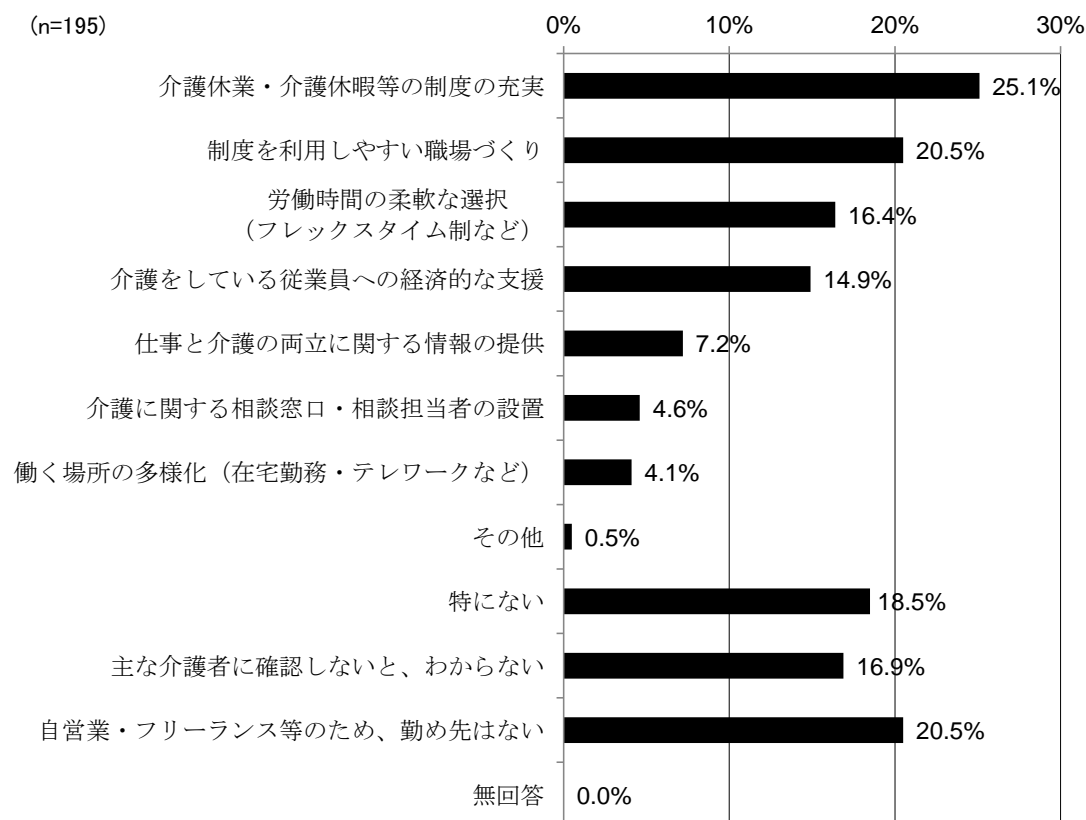
主な介護者の働き方の調整等の状況は、「特に行っていない」が39.0%と最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が36.4%となっている。

<就労状況別・介護のための働き方の調整>



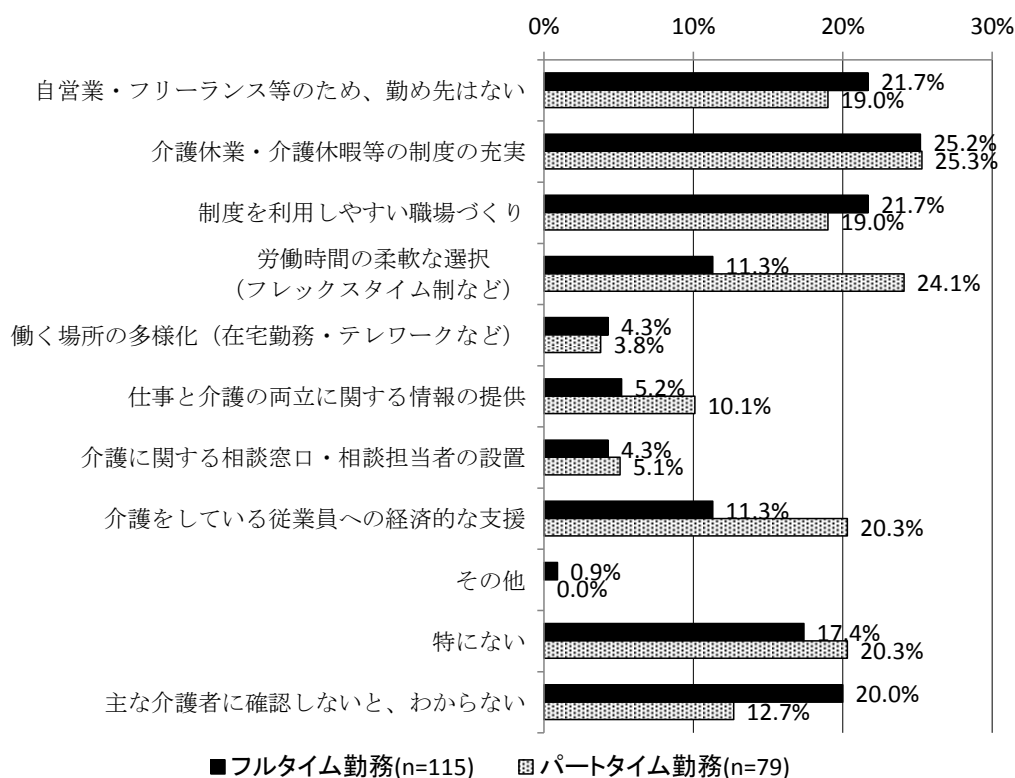
就労状況別の介護のための働き方の調整は、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が47.0%と最も多く、「パートタイム勤務」では『介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている』が45.6%となっている。

B票-問3 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。
(3つまで選択可)。



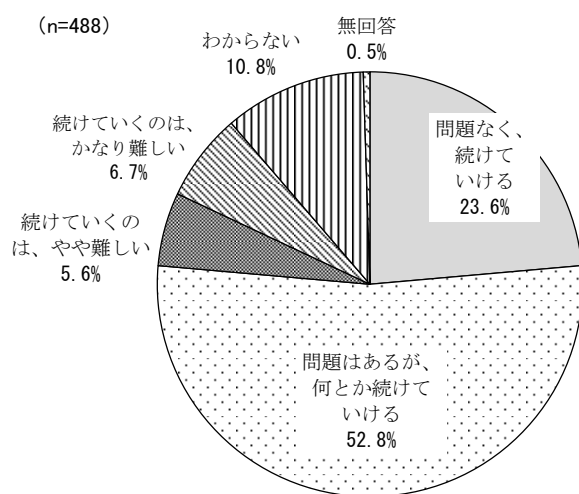
仕事と介護の両立に効果があると思う、勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.1%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が20.5%となっている。

<就労状況別・効果的な勤め先からの支援>



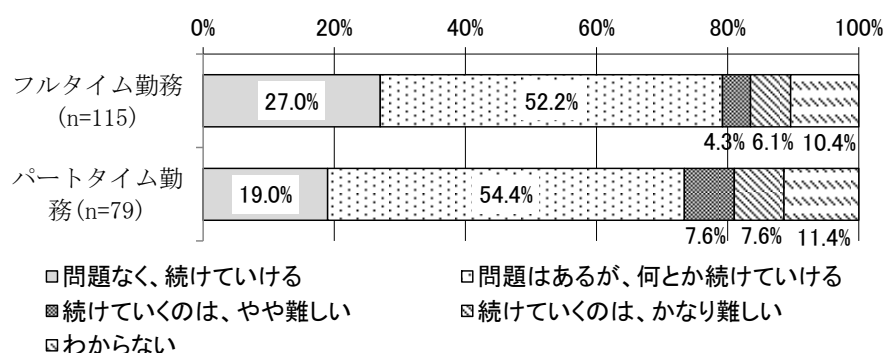
就労状況別の効果的な勤め先からの支援は、「フルタイム勤務」と「パートタイム勤務」ではいずれも「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く、それぞれ25.2%、25.3%となっている。

B票-問4 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)。



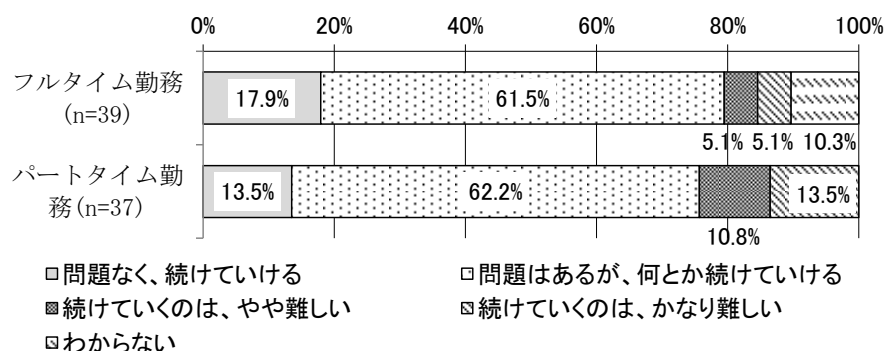
今後の就労継続の可否に係る意識は、「問題はあるが、何とか続けていける」が52.8%と最も多く、「続けていくのは、かなり難しい」は6.7%、「続けていくのは、やや難しい」は5.6%となっている。

<主な介護者の就労状況別・就労継続の見込み ※無回答除く>



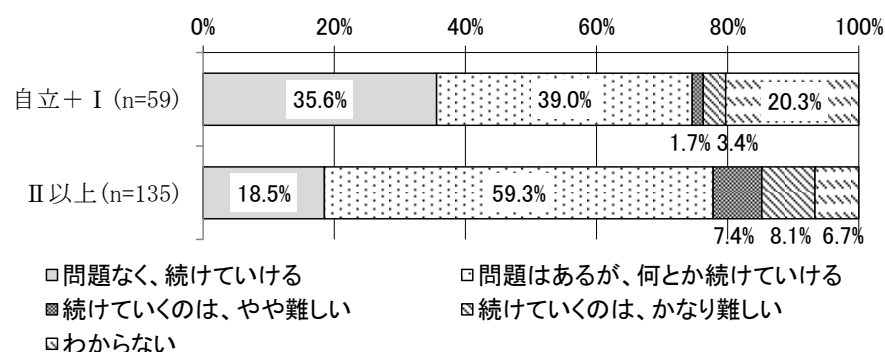
主な介護者の就労状況別の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「フルタイム勤務」が6.1%、「パートタイム勤務」が7.6%である。また、「問題なく、続けていける」は、「フルタイム勤務」が27.0%、「パートタイム勤務」が19.0%となっている。

<主な介護者の就労状況別・就労継続の見込み (要介護3以上)>



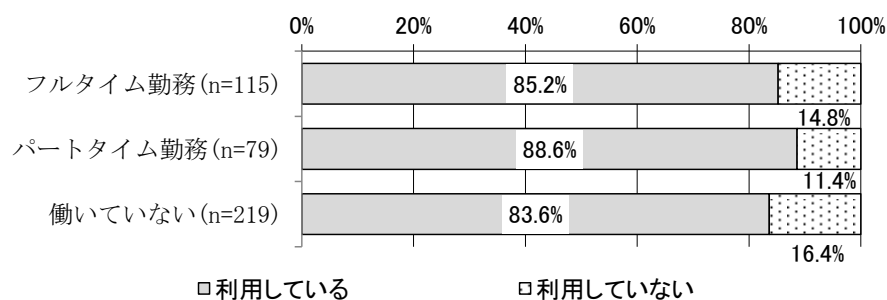
要介護3以上の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「フルタイム勤務」が5.1%、「パートタイム勤務」が13.5%である。また、「問題なく、続けていける」は、「フルタイム勤務」が17.9%、「パートタイム勤務」が13.5%となっている。

<認知症自立度別・就労継続の見込み (フルタイム+パートタイム勤務) ※無回答除く>



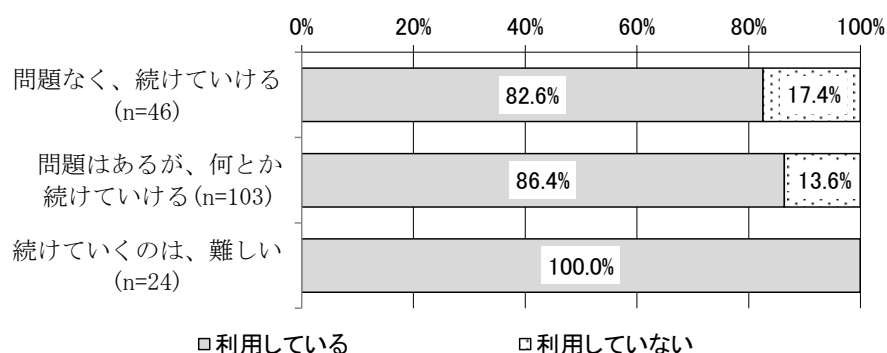
認知症自立度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は「自立+ I」が3.4%、「Ⅱ以上」が8.1%である。また、「問題なく、続けていける」は、「自立+ I」が35.6%、「Ⅱ以上」が18.5%となっている。

<就労状況別・介護保険サービス利用の有無>



主な介護者の就労状況別の介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」は、「フルタイム勤務」が85.2%、「パートタイム勤務」が88.6%、「働いていない」が83.6%である。

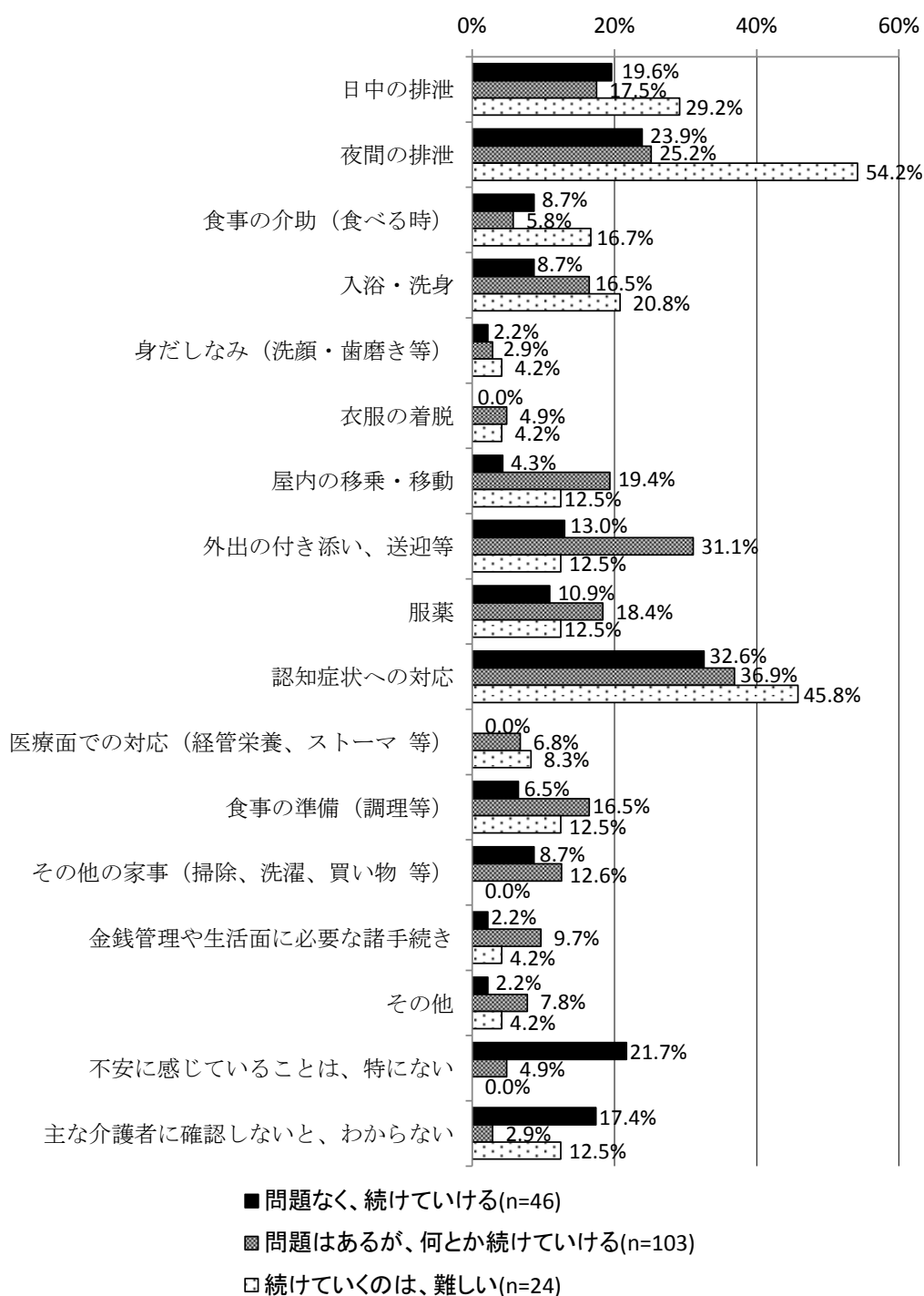
<就労継続の見込み別・介護保険サービス利用の有無（フルタイム+パートタイム勤務）>



就労継続の見込み別の介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」は、「問題なく、続けていける」が82.6%、「問題はあるが、何とか続けていける」が86.4%、「続けていくのは難しい」が100.0%である。

(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

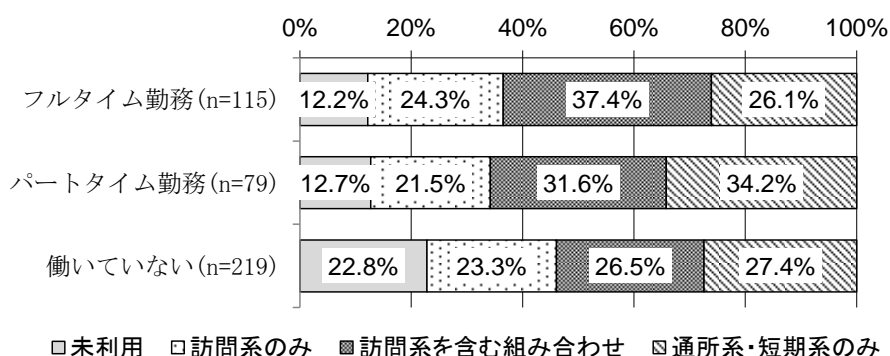
<就労継続の見込み別・主な介護者が不安に感じる介護（フルタイム+パートタイム勤務）>



就労継続の見込み別の主な介護者が不安に感じる介護について、就労継続の見込みが「続けていくのは、難しい」では、「夜間の排泄」が 54.2%と最も多く、次いで「認知症状への対応」が 45.8%となっている。

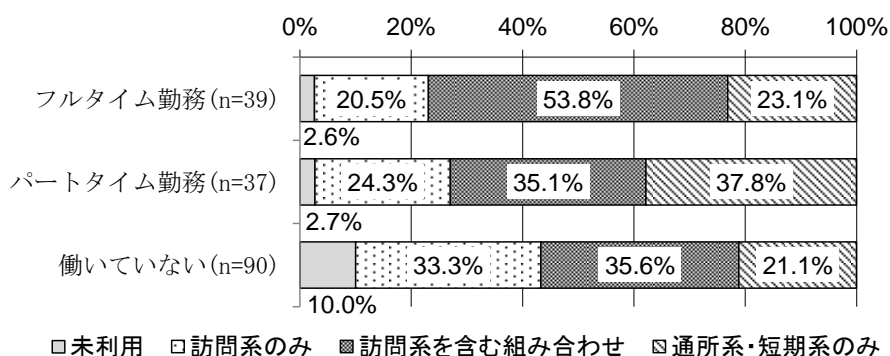
(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

<就労状況別・サービス利用の組み合わせ>



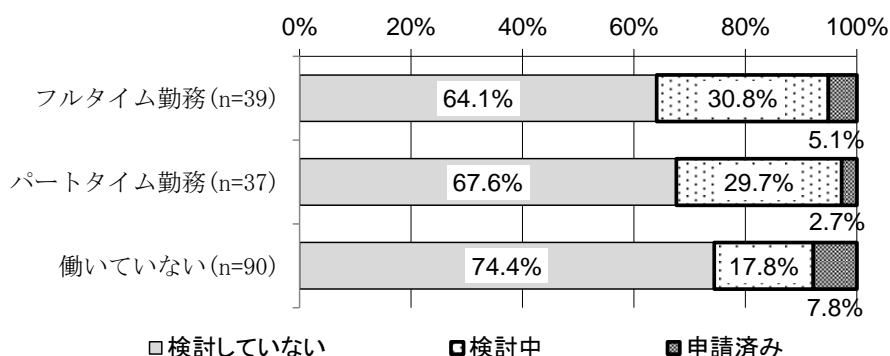
就労状況別のサービス利用の組み合わせについて、「フルタイム勤務」では「訪問系を含む組み合わせ」が37.4%、「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が34.2%、「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が27.4%とそれぞれ最も多かった。

<就労状況別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）>



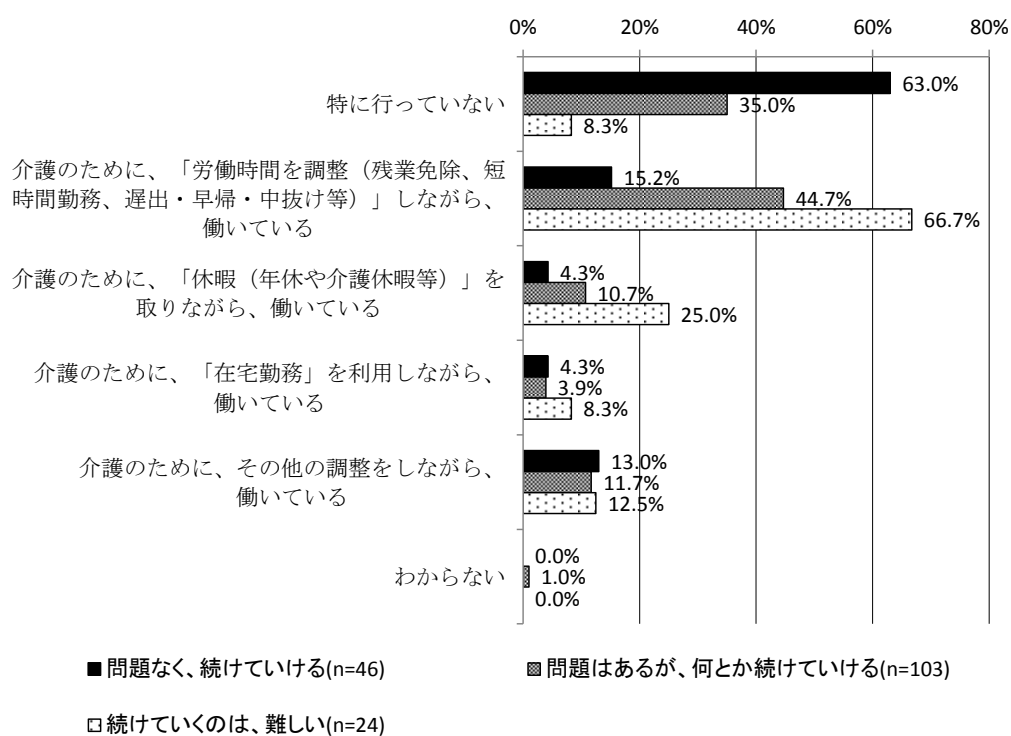
要介護3以上の、就労状況別のサービス利用の組み合わせについて、「フルタイム勤務」では「訪問系を含む組み合わせ」が53.8%、「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が37.8%、「働いていない」では「訪問系を含む組み合わせ」が35.6%とそれぞれ最も多かった。

<就労状況別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



要介護3以上の、就労状況別の施設等検討の状況について、「検討中」と「申請済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「フルタイム勤務」では35.9%、「パートタイム勤務」では32.4%、「働いていない」では25.6%である。

<就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）>

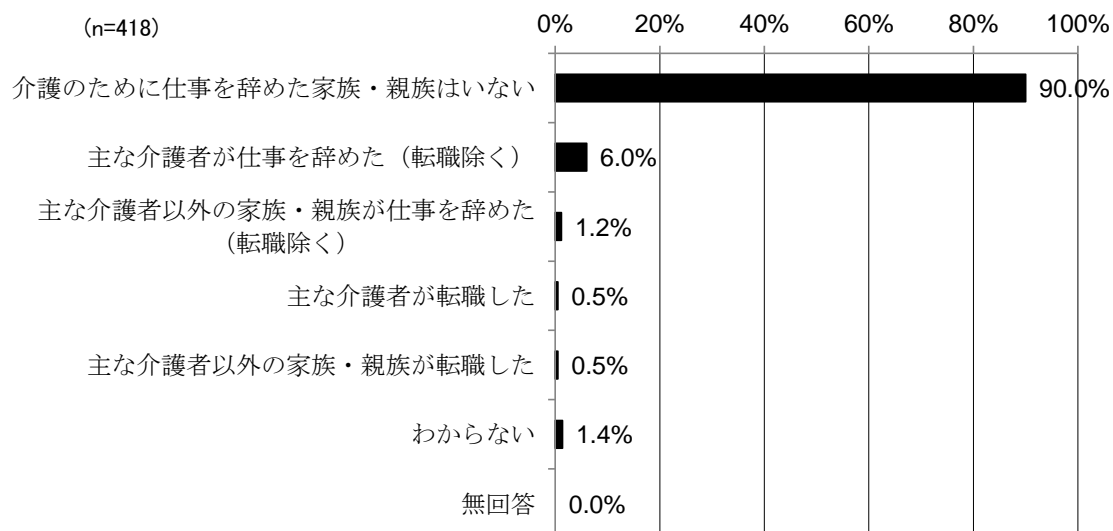


就労継続見込み別の介護のための働き方の調整について、「続けていくのは、難しい」では「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が66.7%と最も多く、次いで「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」が25.0%となっている。

(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

(5) 家族や親族の介護事由での離職経験

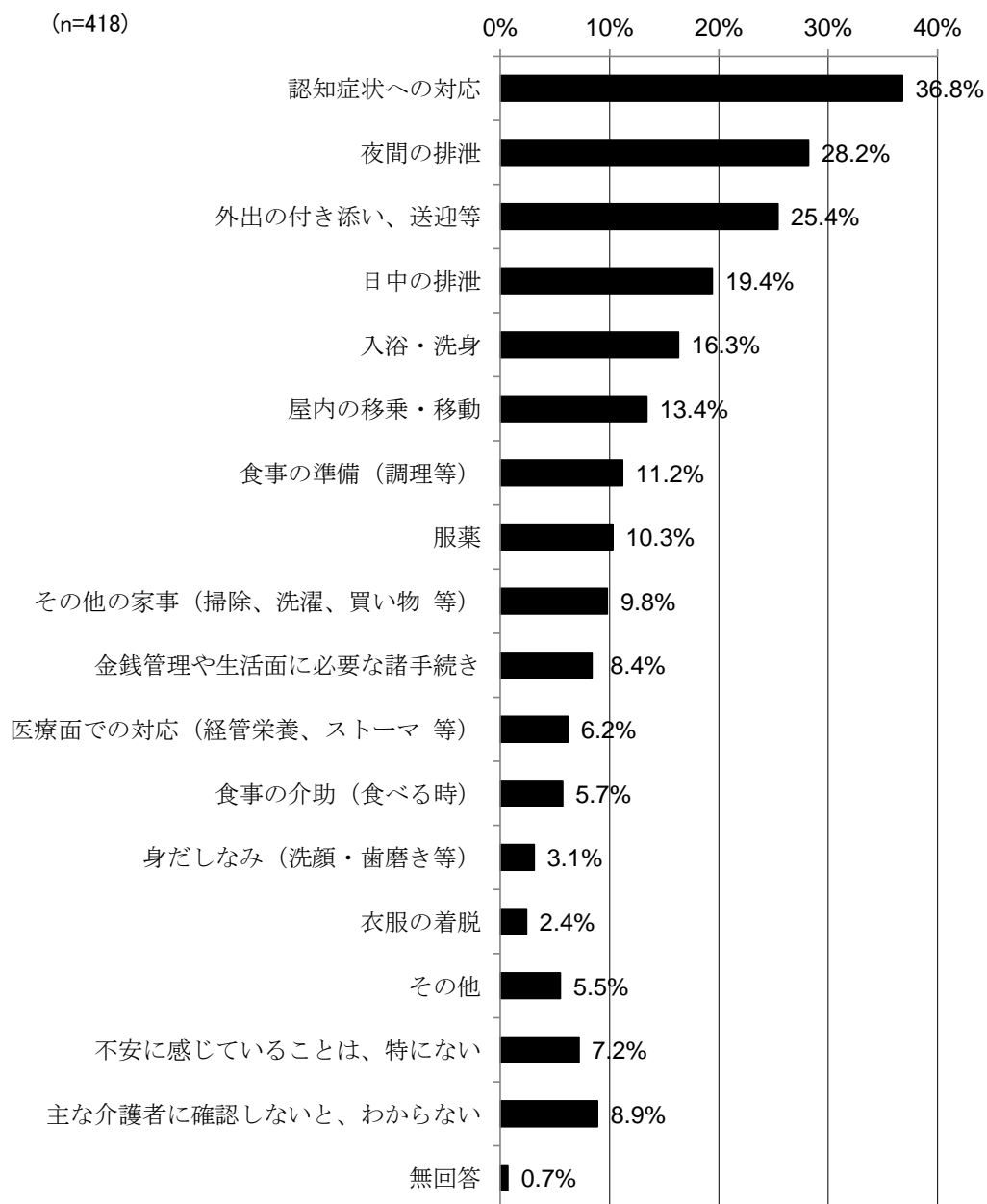
A票-問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（複数選択可）。



家族や親族で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方の有無について、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」は6.0%となっている。

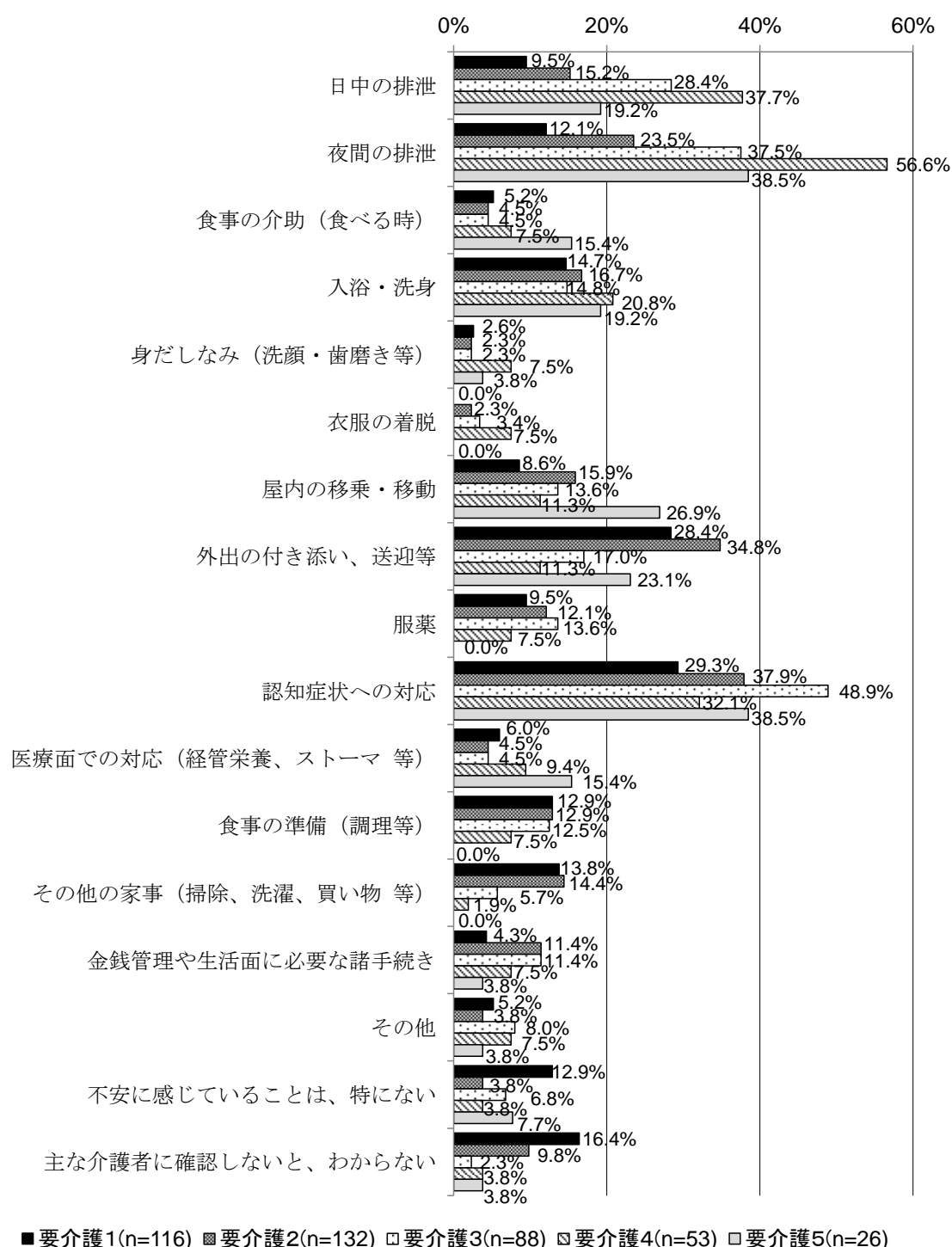
7. 在宅生活の継続に向けて介護者が不安に感じる介護

B票-問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで選択可）。



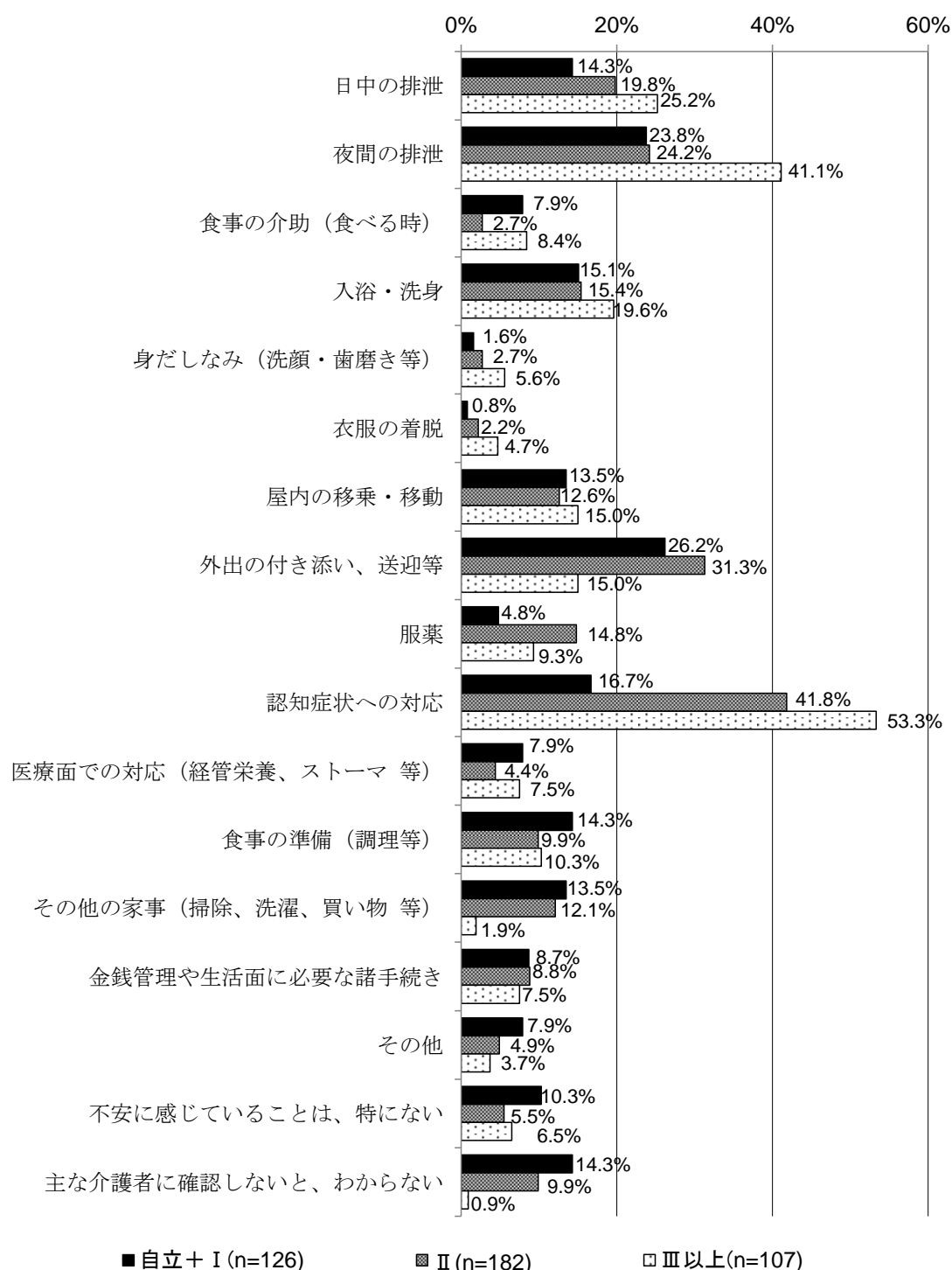
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が36.8%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が28.2%、「外出の付き添い、送迎等」が25.4%となっている。なお、「不安に感じていることは、特にない」は7.2%である。

<要介護度別・介護者が不安に感じる介護>



要介護度別の、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、「日中の排泄」と「夜間の排泄」は、「要介護1～要介護4」にかけて多くなり、要介護5では少なくなる傾向がみられる。「要介護5」で多くなる項目としては、「食事の介助」や「医療面での対応」などが挙げられる。

<認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護>

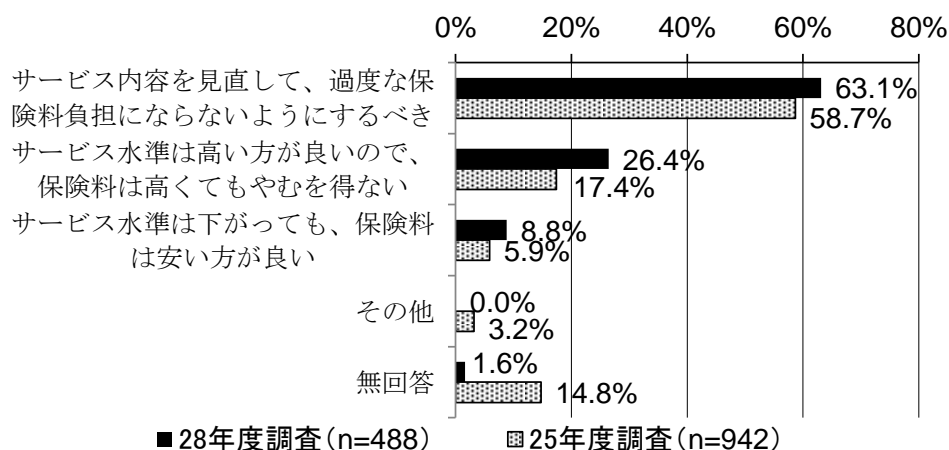


認知症自立度別の、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、認知症自立度の重度化に伴い多くなる項目としては、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「入浴・洗身」などが挙げられる。認知症自立度Ⅲ以上では、半数以上が「認知症状への対応」と回答している。

8. サービス水準と保険料の関係に係る希望

C票-問8 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、また、要介護高齢者が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。

これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(1つを選択)。



(注) 25年度調査では「要支援認定者」が含まれている。

(注) 28年度調査では「その他」の選択肢は設けなかった。

介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が63.1%と最も多く、次いで「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」が26.4%となっている。

資料：使用した調査票

武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート

日頃から、武蔵野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、平成 29 年度に「高齢者福祉計画・第 7 期介護保険事業計画（平成 30 年度～平成 32 年度）」の策定を予定しています。

この調査は、市の高齢者施策がより充実したものとなるよう、日頃の生活状況や市の高齢者施策に対するご意見・ご要望等をお聞きするために実施するものです。

調査の対象者として、本年 10 月 1 日現在、市内にお住まいの 65 歳以上の方々から 1,500 人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成 28 年 12 月

武蔵野市長

邑上守正

ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は、できるだけ宛名のご本人がご記入ください。ご本人によるご記入が難しい場合は、ご家族の方が一緒に回答されたり、代理で回答いただいても構いません。
2. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。質問によっては選択肢に「○は 1 つ」だけのもの、「あてはまるものすべてに○」をするものがありますのでご注意ください。また、数字記入欄には数字をご記入ください。
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
平成 28 年 12 月 16 日（金）までにポストへ投函してください。返信用封筒に切手を貼る必要はありません。
4. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

お問い合わせ先

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

相談支援係 白相（しらそう）、吉田

電話：0422-60-1846（直通）

1 あなたご自身のことについてお伺いします

問 1. あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。

(平成 28 年 12 月 1 日時点。それぞれ○は1つ)

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	
(2) 年齢	1. 65～69 歳	2. 70～74 歳	3. 75～79 歳
	4. 80～84 歳	5. 85 歳以上	
(3) 身長・ 体重	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm		
	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
(4) お住まい の地域	1. 吉祥寺東町	2. 吉祥寺南町	3. 御殿山 1 丁目
	4. 御殿山 2 丁目	5. 吉祥寺本町	6. 吉祥寺北町
	7. 中町	8. 西久保	9. 緑町
	10. 八幡町	11. 関前	12. 境
	13. 境南町	14. 桜堤	
(5) 要支援 (介護) 認定	1. 要支援 1	2. 要支援 2	
	3. 総合事業対象者	4. 認定を受けていない (非該当を含む)	

2 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします

問 2. 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦 2 人暮らし (配偶者 65 歳以上)
3. 夫婦 2 人暮らし (配偶者 64 歳以下)	4. 息子・娘との 2 世帯
5. その他 ()	

問 3. 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 持ち家 (一戸建て)	2. 持ち家 (集合住宅)
3. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	4. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
5. 都営・市営・公団・シバ・ピア等の集合住宅	6. その他 ()

問 4. 現在のお住まいに住み続けたいですか。(○は1つ)

1. 住み続けたい	2. 住み替えたい
-----------	-----------

問 5. 現在のお住まいに住み続けるうえでの困りごとはなんですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. ひとりで住むのが不安	2. 玄関周りの段差
3. 住居内の部屋・廊下等の段差	4. 階段の昇降
5. 浴室・トイレに手すりがないこと	6. 耐震性
7. 住宅の老朽化	8. 広くて管理しきれない
9. 家賃 (更新料) が高い	10. その他 ()
11. 特に困りごとはない	

問 14. 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

問 15. 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |

問 16. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

問 17. 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 取り組んでいる | →問 18 へ |
| 2. 取り組んでいない | →問 17-1、問 17-2 へ |

→問 17-1. 問 17 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 特に必要と思わないから |
| 2. 面倒だから |
| 3. きっかけがないから (参加できる活動が近くで行われていないなど) |
| 4. 仕事や趣味の活動等で忙しいから |
| 5. その他 () |

→問 17-2. 問 17 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。どのような内容のものがあれば取り組んでみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 専門の指導員による運動機能維持の活動 |
| 2. 身近な地域に集まって運動・体操する場 |
| 3. 食事や栄養バランスを学習できる講座 |
| 4. 歯や口腔のケアを学習できる講座 |
| 5. 認知症のことを学習できる講座 |
| 6. その他 () |
| 7. 取り組んでみたいとは思わない |

4 食べることについてお伺いします

問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし |

問 20. どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

5 毎日の生活についてお伺いします

問 21. もの忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 22. バスや電車を使って 1 人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 23. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 34. この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 35. この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 36. タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

問 37. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない →問 38 へ | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 () | →問 37-1、問 37-2 へ |

→問 37-1. 問 37 で 1 つ以上に該当した方にお伺いします。その病気の悪化、再発を予防するために取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 医師に決められた通院頻度を守る | 2. 医師の指示通りに薬を飲む |
| 3. 病気について理解する | 4. 血圧、体重、血糖値等を測定する |
| 5. 生活習慣を見直す | 6. その他 () |
| 7. 特に取り組んでいることはない | |

→問 37-2. 問 37 で 1 つ以上に該当した方にお伺いします。(その病気の悪化、再発を予防するために) 取り組んでいることを継続するには、どのようなことが必要だと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 家族からの声掛け等の支援 | 2. 医師からの指示や情報提供 |
| 3. 薬剤師からの確認や情報提供 | 4. ケアマネジャーからの確認 |
| 5. ヘルパーからの声掛け | 6. その他 () |
| 7. 特に必要なことはない | |

8 今後の暮らしについてお伺いします

問 38. 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症になった時の、見守りや生活の支援等
2. 判断能力が低下した時の、金銭管理や福祉サービスの利用援助等
3. 介護する家族の休息等のため、短期間施設に入所するサービス
(ショートステイ)
4. 夜間や休日でも、病院のようにコールボタンを押すとステーションに繋がって
相談や必要であればヘルパーが駆けつけるサービス
5. 24 時間電話を受け付けて、悩みごとや相談を聞いてくれるサービス
6. 介護保険以外の家事援助・生活支援サービス
7. 身体機能が低下しないための運動指導や健康体操教室
8. 健康を維持するための、高齢者食事学等の栄養指導
9. 口腔機能を維持するための教室
10. いきいきサロンやテンミリオンハウスのような身近な場所で集まり、交流できる
サービス
11. いきいきセミナーや教養講座等生きがいや仲間づくりの支援
12. レモンキャブやシルバーパス等の外出支援
13. 自宅にいながら診療を受けられる医療体制
14. 病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携
15. 見守りのある高齢者専用住宅
16. 住み替えのための支援や情報
17. その他 ()

問 39. あなたに介護が必要となった場合、どのような状態になったら施設入所を希望すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合
2. 必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合
3. 必要とする介護量が増え、経済的な負担が大きくなった場合
4. たん吸引等の医療行為の頻度が増え、家族の介護技術だけでは対応できなくなった場合
5. 認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合
6. 希望しない
7. その他 ()
8. まだ分からない

問 40. 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(もっともお考えに近いもの1つに○)

1. サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない
2. サービス水準は下がっても、保険料は安いほうが良い
3. サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき

問 41. 次のサービスについて知っていますか、また利用したいと思いませんか。

(それぞれについて○は1つ)

※のついているサービスの詳細は同封のチラシをご覧ください。

	すでに利用している	知っているし、利用したい	知っているが、利用したいとは思わない	知らないが、利用したい	知らないし、利用したいと思わない	
①いきいきサロン ※ 個人宅や団地集会室等で定期的に健康体操等のプログラムを行う、地域住民等が運営する集いの場です。	1	2	3	4	5	
②テンミリオンハウス ※ 地域住民等が運営する、いつでも気軽に立ち寄れる施設で、ミニデイサービス、ショートステイ、世代間交流等様々なプログラムを行います。	1	2	3	4	5	
③高齢者安心コール ※ 専門職が毎週電話をし、体や暮らしで変わったことや困ったこと等がないか確認します。	1	2	3	4	5	
もし要支援・要介護状態になった場合	④訪問介護 食事や排泄、通院介助等の「身体介護」や、掃除、洗濯、買い物等の「生活援助」を行います。	1	2	3	4	5
	⑤通所介護 デイサービスセンターや施設等に日帰りで通い、入浴や食事等のサービス提供を行います。	1	2	3	4	5
	⑥認知症高齢者見守り支援 ヘルパー派遣事業 ※ 認知症の高齢者に、専門のヘルパーが話し相手や散歩の付添等の支援を行います。		2	3	4	5
	⑦定期巡回随時対応型 訪問介護看護 ※ 定期的な巡回又は随時通報により 24 時間 365 日必要なタイミングで介護と看護の一体的なサービス提供を行います。		2	3	4	5
	⑧看護小規模多機能型 居宅介護 ※ デイサービスを中心にショートステイや訪問介護、訪問看護を1つの事業所が一体的に提供します。		2	3	4	5
	⑨介護老人福祉施設 特別養護老人ホームで入浴や食事等の日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の支援を提供します。		2	3	4	5

問 42. 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケート調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、12月16日（金）までにポストへ投函してください。

在宅介護実態調査 調査票

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問8(裏面)へ

問3～問13へ

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

1. 男性
2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問 13 で「2.」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他 |

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

在宅介護実態調査 調査票

B票

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるようですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

ご協力ありがとうございました。

在宅介護実態調査 調査票

問1 日中・夕方の時間帯(9～19 時頃まで)において、介護や見守りが必要にもかかわらず、4時間以上介護や見守りをしてくれる人(ヘルパー等も含む)がそばにいない日が、週に何日程度ありますか(1つを選択)

1. ない 2. 週に1～2日程度 3. 週に3～4日程度 4. 週に5日以上

問2 日中・夜間の排泄の方法・場所について、それぞれ最も多いものをご回答ください(1つを選択)

【日中】

1. トイレ 2. ポータブルトイレ 3. 尿器 4. オムツ等 5. カテーテル・ストーマ等

【夜間】

1. トイレ 2. ポータブルトイレ 3. 尿器 4. オムツ等 5. カテーテル・ストーマ等

※「4.オムツ等」には、リハビリパンツや尿取りパット等を含めますが、オムツ・リハビリパンツ・尿取りパット等をご使用の場合でも、主にトイレで排泄されていれば、「1.トイレ」、主にポータブルトイレで排泄されていれば「2.ポータブルトイレ」を選択してください

問3 歯磨き・入れ歯の手入れ等の頻度について、ご回答ください(1つを選択)

1. 1日に1回以上 2. 2～3日に1回程度 3. 1週間に1回程度 4. していない

問4 A票の問 10 において「2.」「3.」と回答した方(施設等への入所・入居を検討している方(申請済みを含む))にお伺いします。入所・入居を検討された一番大きなきっかけをご回答ください(1つを選択)

1. ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため } 問5へ
2. 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため } 問6へ
3. ケアマネジャーから、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため } 問7(裏面)へ
4. 医師、その他の専門職から、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため }

問5 問4で「1.」を選択された方にお伺いします。ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください(1つを選択)

1. 「生活全般において介護されることが必要となり、在宅での生活が不安になった」ため
2. 介護される量の増加により、「家族の負担が大きくなった」と考えたため
3. その他()

問6 問4で「2.」を選択された方にお伺いします。主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください(1つを選択)

1. (食事や排泄、移乗・移動など)「身体介護の負担が大きくなった」ため
2. (徘徊や火の不始末、介護への抵抗など)「認知症状への対応にかかる負担が大きくなった」ため
3. (たん吸引や褥そうの処置など)「医療行為の頻度が増え、在宅では対応が難しくなった」ため
4. 主な介護者の方が在宅で介護をしながら、「仕事を続けていくことが難しくなった」ため
5. その他()

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

※問7・問8は、ご本人様もしくは主な介護者様に直接ご記入をお願いします。

問7 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護保険サービスはどれですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)(複数選択)

サービス名称		サービス内容	利用希望
1	訪問介護	一般に、ホームヘルプサービスと言われ、食事や排泄、通院介助などの「身体介護」や、掃除、洗濯、買い物などの「生活援助」を行います。	
2	訪問入浴介護	巡回入浴車で利用者宅を訪問し、浴槽や必要な機材を持ち込んで、入浴の介護を行うサービスです。	
3	訪問看護	看護師や保健師等が利用者宅を訪問し、医師の指示のもと、医療処置等を行うサービスです。	
4	訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士等が利用者宅を訪問し、医師の指示のもと、日常生活の自立に向けたリハビリテーションを行います。	
5	通所介護	一般にデイサービスと言われ、デイサービスセンターや施設などに日帰りを通い、入浴や食事などのサービス提供を行います。	
6	通所リハビリテーション	一般にデイケアと言われ、介護老人保健施設や病院、診療所などに日帰りを通い、理学療法士や作業療法士などが機能訓練などを行います。	
7	看護小規模多機能型居宅介護	デイサービスを中心に、必要に応じてショートステイや訪問介護、訪問看護を1つの事業所が一体的なサービス提供を行います。	
8	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期的な巡回又は随時通報により、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なタイミングで介護と看護の一体的なサービス提供を行います。	
9	短期入所	一般に、ショートステイと言われ、施設などに数日から1週間程度の短期間滞在し、入浴や排泄、食事、機能訓練などのサービス提供を行います。	
10	福祉用具貸与(レンタル)	対象品目は車いすや特殊寝台等があります。	
11	福祉用具購入	対象品目は、貸与に馴染まない、入浴や排泄時に使用する福祉用具で、入浴用いすやポータブルトイレなどがあります。	
12	住宅改修	手すりの取付けや、段差の解消、床材や扉の変更などが対象工事になります。	
13	特定施設入居者生活介護	介護保険の指定を受けた有料老人ホームに入居して提供されるサービスです。(介護保険法上は居宅サービスに位置付けられています。)	
14	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	認知症の方が入所する小規模な施設で、家庭的な環境の下、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などのサービス、専門的なケアが提供されます。	
15	認知症対応型通所介護	認知症の方を対象とした専門的なケアが提供されるデイサービスです。	
16	介護老人福祉施設	一般に、特別養護老人ホームと言われる施設サービスです。	
17	介護老人保健施設	リハビリテーション等のサービスの提供により、病院から在宅へ復帰するための介護と医療の中間的な施設です。	

問8 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、また、要介護高齢者が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。

これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか(1つを選択)

1. サービス水準は高い方が良いので、保険料は高くてもやむを得ない
2. サービス水準は下がっても、保険料は安い方が良い
3. サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき

ご協力ありがとうございました。

高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査
要介護高齢者・家族等介護者実態調査
(武蔵野市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画策定に係る調査)
報告書

平成29年3月発行

編集・発行

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

〒180-8777

武蔵野市緑町2-2-28

電話 0422-60-1845

